



ダイキン工業株式会社
電子システム事業部

空調・衛生・電気 オールインワン設備 C A D



【 導入マニュアル 】

平素より、建築設備 C A D『FILDER CeeD』ならびに弊社空調製品をご愛顧頂きまして、誠に有難うございます。

本書では、『FILDER CeeD』をこれから始めようとしている方に、お使い頂けるように作成しております。

さらに詳しい操作内容については、ユーザーズガイドをご参照ください。

また、FILDER CeeD（バージョン 3.1 以降）は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows10 のものを使用しています。

ご 注 意

- ・ 本製品または本書は、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・ 本書の全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・ 本書の記載内容は、バージョンアップ等の理由により予告なく変更することがあります。
- ・ 本書の出版にあたっては正確な記述に努めました。が、本書の内容に対してなんらかの保証をするものではなく、内容やサンプルに基づきいかなる運用結果に関しても一切の責任を負いかねます。
- ・ 本書の記載内容は、お客様固有の問題に対して必ずしも同じ状況が再現されているとは 限りません。結果についてはいかなる保証も責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・ Luminous Planner は、パナソニック株式会社の登録商標または商標です。
- ・ その他、マニュアルに記載されている会社名、製品名は、一般に各社、個人の登録商標または商標です。

Copyright© 2021-2024 DAIKIN INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

FILDER CeeD 導入マニュアル 目次

1. FILDER CeeD の起動と基本画面	1
1-1. プロテクタ版の起動	1
1-2. インターネットライセンス認証版の起動	1
1-3. 基本画面	2
2. ファイル操作	11
2-1. 新規図面を開く	11
2-2. ファイルを読み込む	12
•読み込めるファイル形式	14
2-3. ファイルの保存	15
2-3-1. FILDER CeeD 形式で保存	15
2-3-2. 他の形式で保存	15
•保存できるファイル形式	17
3. 基本操作	18
3-1. 「コマンド実行」の操作	18
リボンメニューから実行	18
ショートカットメニューから実行	18
3-2. 「キャンセル」の操作	19
ショートカットメニューからキャンセル	19
マウスのセンターホイールでキャンセル	19
キーボードの「Esc」キーでキャンセル	19
3-3. 「確定」の操作	20
マウスの右クリックで確定	20
キーボードの「Enter」キーで確定	20
3-4. 図形の選択	21
1つずつ図形を選択する場合	21
複数の図形を一度に選択する場合	21
•ミニツールバー	22
3-5. 拡大表示	23
3-6. 縮小表示	24
4. 基本作図	25
4-1. 線を作図	25
4-1-1. 一本ずつ線を作図（線）	25
4-1-2. 続けて線を作図（連続線）	25
•真っ直ぐ（水平・垂直）な線を作図するには	26
•アシスト表示	26
•作図する線種・線色・線幅を変更するには	27
4-1-3. 線の長さを決めながら作図（キーボード入力）	27
4-1-4. 補助線の作図	28
4-1-5. 補助平行線の作図	29
補助平行線の作図（基準線と同じ長さ）	29
補助平行線の作図（基準線と違う長さに作図）	30
4-1-6. 四角形の作図	31
4-1-7. 円の作図	31
4-2. 図面の編集	32
4-2-1. 図形の削除	32
4-2-2. 線の伸縮	32
4-2-3. 図形の移動	33
図形の移動（コントロールポイントでの移動）	33
図形の移動（移動コマンド）	33

4-2-4. 図形の複写	35
図形を同じファイルに複写	35
別のファイルへ複写（ファイル間コピー）	36

5. 傍記作図 38

5-1. 文字の配置・編集	38
5-1-1. 文字の配置	38
5-1-2. 文字の編集	38
●文字の高さ・幅を設定するには	39
●文字の高さ・幅を変更するには	39
5-2. 寸法線の作図	40
5-2-1. 直線寸法線の配置	40
5-2-2. 2点間寸法線の配置	41
5-2-3. 連続寸法線の配置	42
5-2-4. 寸法線の自動付加	43
●文字の高さ・幅を設定するには	44

6. 配管 45

6-1. 配管の作図	45
6-1-1. 連続配管作図	45
6-1-2. 分岐の作図	47
6-1-3. 配管の高さを変えながら作図	48
6-1-4. 配管の口径を変えながら作図	50
6-1-5. 冷媒配管の作図	51
6-1-6. 継手を単独配置	54
●バルブの挿入方法	55
6-2. 配管の編集	56
6-2-1. 高さの変更	56
6-2-2. 口径の変更	57
6-2-3. 継手部品の変更	58
6-2-4. ティーズ（レフネットジョイントなど）の向き変更	59
6-2-5. ルートの移動	59
6-3. 記号の配置	60
6-3-1. サイズ記号の配置	60
●サイズ記号の表示順などの設定	60
●サイズ記号を表示したくない場合	61
●サイズ記号の一括配置	61
6-3-2. 管端記号の配置	62
6-3-3. 系統記号の配置	62
6-4. 立面図の表示	63
6-4-1. 立面追加	63
6-4-2. 立面貼付け	64

7. 機器・器具 66

7-1. 機器・器具の配置	66
7-1-1. 機器の配置	66
●機器の配置方法	67
7-1-2. 部材・器具の配置	68
7-2. ダイキン空調機“STEM データ”を配置	70
7-3. 最新ダイキン空調機“STEM データ”ダウンロード	71

8. ダクト 72

8-1. 丸ダクトの作図	72
8-1-1. 連続丸ダクトの作図	72
8-1-2. 分岐の作図	73
8-1-3. フレキシブルダクトの作図	74
8-2. 角ダクトの作図	76
8-2-1. 連続角ダクトの作図	76

8-2-2. 分岐の作図	77
8-2-3. 高さを変更して作図	78
8-2-4. 口径を変更して作図	80
•ワープ	82

9. 電気 83

9-1. 電気シンボルの配置	83
9-1-1. 1つずつ電気シンボルを配置	83
•電気シンボルの大きさなどを設定するには	85
•電気シンボルの配置方法	86
9-1-2. 領域を指示して電気シンボルを配置（矩形）	86
9-2. 電気シンボルの編集	88
9-2-1. 電気シンボルの大きさや色などの変更	88
9-2-2. 別の電気シンボルに置換え	89
9-3. 電気シンボルの登録	90
9-4. 配線作図	92
•渡りパターン	93
•配線の区分などの設定	94
9-5. 配線編集	95
9-5-1. 渡り配線の変更	95
9-5-2. 傍記の編集	96
9-5-3. 条数を作図	97
作図しながら条数を付加する方法	97
コマンドで条数を付加する方法	98
9-5-4. 省略記号の配置・変更	99
省略記号の配置	99
省略記号の変更	100
9-5-5. エンド記号の配置	101
9-5-6. 立上り、引下げ、素通し記号の配置	102

10. ラック 104

10-1. ラックの作図	104
10-1-1. ラックの作図	104
10-1-2. 分岐の作図	105
10-1-3. ラックの高さを変えながら作図	106
•角度を変えて作図	107
•レースウェイ、ダクト、バスダクト	108
10-2. ラックの編集	109
10-2-1. ラックのサイズ変更	109
10-2-2. ラックの高さ変更	109
•ワープ	111

11. 電気シンボル表、配線表の作成 112

11-1. 表の作成	112
11-1-1. 電気シンボル表の配置	112
11-1-2. 配線表の配置	113

12. 電気設備化 114

12-1. 電気シンボル化	114
•選択する図形の条件を設定するには	115
12-2. 配線化	116

13. 躯体 117

13-1. 躯体トレースの流れ	117
13-2. 建築躯体図面の読み込み	118
•寸法の確認方法	120
13-3. 躯体高さを設定する	123

1 3 - 4. 建築図のトレース	1 2 4
1 3 - 4 - 1. トレースする躯体図を編集不可にする	1 2 4
1 3 - 4 - 2. 躯体図のトレース	1 2 6
● 通り芯を作図する	1 2 6
● 通り芯の間隔が全て同じ場合	1 3 0
● 柱を作図する	1 3 3
● 躯体の塗りつぶし色を変更するには	1 3 4
● 壁を作図する	1 3 5
● 梁を作図する	1 3 6
● 開口を作図する	1 3 7
● 床スラブを作図する	1 3 8
● 天井を作図する	1 3 9
● 角度が分からない柱などを作図する場合	1 4 0
● 多角形の壁、床スラブ、天井などを作図する場合	1 4 1
1 3 - 4 - 3. 包絡処理・解除	1 4 4
● 包絡処理	1 4 4
● 包絡解除	1 4 6
1 3 - 5. トレースした建築図の 3 D 表示	1 4 7

1 4. レイヤ 1 4 8

1 4 - 1. 新しいレイヤを作成	1 4 8
1 4 - 2. グループレイヤを作成	1 5 0
● ボタンタイプレイヤ表示	1 5 3
● ボタンのグループレイヤの表示	1 5 4
1 4 - 3. レイヤの操作方法	1 5 5
1 4 - 3 - 1. カレントレイヤの切替え	1 5 5
「レイヤ詳細」ダイアログで切替える場合	1 5 5
レイヤ欄で切替える場合	1 5 6
1 4 - 3 - 2. レイヤの確認	1 5 6
1 4 - 3 - 3. レイヤの移動	1 5 7
1 4 - 3 - 4. レイヤの表示・非表示切替え	1 5 7
1 4 - 3 - 5. レイヤの表示状態の登録	1 5 8
1 4 - 3 - 6. レイヤの表示状態の呼出	1 5 9

1 5. PDF・画像の貼付け 1 6 0

1 5 - 1. PDF ファイルを図形データとして読み込む	1 6 0
データを読み込む場合	1 6 0
● 拡大率で指定する場合	1 6 1
● 距離を入力する場合	1 6 1
画像を読み込む場合	1 6 2
● PDF ファイル読み込みの制限事項	1 6 2
1 5 - 2. 画像補正	1 6 3
1 5 - 2 - 1. 斜めになっている画像を真直ぐに補正（傾き補正）	1 6 3
1 5 - 2 - 2. 寸法が正しくない画像の補正（距離補正）	1 6 4
1 5 - 2 - 3. 不要な部分の消去（消しゴム、画像ぬりつぶし）	1 6 5
1 5 - 3. 画像の貼付け	1 6 6

1 6. 印刷 1 6 7

1 6 - 1. 印刷をする	1 6 7
1 6 - 2. カラー印刷をする	1 6 8
● 印刷プレビュー	1 6 9
1 6 - 3. 線幅を設定	1 7 0
1 6 - 3 - 1. ペン番号ごとに線幅を設定	1 7 0
1 6 - 3 - 2. 色ごとに線幅を設定	1 7 1
● 「画面色」「印刷色」の複数一括変更	1 7 2
● 「印刷色」「線幅」の複数一括変更	1 7 3

17. キーボードを使用した簡単なキー操作	175
18. ポータルサイトのご案内	176
19. よくある質問 (FAQ)	177

1. FILDER CeeD の起動と基本画面

FILDER CeeD（バージョン 3.1 以降）は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows 10 のものを使用しています。

1-1. プロテクト版の起動

◎ワンポイント

アイコンをもう一度ダブルクリックすると、FILDER CeeD が 2 つ起動します。

1. FILDER CeeD のアイコンを**ダブルクリック**します。

※起動するには「プロテクトドライバ」のインストールが必要です。詳しくは「インストール・その他手順書」をご覧ください。



FILDER CeeD

1-2. インターネットライセンス認証版の起動

◎ワンポイント

「利用者番号とパスワードを記憶」にチェックを入れると、次回以降入力の手必要はありません。

1. FILDER CeeD のアイコンを**ダブルクリック**します。

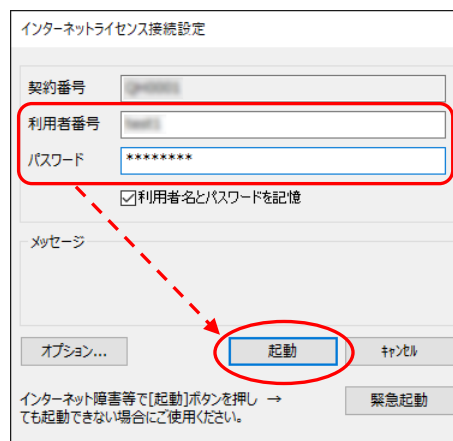
※起動するには「ユーザー環境セットアップ」が必要です。詳しくは「インストール・その他手順書」をご覧ください。



FILDER CeeD

2. 「インターネットライセンス接続設定」ダイアログが表示されますので、「利用者番号」・「パスワード」を入力し、**【起動】** ボタンをクリックします。

※「利用者番号」・「パスワード」については、「FILDER CeeD インターネットライセンス登録証」をご確認ください。



1-3. 基本画面



①「ファイルタブ」

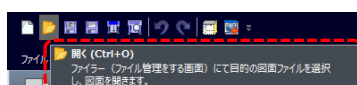
新規作成、保存、印刷などのファイルに関するメニューや基本メニューを選択するときにクリックします



◎ワンポイント

クイックアクセスツールバーなど、名前が表示されていないコマンドで、何のボタンが分からなくなった場合はコマンドアイコンにカーソルを重ねると、そのボタンの名称が表示されます。

※コマンド名が表示されていても同様に名称が表示されます。



②「クイックアクセスツールバー」

FILDER CeeD を起動している間、CeeD 画面の左上にクイックアクセスツールバーが常に表示されています。

よく使用する「新規図面」、「開く」、「上書き保存」、「名前を付けて保存」、「取り消し」、「進む」、「立面追加」、「3Dビュー作成」などのメニューを用意したツールバーです。



③「図面切替えタブ」

複数の図面を開いている際、カレントの図面を切替えたい場合にタブをクリックして、対象の図面を表示します。

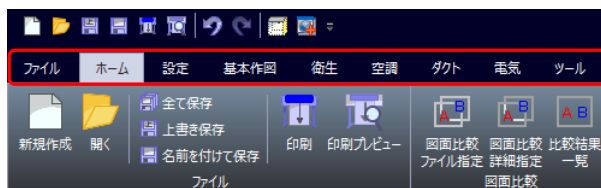
「表示」タブの「ウィンドウ表示形式」から「タブ形式」「ウィンドウ形式」の変更ができます。



④「リボンメニュー タブ」

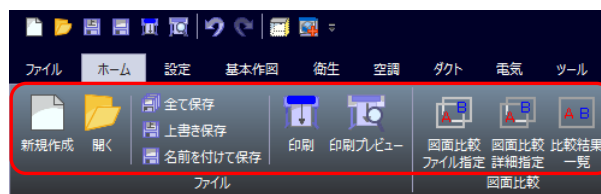
表示するコマンドを切替えるためのタブで、「ホーム」「設定」「基本作図」「衛生」「空調」「ダクト」「電気」「ツール」「画像ツール」「設計ツール」「見積連動」「傍記」「建築躯体」「表示」「DK-BIM 連携」があります。それぞれ描きたい設備や作図用途のコマンドを収録しています。

（電気版の場合は、「ホーム」「設定」「基本作図」「電気」「ツール」「画像ツール」「設計ツール」「見積連動」「傍記」「建築躯体」「表示」）



⑤「コマンド」

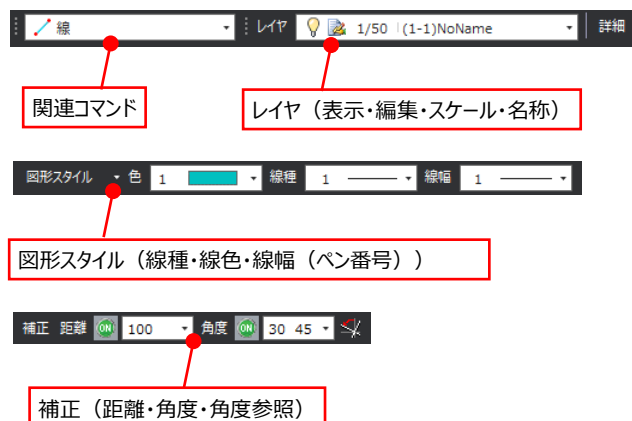
各リボントップに割り付けられたコマンドが配置されています。



⑥「共通項目ツールバー」

共通項目ツールバーの各項目を移動させると、×で非表示にすることができます。非表示にした際、再度表示させるには、各コマンドにチェックを入れてください。

共通項目（関連コマンド、レイヤ、スタイル、補正）がツールバーで変更できます。



⑦「シート・部分図制御」

シートや階の確認・変更をすることができます。



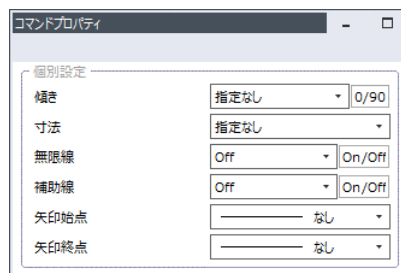
⑧「プロパティ」

すでに作図されている部品や図形を選択すると、選択された部品や図形の設定項目を表示し、編集することができます。



⑨「コマンドプロパティ」

各コマンドの動きを指定するための設定項目を表示します。

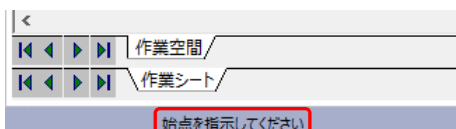


⑩「ガイドンス」

各メニューを実行した場合、次の操作を文字で表示します。



ガイドンスの表示位置は画面左下に表示させることもできます。
 画面左下へ表示させる場合は、リボンメニューの「設定」タブから「環境設定」を選択し、「システム設定」ダイアログの「情報表示」タブ内にある「ガイドンス表示位置」で「左下フレーム内」を選択します。

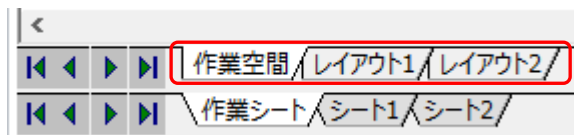


⑪「作業空間・レイアウトタブ」

作業空間やレイアウトの切替えが行えます。

レイアウトの追加は、作業空間のタブを右クリックして表示されるメニュー内の「レイアウト新規作成」から行えます。

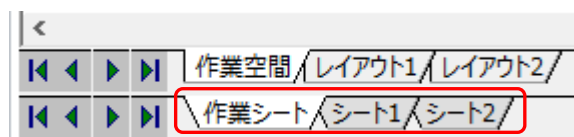
※レイアウトがすでに作成されている場合はレイアウトを右クリックでも作成できます。



⑫「シートタブ」

シートの切替えが行えます。

シートの追加は、シートタブを右クリックして表示されるメニューより行えます。

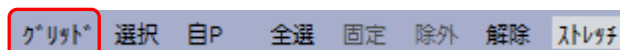


⑬「選択制御」

選択の制御を行うためのボタンが配置されています。

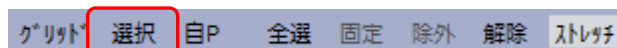
●「グリッド」ボタン

格子状に並んでいるグリッドの点が表示されます。



●「選択」ボタン

詳細な制御を行うためのダイアログが表示されます。

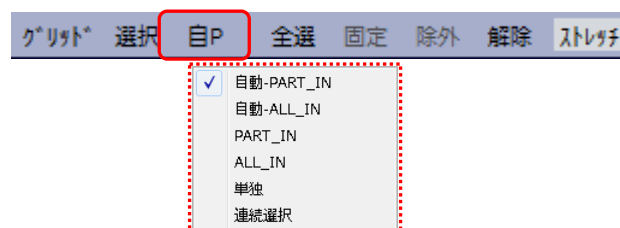


●「選択種類」ボタン

選択方法を 6 種類から設定することができます。

それらを使い分けることで、さらに操作しやすくなります。

選択種類ボタンをクリックすると、プルダウンメニューが表示されますので、そこで指定します。次ページで 6 種類の説明をします。



「自動-PART_IN」

マウスで囲んだ領域に一部でも含まれる図形を選択します。
 図形をクリックすると、1 図形ずつ選択します。

グリッド 選択 **自P** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

「自動-ALL_IN」

マウスで囲んだ領域に全体が含まれる図形を選択します。
 図形をクリックすると、1 図形ずつクリックします。

グリッド 選択 **自A** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

「PART_IN」

マウスで囲んだ領域に一部でも含まれる図形を選択します。
 図形をクリックして選択することはできません。

グリッド 選択 **P-IN** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

「ALL_IN」

マウスで囲んだ領域に全体が含まれる図形を選択します。
 図形をクリックして選択することはできません。

グリッド 選択 **A-IN** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

「単独」

図形をクリックすると、1 図形ずつ選択します。
 マウスで図形を囲んで選択することはできません。

グリッド 選択 **単独** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

「連続選択」

最初に 1 つ目の図形を選択し、続いて 2 つ目の図形を選択した時に、
 2 つの図形間でつながりのある図形も一緒に全て選択します。
 マウスで図形を囲んで選択することはできません。

グリッド 選択 **連P** 全選 固定 除外 解除 ストレッチ

●「全選」ボタン

図面内の図形を全て選択することができます。

グリッド 選択 自P **全選** 固定 除外 解除 ストレッチ

●「固定」ボタン

選択した図形と同じ属性の図形だけを選択することができます。

グリッド 選択 自P 全選 **固定** 除外 解除 ストレッチ

●「除外」ボタン

選択されている図形をクリックまたは範囲選択で除外することができます。

グリッド 選択 自P 全選 固定 **除外** 解除 ストレッチ

●「解除」ボタン

ボタンの解除ができます。

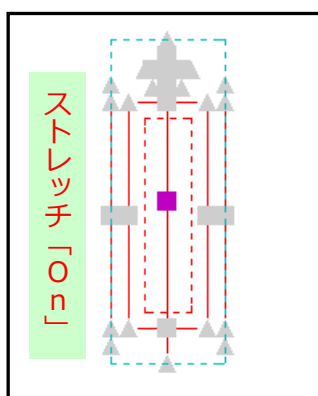
グリッド* 選択 自P 全選 固定 除外 解除 **ストレッチ**

●「ストレッチ」ボタン

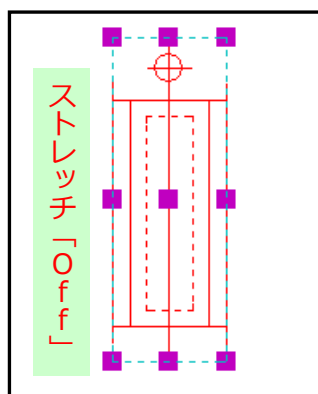
ストレッチを「On」にすると図形選択時に三角のコントロールポイント（伸縮）が表示されます。

「Off」にすると図形選択時に四角のコントロールポイント（移動）のみの表示となります。

グリッド* 選択 自P 全選 固定 除外 解除 **ストレッチ**



グリッド* 選択 自P 全選 固定 除外 解除 **ストレッチ**



⑭「用紙サイズ・スケール」

現在開いている用紙のサイズが表示されています。

この欄をクリックすることで、「図面情報」ダイアログが表示されます。

サイズ*: A1横 スケール: 1/50 カントレイヤ: (1-1)NoName

⑮「カレントスケール・カレントレイヤ（描込みレイヤ）」

現在カレント（現在作業中）となっているレイヤのスケールと名称が表示されます。

この欄をクリックすることで、「レイヤ詳細」ダイアログが表示されます。

サイズ: A1横 スケール: 1/50 カレントレイヤ: (1-1)NoName

⑯「ミニツールバー」

図形・機器・電気シンボル・配線・配管・ダクト選択時に表示されるツールバーで、「選択固定」・「色選択固定」・「全候補選択」・「移動」・「複写」・「削除」や、配管・ダクト選択時には口径変更、高さ変更ができます。また、文字関連(文字、寸法線、傍記など)を選択した場合に表示されるミニツールバーでは「文字高固定」「フォント固定」することができます。

※エスケープキーはコマンド解除や選択解除をします

●例：一般作図選択時



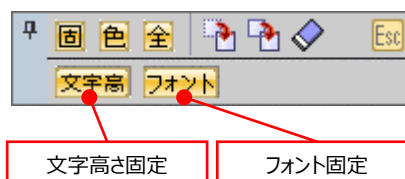
●例：配管選択時



●例：ダクト選択時（角ダクト）



●例：文字選択時

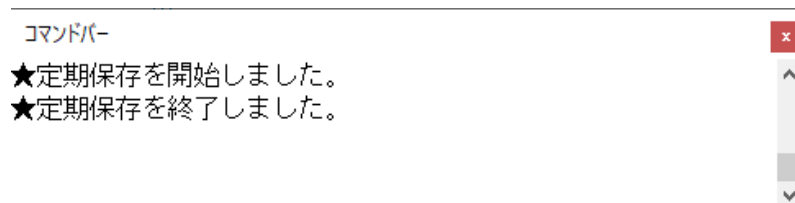


その他 FILDER CeeD のツールバーは、座標の指定・勾配設定・パイプ/ダクトメジャーなどのためのツールバーを表示させることができます。
 対象のツールバーを表示させるには、対象のメニューにチェックを入れます。



「コマンドバー表示」

各コマンドを指示した場合、次の操作を文字で表示します。
 コマンドバーが表示されている場合、ステータスバーのガイダンスは表示されなくなります。



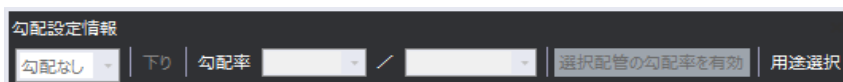
「メジャー表示」

配管またはダクト作図時に、口径計算をする計算尺を表示する場合はチェックを入れます。



「勾配設定表示」

配管に勾配をつけながら作図するための、「勾配設定情報」バーを表示する場合はチェックを入れます。



「座標指定（図形単位）」

基準点移動、中心点、垂線、仮想交点、2 点間中点の 5 つの位置をツールバーから指示できます。

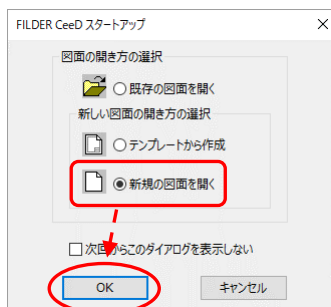


2. ファイルの操作

2-1. 新規図面を開く

プロテクタ版

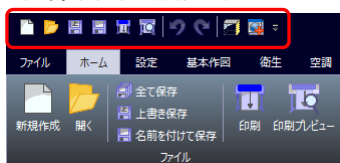
1. FILDER CeeD を起動すると、「FILDER CeeD スタートアップ」ダイアログが表示されますので、「新規図面を開く」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



インターネットライセンス認証版

◎ワンポイント

クイックアクセスツールバー

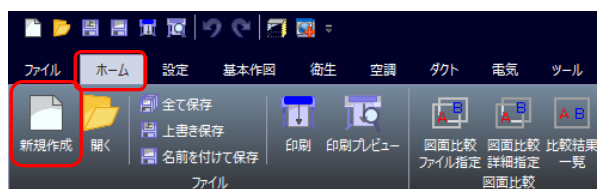


以降、「プロテクタ版」と「インターネットライセンス認証版」で同じ操作となります。

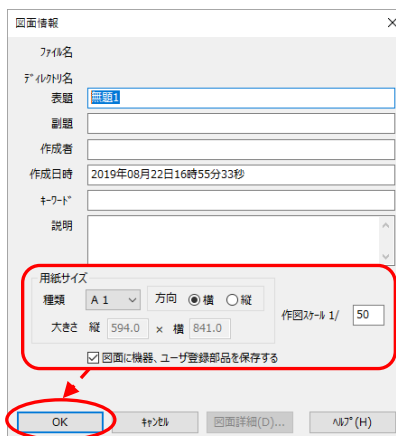
1. FILDER CeeD を起動し、リボンメニューの「ホーム」タブから【新規作成】をクリックします。

リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。

※「インターネットライセンス認証版」は「FILDER CeeD スタートアップ」ダイアログの表示が省略されます。



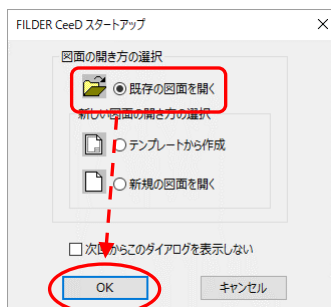
2. 「図面情報」ダイアログが表示されますので、「用紙サイズ」・「作図スケール」を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



2-2. ファイルを読み込む

プロテクタ版

1. FILDER CeeD を起動すると、「FILDER CeeD スタートアップ」ダイアログが表示されますので、「既存の図面を開く」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



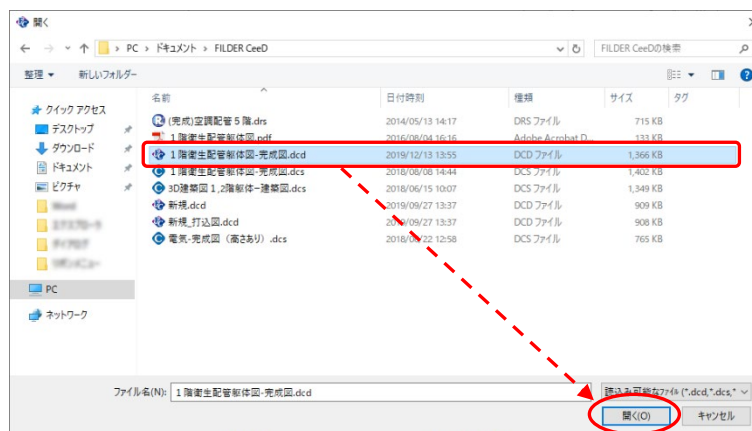
インターネットライセンス認証版

1. FILDER CeeD を起動し、リボンメニューの「ホーム」タブから「開く」をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。
 ※「インターネットライセンス認証版」は「FILDER CeeD スタートアップ」ダイアログの表示が省略されます。



以降、「プロテクタ版」と「インターネットライセンス認証版」で同じ操作となります。

2. 「開く」ダイアログが表示されますので、開くファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

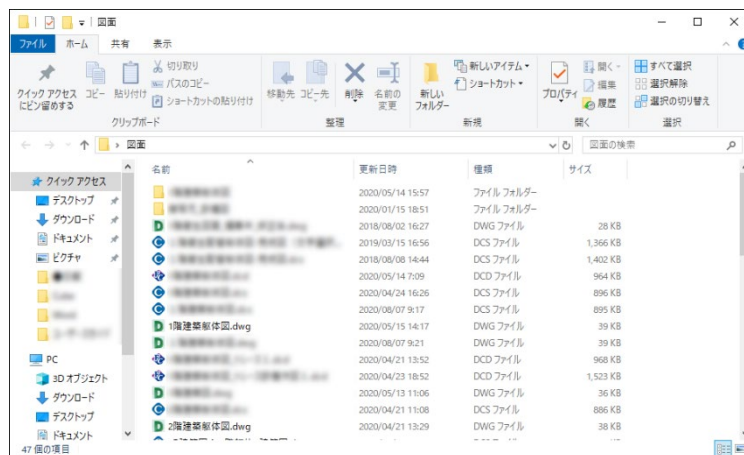


ドラッグ&ドロップで読み込む

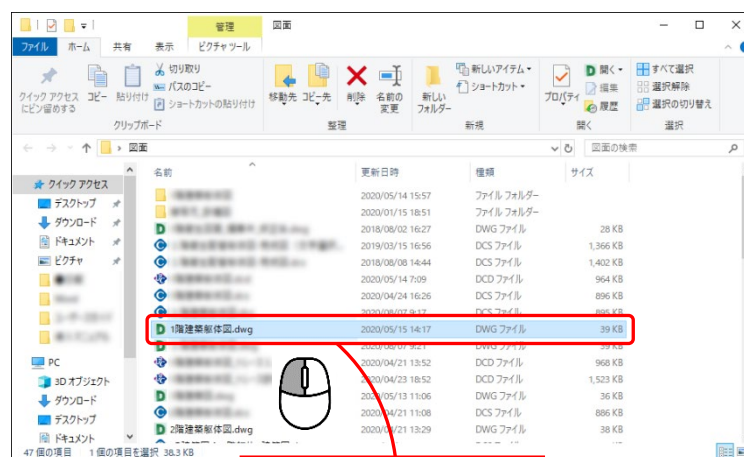
◎ワンポイント

ファイルを複数選択する際は、「Ctrl」キーまたは「Shift」キーを押しながら複数選択した状態で FILDER CeeD 画面へドラッグ&ドロップします。

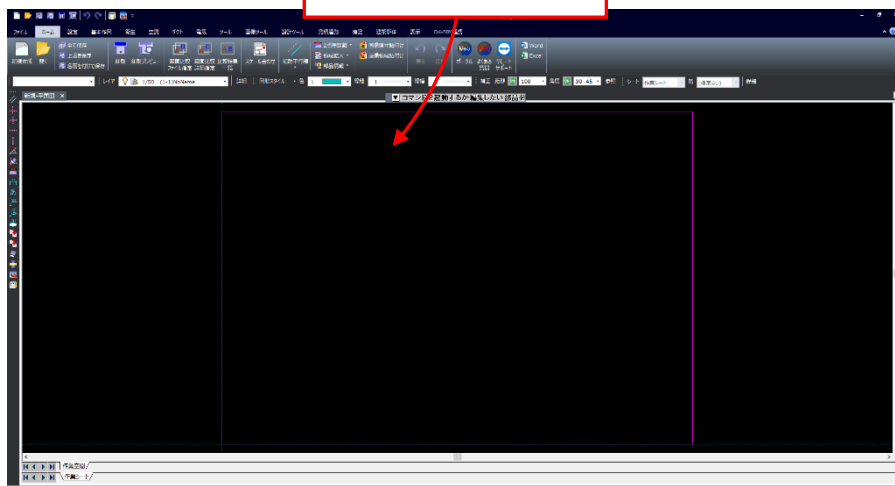
1. 読み込みたい図面が入っているフォルダを開きます。



2. 読み込みたい図面を左クリックしたまま、FILDER CeeD 画面へドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップ





●読み込めるファイル形式

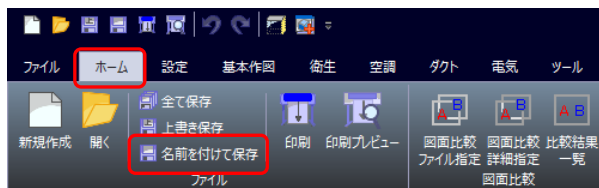
FILDER CeeD 図面ファイル[*.dcd]	
FILDER Cube 図面ファイル[*.dcs]	
FILDER Rise 図面ファイル[*.drs]	
FILDER_PLUS 図面ファイル[*.dps]	
FILDER 図面ファイル[*.dsw* .dzm]	
図面テンプレートファイル[.dtf]	
Rebro ファイル[.reb]	Rebro 形式の図面ファイル（2020 形式まで）
中間ファイル[.CEQ]	BE-Bridge の図面ファイル（V2.0 ～ V7.0）
DXF ファイル[.dxf]	DXF 形式の図面ファイル（テキスト形式のみ読み込み可能、2018 形式まで）
DWG ファイル[.dwg]	AutoCAD の図面ファイル（2018 形式まで）
図面ファイル[.dwc]	7655 のファイル形式
JWC ファイル[*.jwc]	JW-CAD(DOS 版) 図面のファイル形式
JW-CAD の図面ファイル[.jww]	JW-CAD（DOS 版）の図面ファイル、JW-CADforWindows V.2.3～V8.*まで
SXF ファイル[.sfc]	国内 CAD データ交換のための簡易な形式の図面ファイル
SXF ファイル[.p21]	ISO10303 STEP/AP202 規約に則った電子納品の為の図面ファイル
DRA-CAD 図面ファイル MPX ファイル [*.mpx, *.mpz]	DRA-CAD 図面ファイル（読み込みのみ対応、DRA-CADV3.0 まで）
IFC ファイル[.ifc]	IFC の図面ファイル（IFC 2×3 に対応）
PDF ファイル[.pdf]	電子文章のためのフォーマット
バックアップファイル [*.bcd *.bdcd]	FILDER CeeD のバックアップファイル

2-3. ファイルの保存

◆ 2-3-1

FILDER CeeD 形式で保存

1. リボンメニューの「ホーム」タブから【名前を付けて保存】をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。



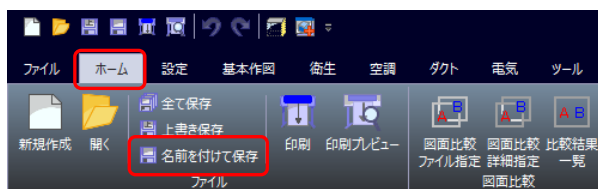
2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので、「保存する場所」・「ファイル名」を設定し、「保存」ボタンをクリックします。



◆ 2-3-2

他の形式で保存

1. リボンメニューの「ホーム」タブから【名前を付けて保存】をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。



2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので、「保存する場所」・「ファイル名」を設定します。



3. 「ファイルの種類」欄をクリックし、ファイルの種類を選択し、「保存」ボタンをクリックします。





●保存できるファイル形式

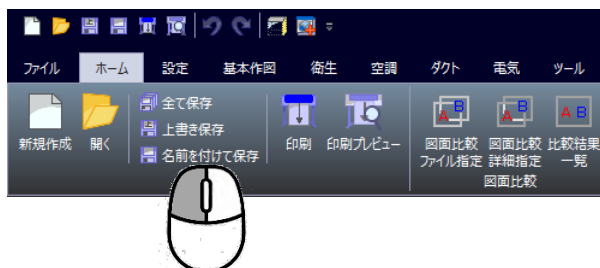
FILDER CeeD 図面ファイル[.dcd]	
FILDER Cube (V1.6 形式) 図面ファイル[.dcs]	
FILDER Rise (V2.2 形式) 図面ファイル[.drs]	
FILDER_PLUS (V2.240 形式) 図面ファイル[.dps]	
FILDER (V3.0 形式) 図面ファイル[.dsw]	
図面テンプレートファイル[.dtf]	
Rebro ファイル[.reb]	
BE-Bridge ファイル [.CEQ]	BE-Bridge 図面ファイル (V2.0～V7.0)
DXF ファイル[.dxf]	DXF 形式の図面ファイル (V2007 形式まで)
DWG ファイル[.dwg]	AutoCAD の図面ファイル (V2007 形式まで)
JWC ファイル[.jwc]	JW-CAD (DOS 版) の図面ファイル
JWW ファイル[.jww]	JW-CAD の図面ファイル (JW-CADforWindows V.2.3～V7.0 まで)
SXF ファイル[.sfc]	国内 CAD データ交換のための簡易な形式の図面ファイル (V3.0 形式まで)
SXF ファイル[.p21]	ISO10303 STEP/AP202 規約に則った電子納品の為の図面ファイル
IFC ファイル(*.ifc)	BIM の中間ファイル形式
設備・梁貫通孔連携中間ファイル(*.csv)	

3. 基本操作

3-1. 「コマンド実行」の操作

リボンメニューから実行

リボンメニューのコマンドを左クリックします。



◎ワンポイント

図形や部品の上で右クリックすると、その図形や部品で選択できるコマンドのショートカットメニューが表示されます。

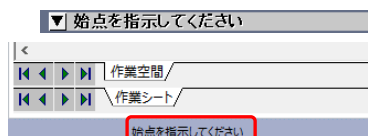
ショートカットメニューから実行

右クリックでショートカットメニューを表示し、実行したいメニューを左クリックします。

2 回右クリックすると別メニューが表示されます。

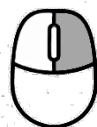
◎ワンポイント

各メニューを実行した場合、ガイダンスで次の操作をポップアップもしくは画面左下に文字で表示します。



ガイダンスの表示位置の変更は、リボンメニューの「設定」タブー「環境設定」の「情報表示」タブ内で設定できます。

1 回目右クリック



2 回目右クリック



3-2. 「キャンセル」の操作

コマンド実行中にコマンドをキャンセルする方法は3種類あります。

ショートカットメニューからキャンセル

図形などが何もない場所でマウスを右クリックし、ショートカットメニューから「コマンドキャンセル」を選択します。



マウスのセンターホイールでキャンセル

マウスのセンターホイールを押し込み、キャンセルします。



キーボードの「Esc」キーでキャンセル

キーボードの「Esc」キーを押し、キャンセルします。



3-3. 「確定」の操作

コマンド起動後の確定操作方法は3種類あります。

マウスの確定

マウスの右クリックし、確定します。



キーボードの「Enter」キーで確定

キーボードの「Enter」キーを押し、確定します。



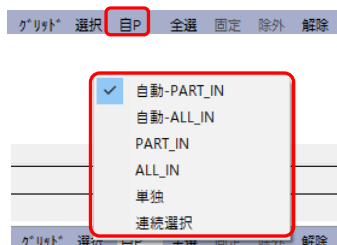
3-4. 図形の選択

◎ワンポイント

選択した図形を選択解除する場合、キーボードの「Esc」キーを押すか、図面上の何も無いところで右クリックし、ショートカットメニューから「ピックキャンセル」を選択します。

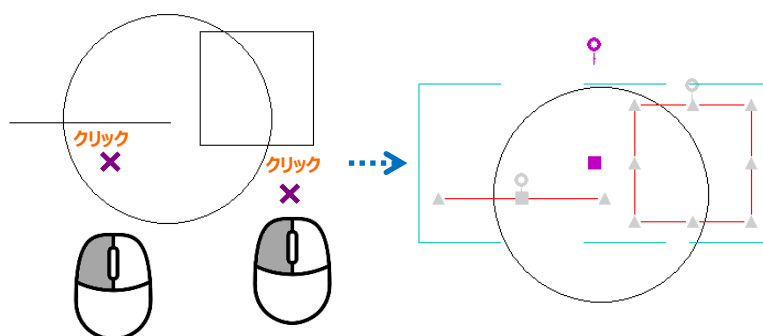
◎ワンポイント

PART-IN と ALL-IN を切替えるには、FILDER CeeD 画面下にある選択制御ツールバーの「自 P」をクリックし、切替たい項目をクリックします。



1つずつ図形を選択する場合

コマンドキャンセル状態で図形をマウスの左クリックで選択します。
 複数選択する場合は、続けて次の図形をクリックします。



複数の図形を一度に選択する場合

選択する図形が複数ある場合は、四角形で囲むように対角線上の 2 点をクリックすると指定した範囲内にある図形が選択されます。
 対角線上をクリックする際に、カーソル付近に「PART-IN」または「ALL-IN」が表示されます。

PART-IN

対角線上の 2 点を指示して作成する領域内に、**図形の一部でも含まれている場合**に選択します。

枠からはみ出ている部分がある図形も選択状態になります。

左側から領域で囲います。



ALL-IN

対角線上の 2 点を指示して作成する領域内に、**図形の全体が含まれている場合**に選択します。

枠からはみ出ている部分がある図形は選択状態にはなりません。

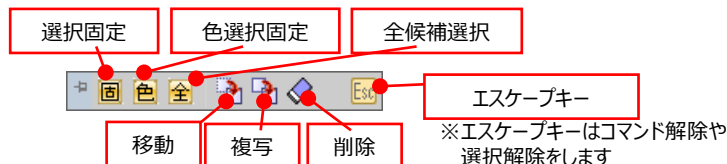
右側から領域で囲います。



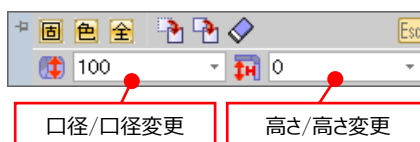
●ミニツールバー

図形・機器・電気シンボル・配線・配管・ダクト選択時に表示されるツールバーで、「選択固定」・「色選択固定」・「全候補選択」・「移動」・「複写」・「削除」や、配管・ダクト選択時には口径変更、高さ変更ができます。また、文字関連(文字、寸法線、傍記など)を選択した場合に表示されるミニツールバーでは「文字高固定」「フォント固定」することができます。

●例：一般作図選択時



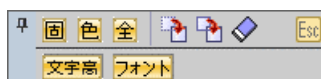
●例：配管選択時



●例：ダクト選択時（角ダクト）



●例：文字選択時

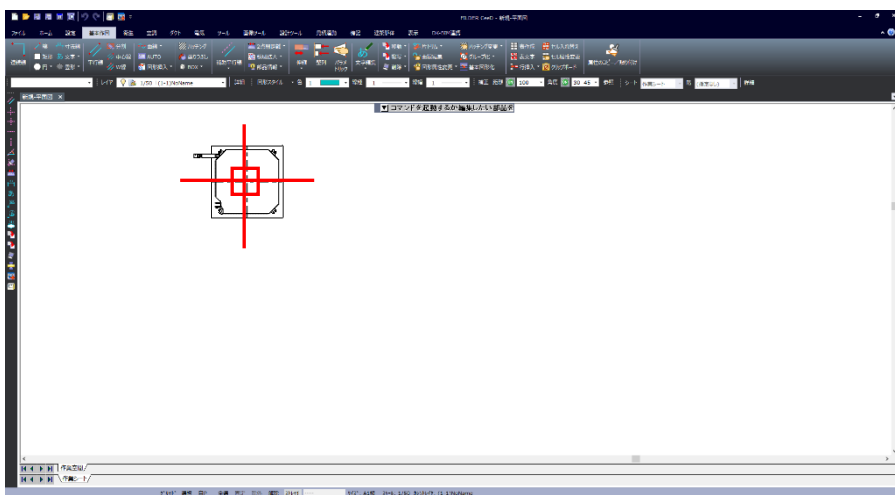


3-5. 拡大表示

マウスのセンターホイールを使用して、画面の拡大表示をします。

※本機能は、マウスの種類、ドライバの設定、マウスユーティリティ等によっては正常に作動しない場合があります。予めご了承ください。

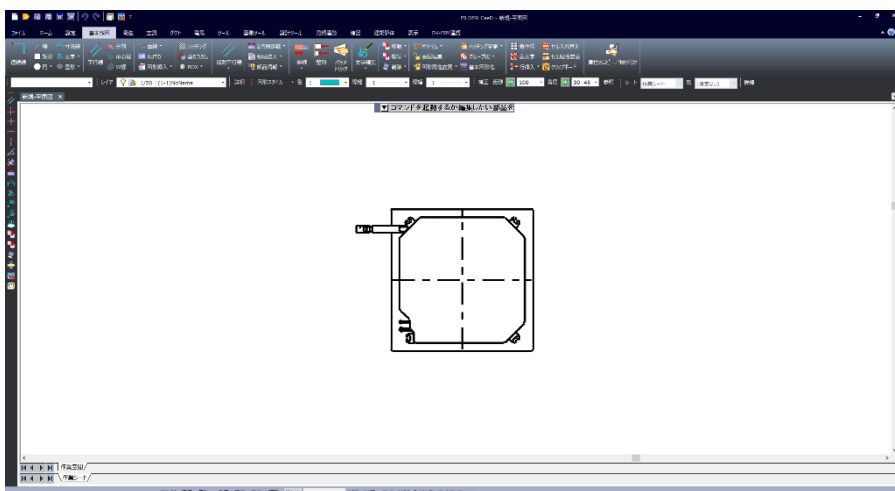
1. 拡大したい部分に十字カーソルを合わせます。



2. マウスのセンターホイールを前に回転します。



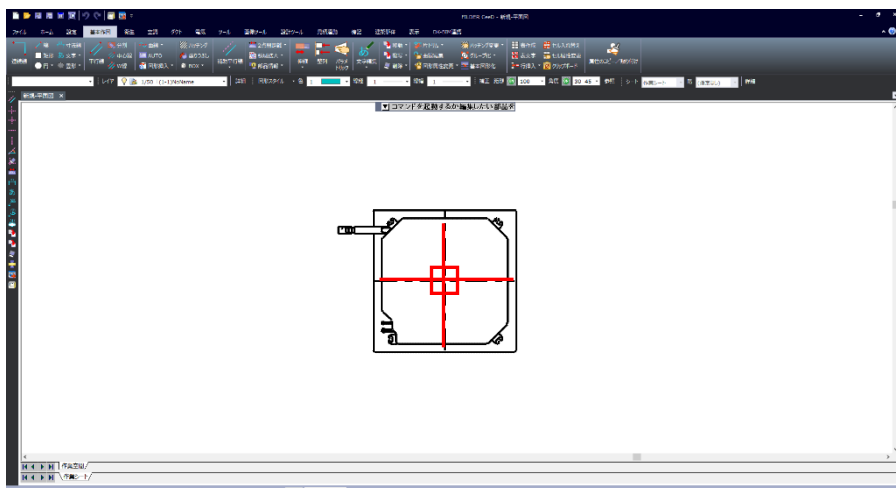
3. 画面が拡大表示されます。



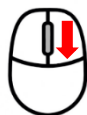
3-6. 縮小表示

マウスのセンターホイールを使用して、画面の縮小表示をします。

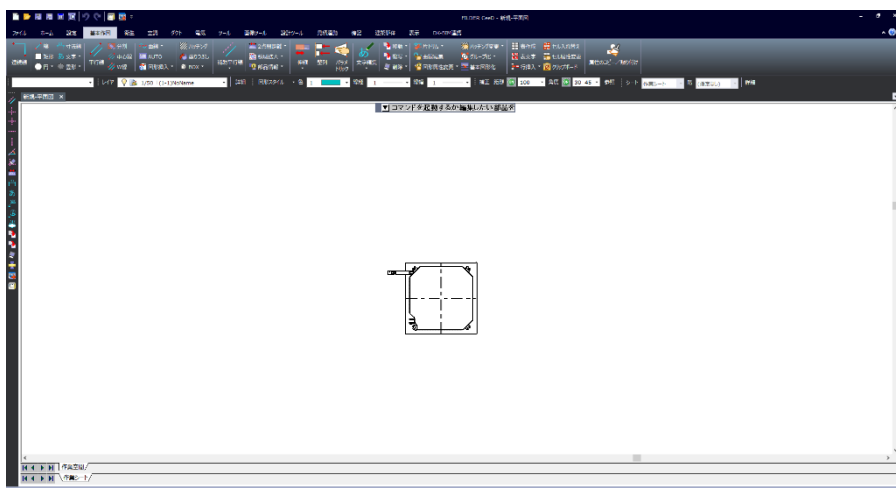
1. 縮小表示したい部分に十字カーソルを合わせます。



2. マウスのセンターホイールを後ろに回転します。



3. 画面が縮小表示されます。



◎ワンポイント

キーボードのキーで表示変更

「Home」キー：図面全体の表示（用紙外に作図されている図形含む）

「End」キー：用紙範囲の表示

「Shift」キー+マウスホイール回転：用紙の表示が上下に移動

「Ctrl」キー+マウスホイール回転：用紙の表示が左右に移動

「Shift」+「Ctrl」キー+マウスホイール：カーソル位置で拡大・縮小

4. 基本作図

4-1. 線を作図

1 本ずつ線を作図する方法と、続けて線を作図する方法で線を作図します。

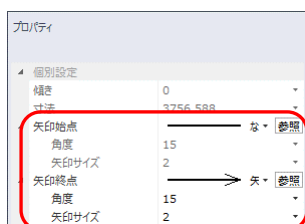
◆ 4-1-1

1 本ずつ線を作図（線）

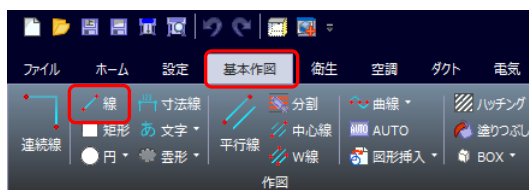
◎ワンポイント

後から矢印を付加する場合、矢印付加をする線分を選択し、プロパティの「矢印始点」、「矢印終点」で矢印を選択します。

また、矢印の種類により「角度」、「矢印サイズ」を同時に変更することができます



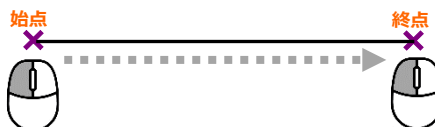
1. リボンメニューの「基本作図」タブから【線】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



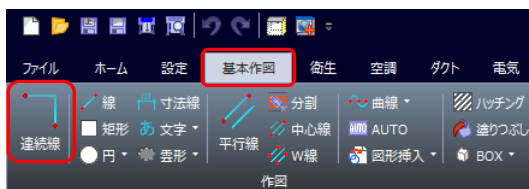
3. 始点（1点目）、終点（2点目）をクリックします。



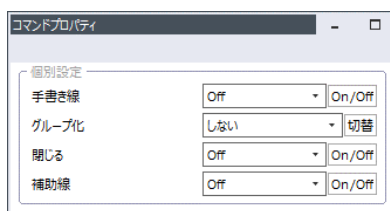
◆ 4-1-2

続けて線を作図（連続線）

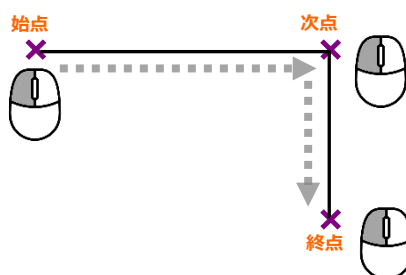
1. リボンメニューの「基本作図」タブから【連続線】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 始点（1 点目）、次点（2 点目）、終点（3 点目）とクリックして
 いきます。
 連続線を一旦終了するには、確定（右クリックまたは「Enter」キー）
 します。



●真っ直ぐ（水平、垂直）な線を作図するには

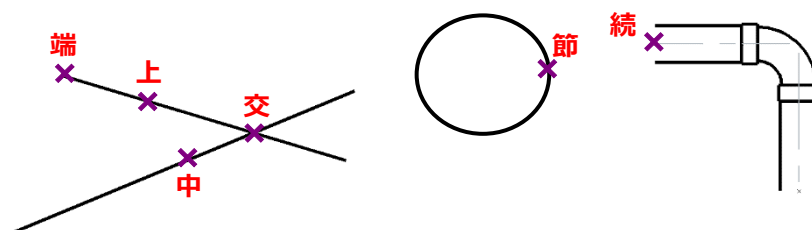
共通項目ツールバーの「補正」－「角度」の右側のボタンを「On」の状態
 にすると数値が入ります。（初期値は「30 45」と入ります）
 こちらは、この数値の角度で補正するという意味ですので、「角度」を
 「On」の状態にすることで、水平・垂直の線を描くことができます。



●アシスト表示

作図中にカーソルを図形に近づけると「交」・「端」などの文字が表示され
 ます。

それらが表示されているときにクリックすることで、図形の交点や端点など
 を正確に取ることができます。

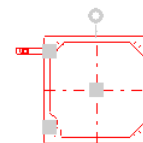




●作図する線種・線色・線幅を変更するには

作図されている図形の線種、線色、線幅を変更するには、「Esc」キーを押してコマンドキャンセル状態にします。

変更したい図形を選択します。



図形スタイルのツールバーで線種、線色、線幅を変更します。



線幅は環境設定で、「ペン番号ごとに線幅を設定」が選択されている場合のみ変更できます。

◆4-1-3

線の長さを決めながら作図 (キーボード入力)

キーボードで線の長さを入力し、作図します。

例として、500 の長さの線を作図します。

始点（直前にクリックした点）をクリックし、その始点からカーソルを移動、長さをキーボードで入力します。

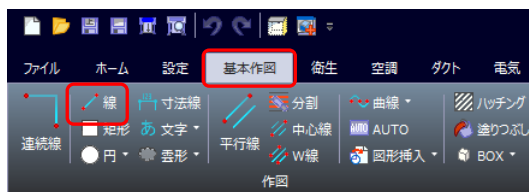
◎ワンポイント

入力した数値は、X・Yではなく、そのままの距離と考えます。

この時、角度補正が「On」の場合は、その角度で方向を決定します。

角度補正が「Off」の場合は、90 度単位で方向を決定します。

1. リボンメニュー「基本作図」タブから【線】をクリックします。



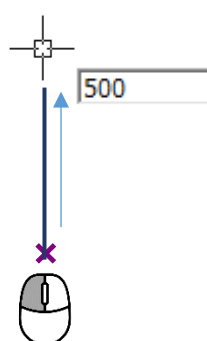
始点（1 点目）からの右の方向に線を作図したい場合

2. 始点（1 点目）をクリックし、カーソルを右側へ移動し、キーボードから「500」と入力して「Enter」キーを押します。



始点（1 点目）から上の方向に線を作図したい場合

3. 始点（1 点目）をクリックし、カーソルを上側へ移動し、キーボードから「500」と入力して「Enter」キーを押します。



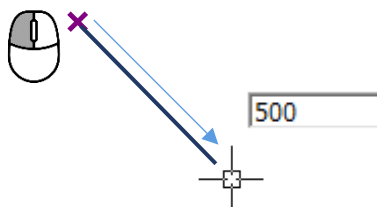
◆ 4 - 1 - 4

補助線の作図

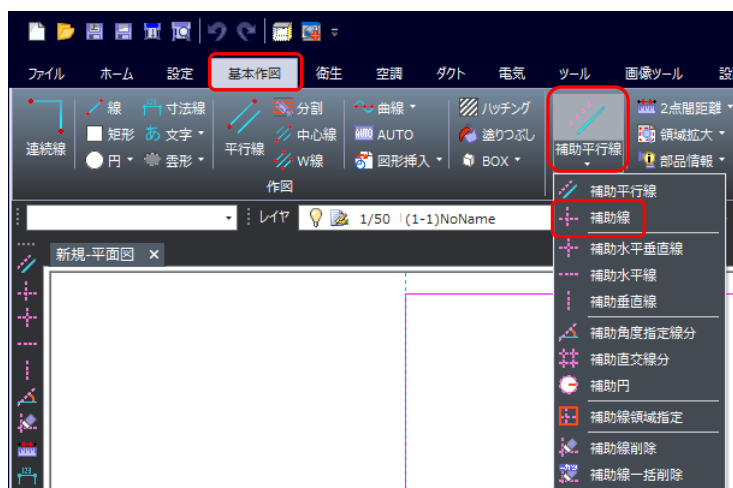
補助線は印刷されない線です。
 機器や配管などを配置するための
 目印として使用します。

始点（1 点目）から右下 45 度方向に線を作図したい場合

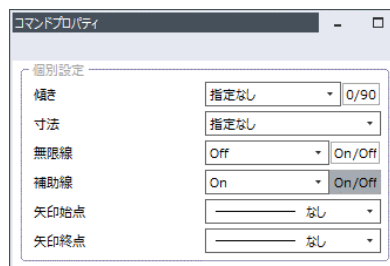
4. 始点（1 点目）をクリックし、カーソルを右下側へ移動し、**キーボードから“500”と入力して「Enter」キーを押します。**
 （角度補正 45 度）



1. リボンメニューの「基本作図」タブの【補助平行線】から【補助線】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. **始点（1 点目）、終点（2 点目）**をクリックします。



◆ 4 - 1 - 5

補助平行線の作図

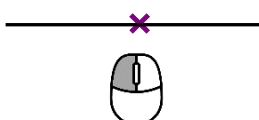
基準とする線と平行な補助線を作図します。

補助平行線の作図（基準線と同じ長さで作図）

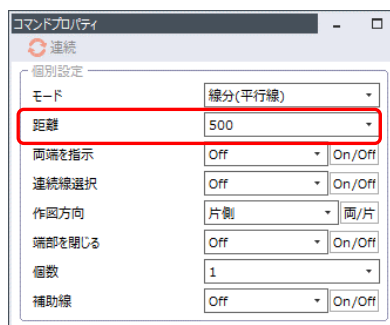
1. リボンメニューの「基本作図」タブから「補助平行線」をクリックします。



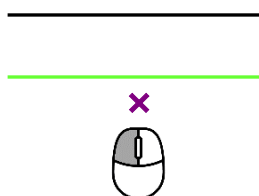
2. 基準線をクリックします。



3. コマンドプロパティの「距離」に基準線からの距離を入力します。



4. 配置方向をクリックします。

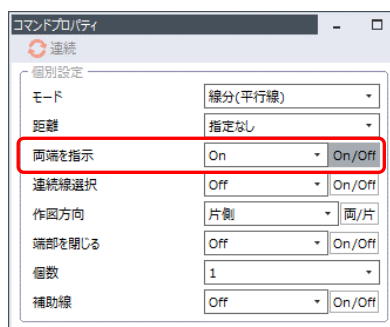


補助平行線の作図（基準線と違う長さで作図）

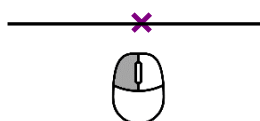
1. リボンメニューの「基本作図」タブから「補助平行線」をクリックします。



2. コマンドプロパティの「両端を指示」を「On」にします。



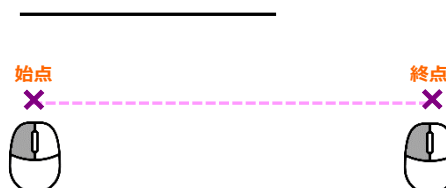
3. 基準線をクリックします。



4. コマンドプロパティの「距離」に基準線からの距離を入力します。



5. 始点（配置方向）、終点をクリックします。



◆ 4-1-6

四角形の作図

角度補正、距離補正を「Off」にし、自由なサイズの四角形を作図します。

◎ワンポイント

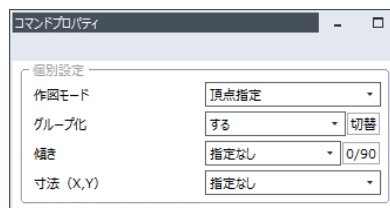
寸法を指示して配置した場合は、プロパティの「寸法 (X,Y)」に数値入力します。

- ① プロパティの「寸法 (X,Y)」に数値入力して、「Enter」キーを押します。
- ② 始点（頂点）、配置方向をクリックします。

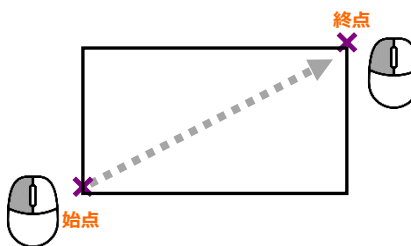
1. リボンメニューの「基本作図」タブから【矩形】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 始点（頂点）、終点（対角の頂点）をクリックします。



◆ 4-1-7

円の作図

角度補正、距離補正を「Off」にし、自由なサイズの円を作図します。

◎ワンポイント

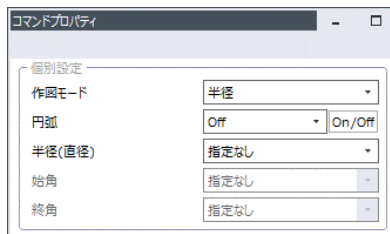
寸法を指示して配置したい場合、プロパティの「半径 (直径)」に数値入力します。

- ① プロパティの「半径 (直径)」に数値入力して、「Enter」キーを押します。
- ② 配置位置をクリックします。

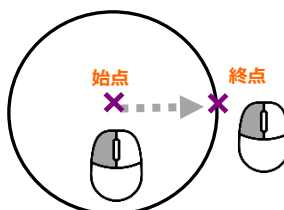
1. リボンメニューの「基本作図」タブから【円】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 始点（円の中心点）、終点（円の円周上）をクリックします。



4-2. 図形の編集

作図されている図形を編集します。

◆ 4-2-1

図形の削除

作図された図形を削除します。

◎ワンポイント

補助線も一緒に削除する場合は、プロパティの「補助線含む」にある「On/Off」ボタンをクリックして「On」にします。

◎ワンポイント

コマンドから削除のほかに、図形選択後、表示されるミニツールバーの「削除」ボタンをクリックすると、図形を削除することができます。



◆ 4-2-2

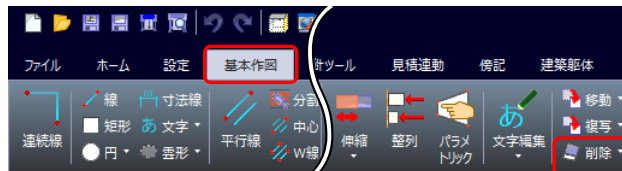
線の伸縮

線を伸縮します。

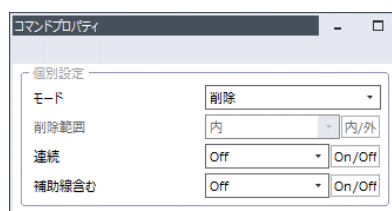
◎ワンポイント

任意角度の線分をそのままの角度で伸縮する場合は、コントロールポイント（▲）をクリック後、「Ctrl」キーを押しながら目標点をクリックします。

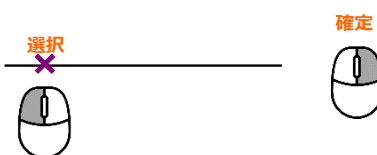
1. リボンメニューの「基本作図」タブから「削除」をクリックします。



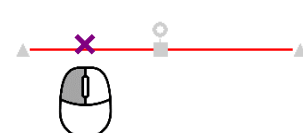
2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



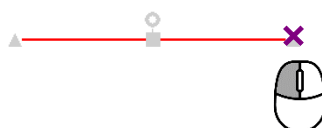
3. 削除する図形を選択し、**確定（右クリックまたは「Enter」キー）**します。



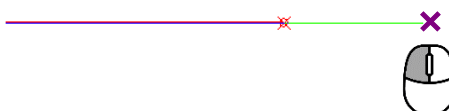
1. コマンドキャンセルの状態伸縮する図形を選択します。



2. 伸縮する端点にあるコントロールポイント（▲）をクリックします。



3. **目標点**をクリックします。



◆ 4 - 2 - 3

図形の移動

図形をコントロールポイントと
 「移動」コマンドで移動します。

◎ワンポイント

選択したくない図形を選択
 した場合は、「Shift」キー+
左クリックで除外（選択状
 態から外す）ができます。

◎ワンポイント

補助線を他の図形と一緒
 に選択したい場合は、図形
 を選択後、補助線をクリック
 し「補助線も選択します
 か？」とメッセージが表示さ
 れるので「はい」ボタンをクリッ
 クします。

一時的に補助線を選択で
 きるようになります。

※次にコマンドが起動される
 まで使用できます。

※コマンドキャンセル中のみ
 使用できます。

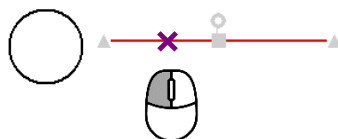
◎ワンポイント

コマンドから移動のほかに、
 図形選択後、表示されるミ
 ニツールバーの「移動」ボタ
 ンをクリックすると、図形を移
 動することができます。



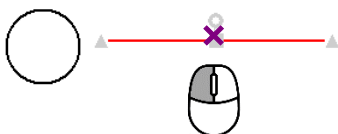
図形の移動（コントロールポイント
 での移動）

1. コマンドキャンセルの状態移動する図形を選択します。

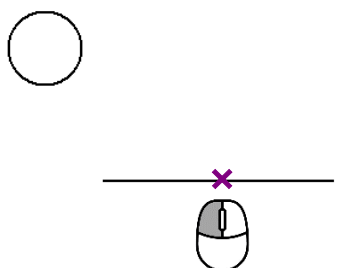


2. コントロールポイント（■）をクリックします。

※自由な位置に配置する際は、角度補正と距離補正を「Off」にします。

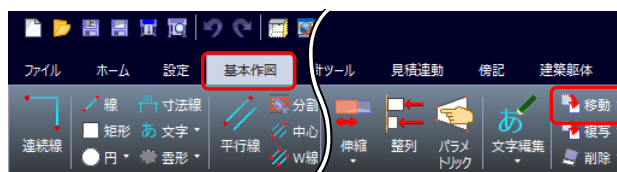


3. 目標点をクリックします。

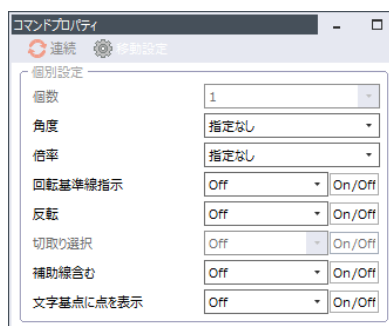


図形の移動（移動コマンド）

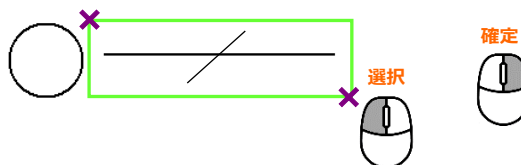
1. リボンメニューの「基本作図」タブから「移動」をクリックします。



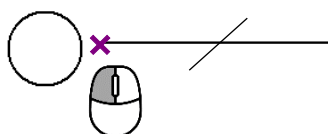
2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



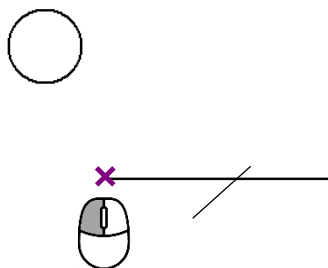
3. 移動する図形を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



4. 基準点をクリックします。



5. 配置点（目標点）をクリックします。



◆ 4 - 2 - 4

図形の複写

図形を複写します。

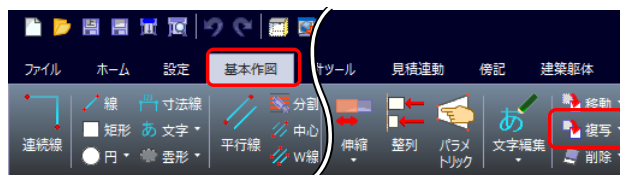
◎ワンポイント

コマンドから複写のほかに、
図形選択後、表示されるミニ
ツールバーの「複写」ボタン
をクリックすると、図形を複
写することができます。

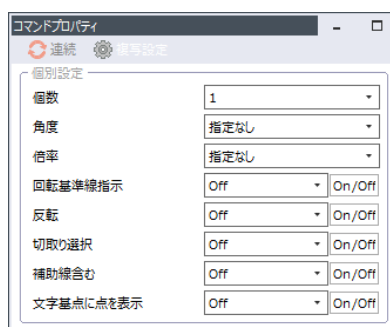


図形を同じファイルに複写

1. リボンメニューの「基本作図」タブから【複写】をクリックします。

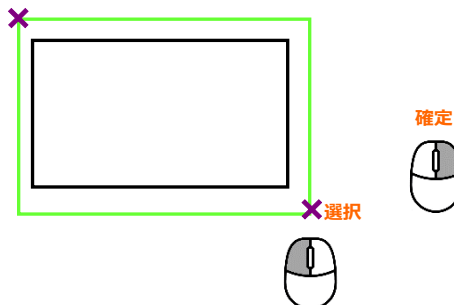


2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。

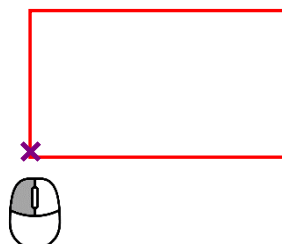


3. 複写する図形を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）し
ます。

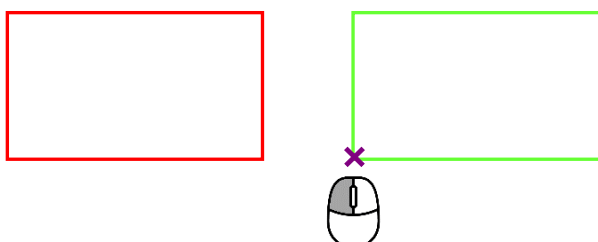
※自由な位置に配置する際は、角度補正と距離補正を「Off」にします。



4. **基準点**をクリックします。



5. **配置点（目標点）**をクリックします。



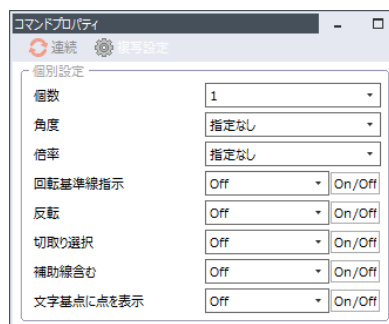
別ファイルへ複写（ファイル間コピー）

あらかじめ、複写元ファイルと複写先ファイルを開いておきます。

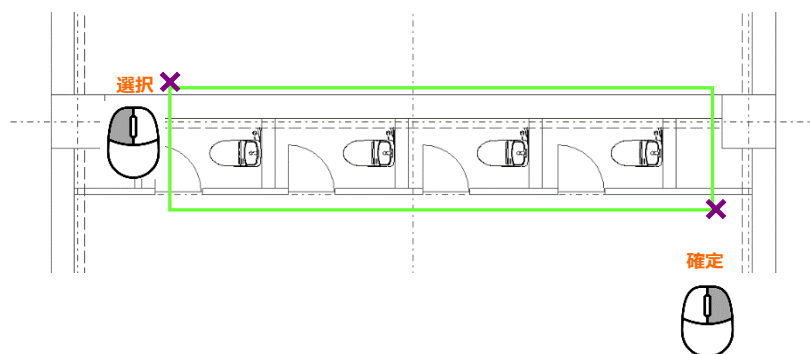
1. リボンメニューの「基本作図」タブから【複写】をクリックします。



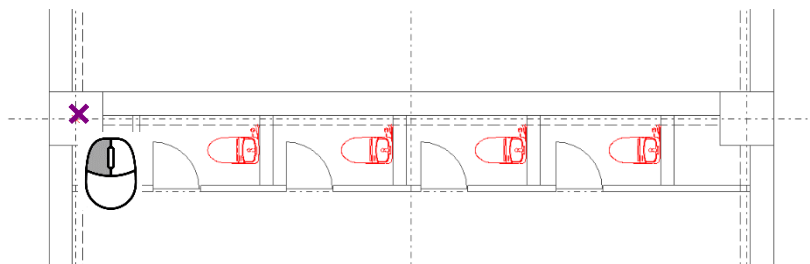
2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 複写する図形を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



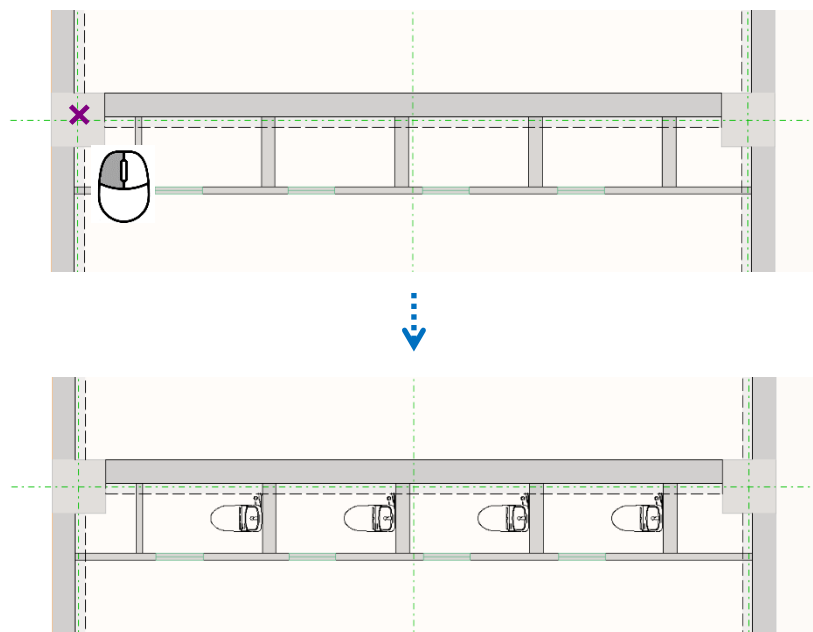
4. **基準点**をクリックします。



5. 画面左上にある複写先ファイル名のタブをクリックします。



6. 配置点（目標点）をクリックします。



5. 傍記作図

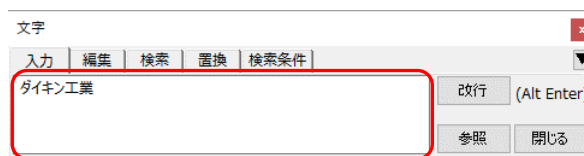
5-1. 文字の配置・編集

◆ 5-1-1 文字の配置

1. リボンメニューの「傍記」タブから「文字」をクリックします。



2. 「文字」ダイアログの「入力」欄に配置する文字を入力します。



3. 配置点をクリックします。



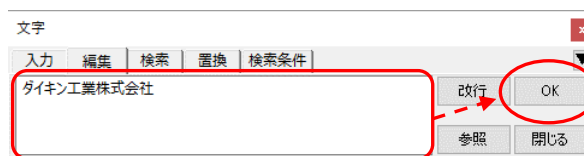
◆ 5-1-2 文字の編集

既に配置した文字を編集します。

1. コマンドキャンセルの状態編集する文字をダブルクリックします。



2. 「文字」ダイアログの「編集」欄に変更する文字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

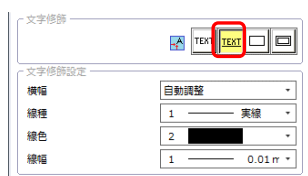




◎ワンポイント

文字装飾でアンダーバー、ボックス、二重ボックスのボタンをクリックすることで文字を装飾することができます。

・アンダーライン



文字

・ボックス



文字

・二重ボックス



文字

また、アンダーライン、ボックス、二重ボックスの「横」・「縦」のオフセットを設定する場合は、文字修飾の一番左にあるボタンをクリックします。

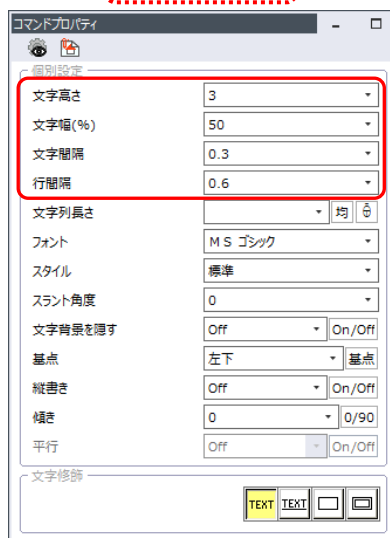


文字修飾を解除する場合は、左から2番目の「TEXT」ボタンをクリックします。

●文字の高さ・幅を設定するには

文字コマンド実行中、コマンドプロパティの「文字高さ」をクリックして、文字高さや文字幅を設定します。

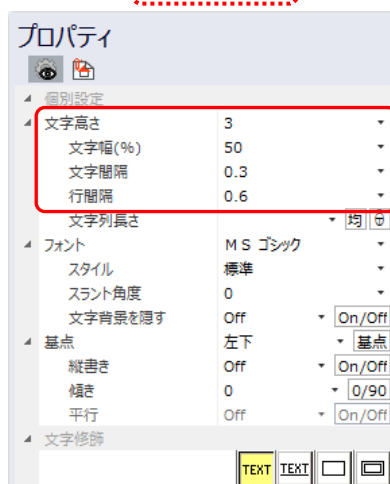
コマンド実行後



●文字の高さ・幅を変更するには

コマンドキャンセルの状態に変更したい文字を選択後、プロパティの「文字高さ」をクリックして、文字高さや文字幅を変更します。

文字選択後



5-2. 寸法線の作図

◆ 5-2-1

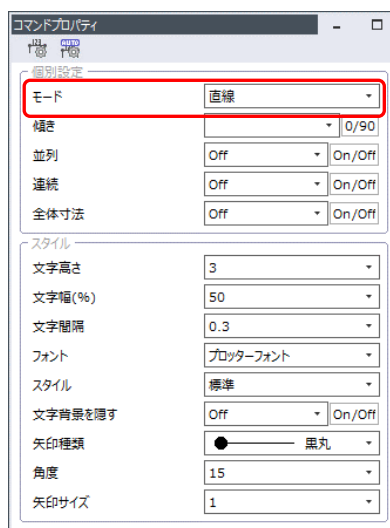
直線寸法線の配置

直線寸法線（水平・垂直）を配置します。

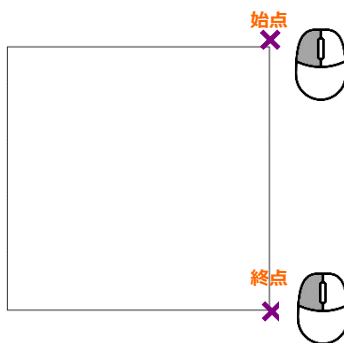
1. リボンメニューの「傍記」タブから【寸法線】をクリックします。



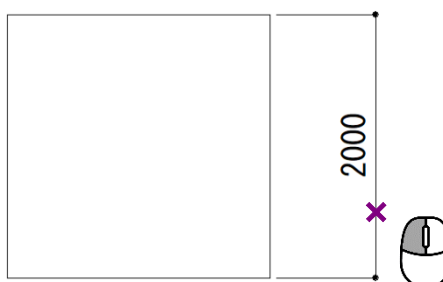
2. コマンドプロパティの「モード」を「直線」にします。



3. 始点（1点目）、終点（2点目）をクリックします。



4. 仮表示で表示状態を確認し、寸法線の配置位置をクリックします。



◆ 5 - 2 - 2

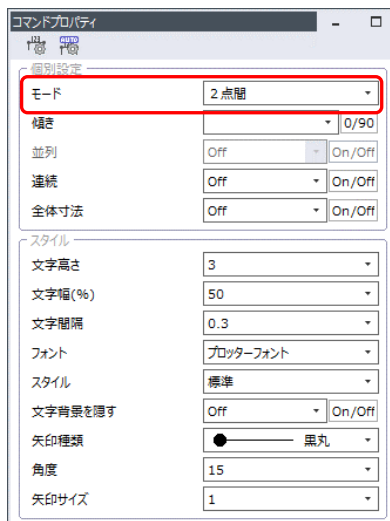
2 点間寸法線の配置

斜めの線に平行な寸法線を配置します。

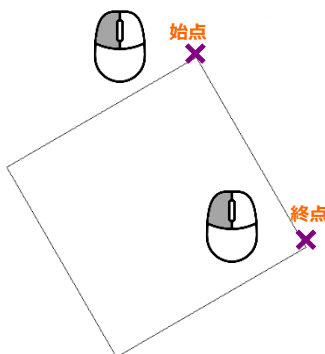
1. リボンメニューの「傍記」タブから「寸法線」をクリックします。



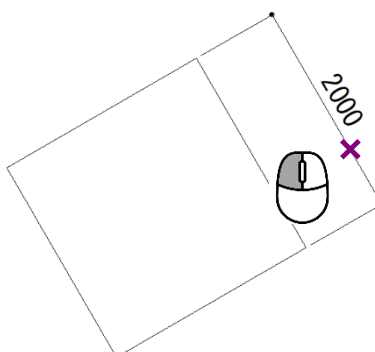
2. コマンドプロパティの「モード」を「2 点間」にします。



3. 始点（1 点目）、終点（2 点目）をクリックします。



4. 仮表示で表示状態を確認し、寸法線の配置位置をクリックします。



◆ 5 - 2 - 3

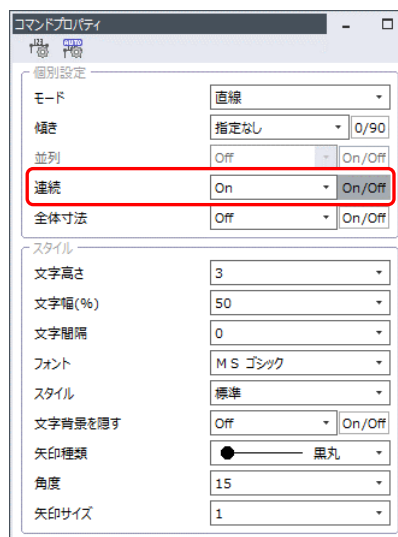
連続寸法線の配置

寸法線を連続で配置します。

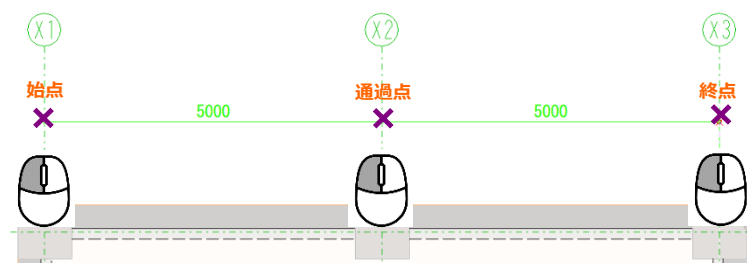
1. リボンメニューの「傍記」タブから【寸法線】をクリックします。



2. コマンドプロパティの「連続」を「On」にします。



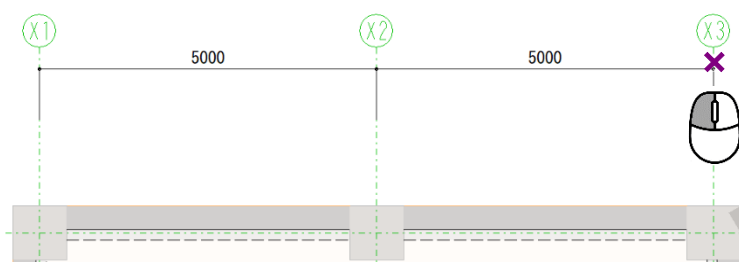
3. 始点（1 点目）、通過点（2 点目）、終点（3 点目）をクリックします。



4. 確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



5. 仮表示で表示状態を確認し、寸法線の配置位置をクリックします。



◆ 5 - 2 - 4

寸法線の自動付加

寸法線を自動で配置します。

◎ワンポイント

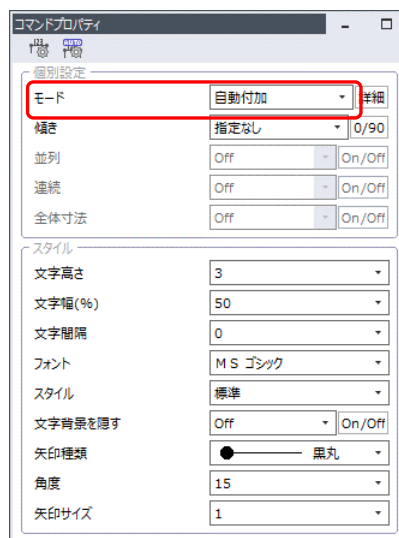
自動付加後の寸法追加への対応にともない、操作性統一のため、**従来の配管 2 回クリックによる系統選択はできなくなりました。**

配管を選択する際には、継手を指示するか範囲選択していただきますようお願いいたします。

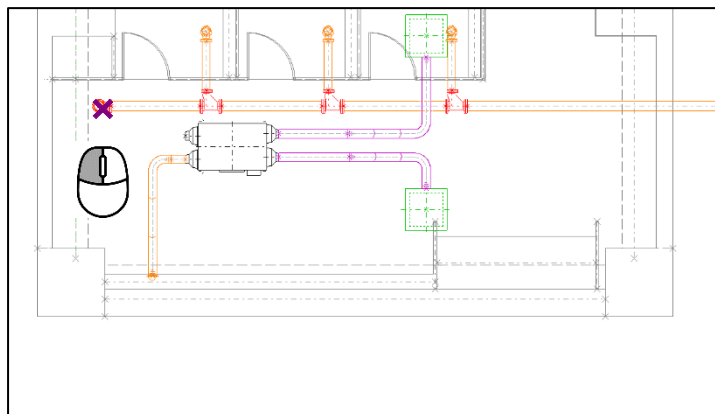
1. リボンメニューの「傍記」タブから「寸法線」をクリックします。



2. コマンドプロパティの「モード」を「自動付加」にします。



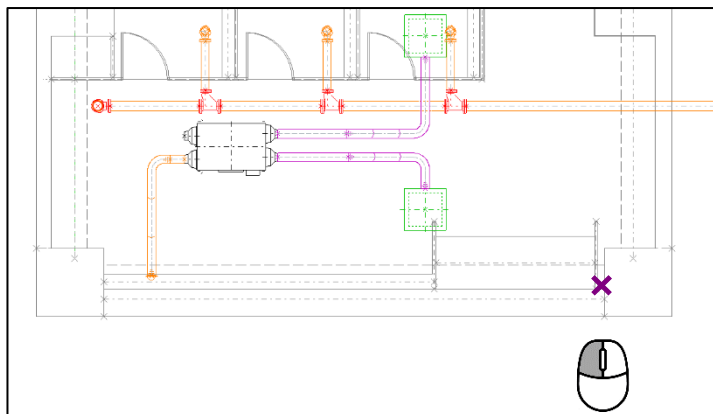
3. 自動付加する配管またはダクトの部品をクリックします。2 回連続でクリックすると、繋がっている部品が選択されます。



4. 確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



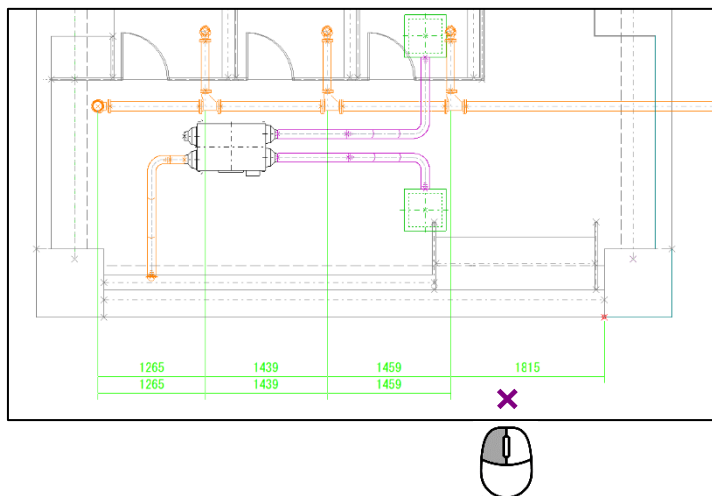
5. 寸法線を追加したい位置をクリックします。



6. 確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



7. 仮表示で表示状態を確認し、寸法線の配置位置をクリックします。



●自動付加で追加の寸法線を指定しない場合

自動付加で部品選択・決定後に追加で寸法線を指定しない場合、以下の設定を変更します。

1. コマンドプロパティの「モード」を「自動付加」にしたときに表示される右側の「詳細」ボタンをクリックします。
2. 「寸法線・自動付加」ダイアログが表示されますので、「自動付加後に寸法線を追加」のチェックを外します。
3. 「OK」ボタンをクリックします。

6. 配管

配管用途、口径、高さを選択し、配管を作図します。

6-1. 配管の作図

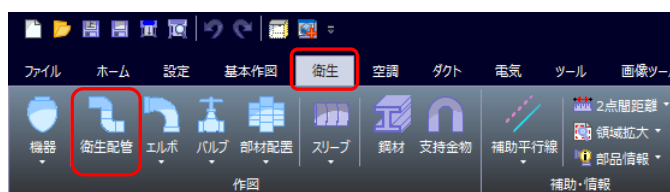
◆ 6-1-1

連続配管作図

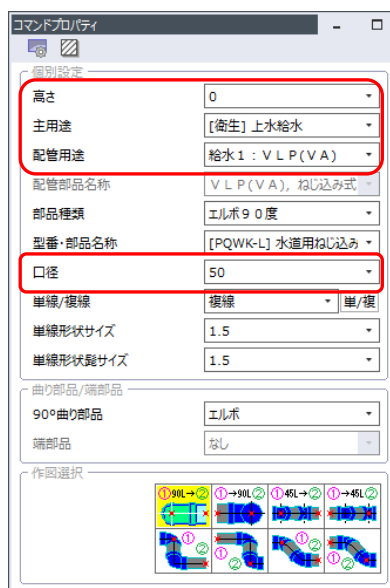
連続線のように配管を作図します。

※画像は衛生でご説明いたします。

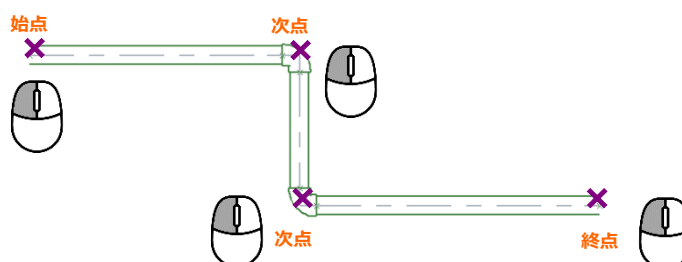
1. リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【空調配管】をクリックします。



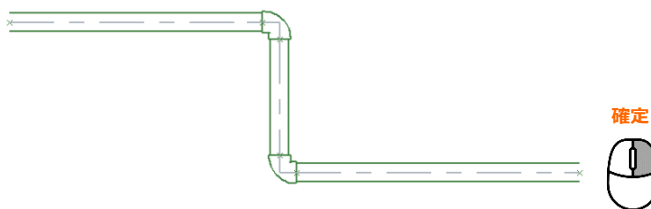
2. コマンドプロパティの「高さ」・「主用途」・「配管用途」・「口径」を選択します。



3. 始点（1点目）、次点（2点目）、次点（3点目）、終点（4点目）をクリックします。



4. 配管作図を**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



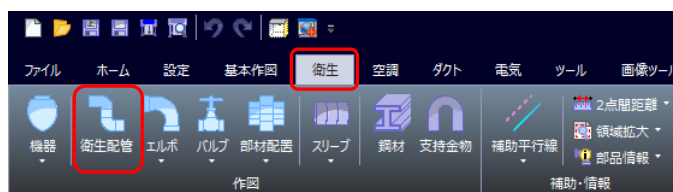
◆ 6 - 1 - 2

分岐の作図

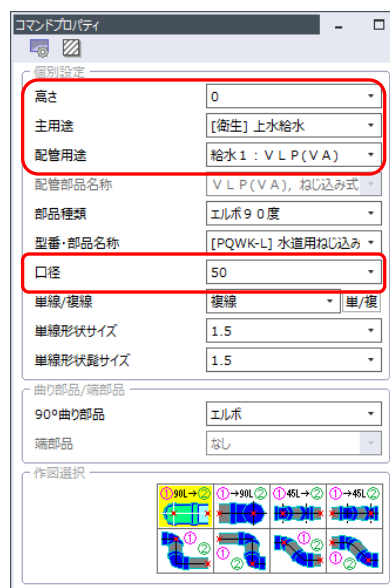
分岐管を作図します。

※画像は衛生でご説明いたします。

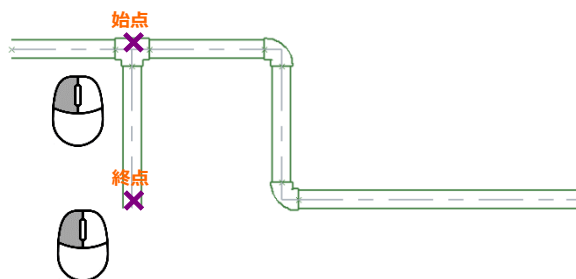
1. リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【空調配管】をクリックします。



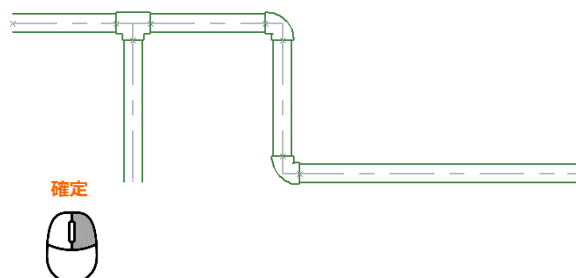
2. コマンドプロパティの「高さ」・「主用途」・「配管用途」・「口径」を選択します。



3. 始点（1 点目）、終点（2 点目）をクリックします。



4. 配管作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。（2 点目に主管上をクリックする場合は、この操作は必要ありません）



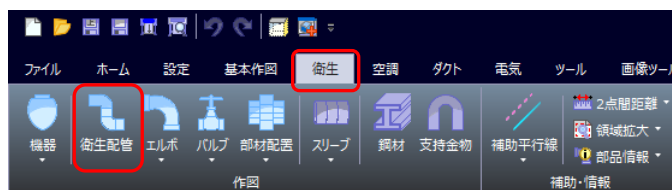
◆ 6 - 1 - 3

配管の高さを変えながら作図

配管の高さを変更しながら作図します。

※画像は衛生でご説明いたします。

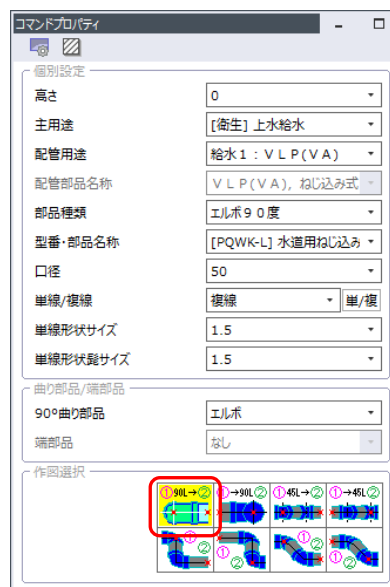
1. リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【空調配管】をクリックします。



2. コマンドプロパティの「高さ」に「0」と入力します。



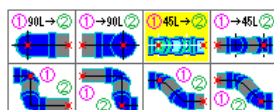
3. コマンドプロパティの「作図選択」で「①90L→②」（上段一番左）を選択します。



◎ワンポイント

高さで作図選択のパターンの組み合わせで、複数種類の高さ違いを描くことができます。

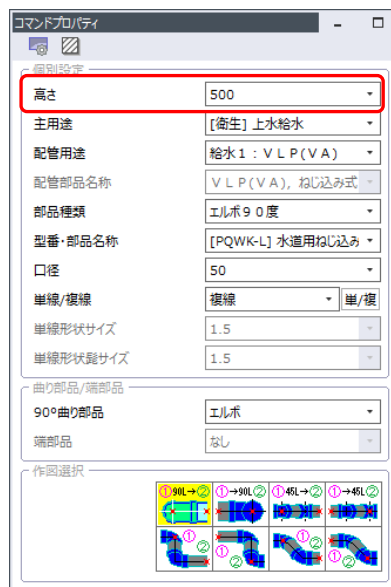
例えば、高さを0から500に上げ、「①45L→②」のパターンにすると、45 度の高さ違いを発生させることもできます。



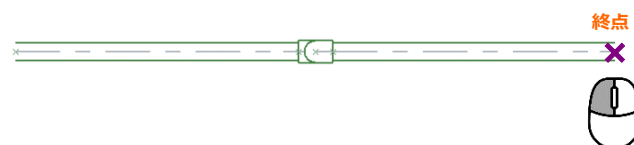
4. 始点（1 点目）、次点（2 点目）をクリックします。



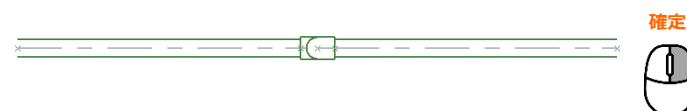
5. コマンドプロパティの「高さ」に“500”と入力します。



6. 終点（3 点目）をクリックします。



7. 配管作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



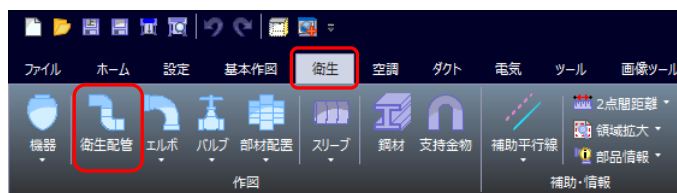
◆ 6 - 1 - 4

配管の口径を変えながら作図

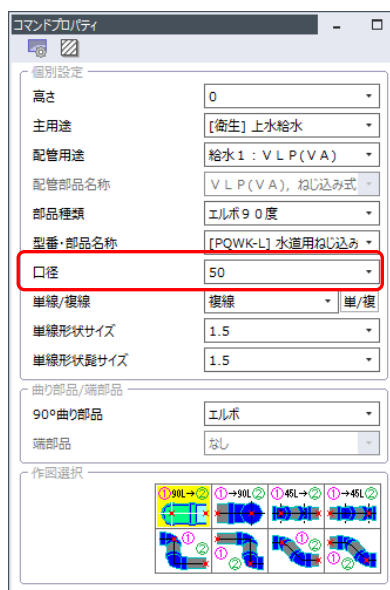
配管の口径を変更しながら作図します。

※画像は衛生でご説明いたします。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【衛生配管】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【空調配管】をクリックします。



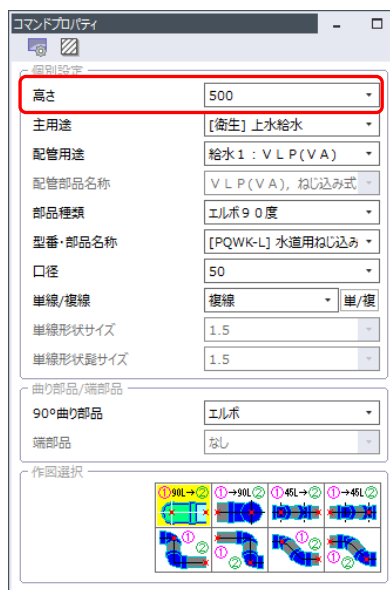
2. コマンドプロパティの「口径」を“50”にします。



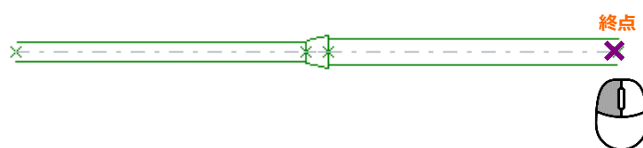
4. 始点（1点目）、次点（2点目）をクリックします。



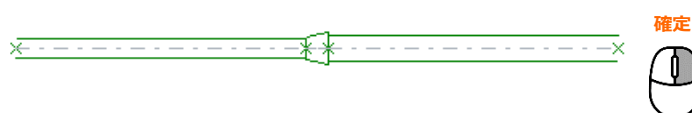
5. コマンドプロパティの「サイズ」を“80”にします。



6. 終点（3点目）をクリックします。



7. 配管作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

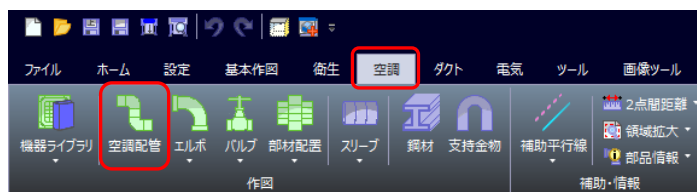


◆ 6 - 1 - 5

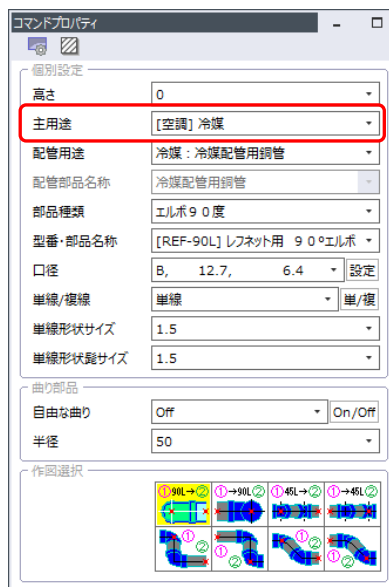
冷媒配管の作図

基本的な操作方法是他の配管と同じですが、口径の指示方法が異なりますので、ガス管と液管の口径を指定して作図します。

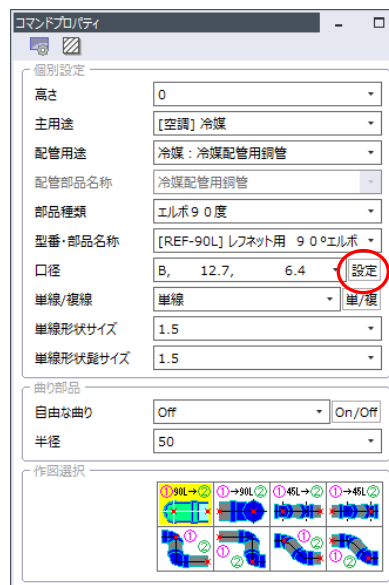
1. リボンメニューの「空調」タブから【空調配管】をクリックします。



2. コマンドプロパティの主用途を「冷媒」にします。



3. 「口径」の「設定」ボタンをクリックします。



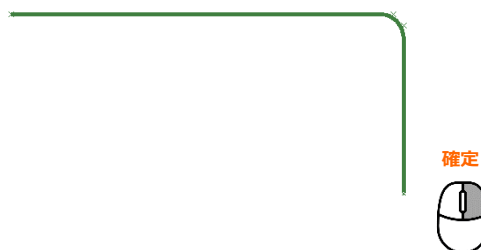
3. 「ガス」・「液」の組み合わせを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

記号	ガス	高圧ガス	液
A	9.5		6.4
B	12.7		6.4
C	12.7		9.5
D	15.9		6.4
E	15.9		9.5
F	15.9		12.7
G	19.1		9.5
H	19.1		12.7

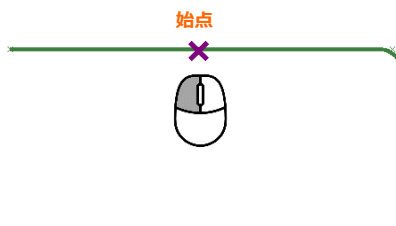
4. 始点（1 点目）、次点（2 点目）、終点（3 点目）をクリックします。



5. 配管作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



6. 分岐の始点（4 点目）をクリックします。

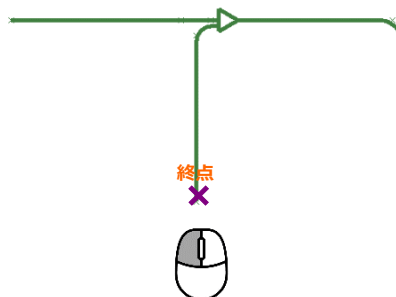


◎ワンポイント

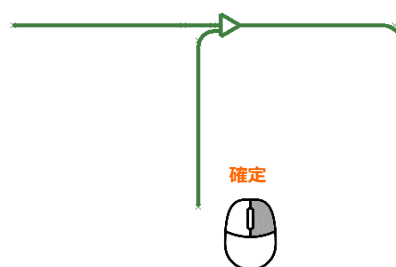
分岐管の向きはメイン管の
 作図順によって決まります。

※向き変更は「6 - 2 -
 4」をご参照ください。

7. 終点（5 点目）をクリックします。



8. 配管図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

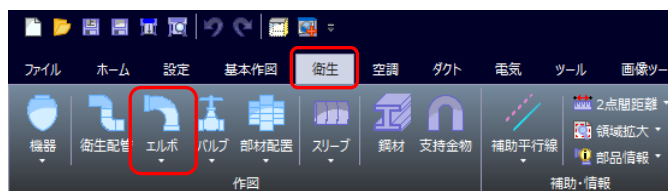


◆ 6 - 1 - 6

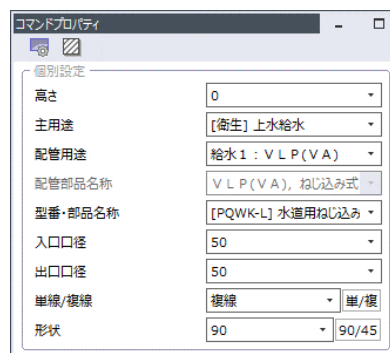
継手を単独配置

※画像は衛生でご説明いたしま
 す。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【エルボ】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【エルボ】をクリックします。



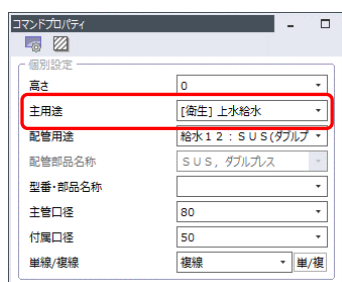
2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。





◎ワンポイント

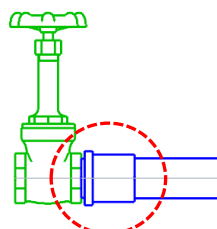
バルブを配置する前に、コマンドプロパティで配置する配管と同じ用途になっているかを確認します。



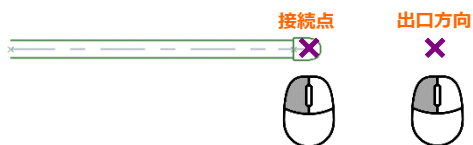
◎ワンポイント

バルブ（ねじ込み部材）から配管（塩ビ配管）を作図する、配管にバルブを挿入する際、バルブソケットが自動付加されます。

※FILDER Cube 図面、FILDER Rise 図面、旧バージョンで保存されている FILDER CeeD 図面は、保存時のマスターが有効になっているためバルブソケットは自動挿入されません。



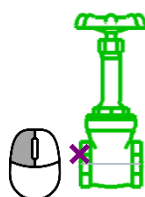
3. 配管の接続点（1 点目）、出口方向（2 点目）をクリックします。



●バルブの挿入方法

【単独】

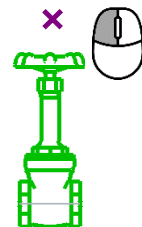
1. 基準点をクリックします。



2. 入口方向をクリックします。



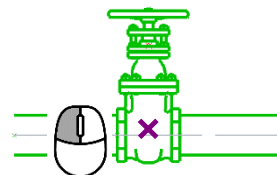
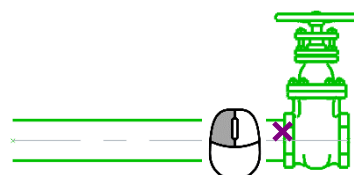
3. 付属方向をクリックします。



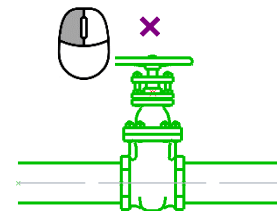
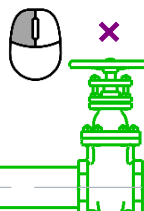
【接続・挿入】

1. 接続の場合、入口点（接続点）をクリックします。

挿入の場合、基準点をクリックします。



2. 付属方向をクリックします。



6-2. 配管の編集

配管の高さや口径などを編集します。編集する前に必ずマウスのスクロールボタンをクリックするか、キーボードの「Esc」キーを押し、コマンドキャンセルの状態にします。

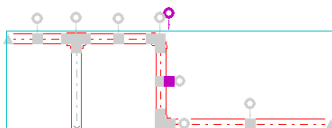
◆ 6-2-1

高さの変更

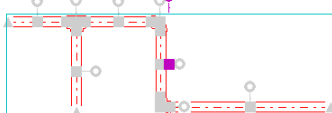
既に作図された配管の高さを変更します。

◎ワンポイント

コマンドキャンセルの状態で、配管上を 2 回クリックすると、繋がっている配管のメインルートが選択されます。



配管上を 3 回クリックすると、繋がっている配管ルート全てを選択します。



◎ワンポイント

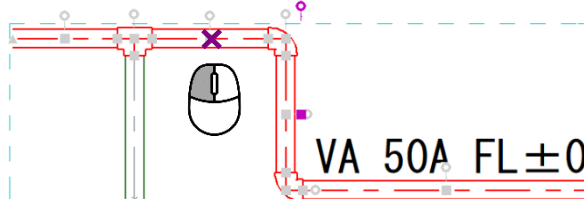
高さ変更量

現在の高さからどれくらい高く・低くするかという相対的な指示方法です。

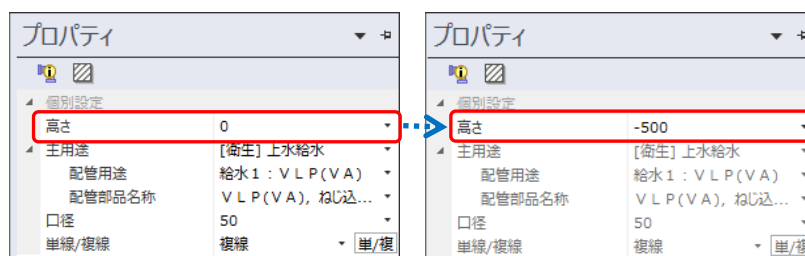
変更後高さ

現在の高さは関係なく、どの高さにするかという直接的な指示方法です。

1. 高さを変更する配管を選択します。



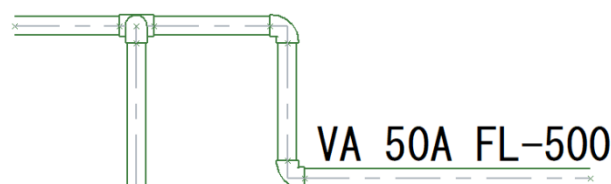
2. プロパティの「高さ」に数値を入力し、「Enter」キーを押します。



3. 「高さ変更」ダイアログが表示されますので、内容を確認し「OK」ボタンをクリックします。



4. キーボードの「Esc」キーを押し、ピックキャンセルします。

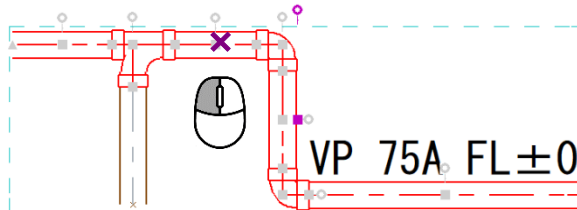


◆ 6-2-2

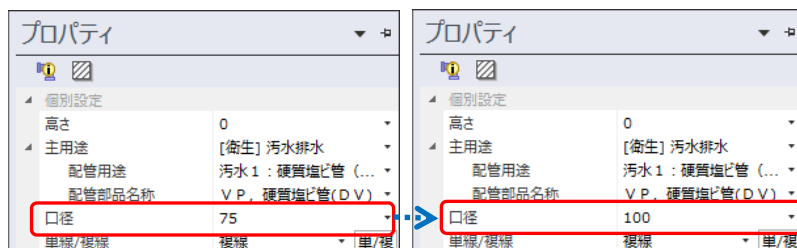
口径の変更

すでに作図された配管の口径を変更します。

1. コマンドキャンセルの状態では、口径を変更する配管を選択します。



2. プロパティの「口径」を選択します。



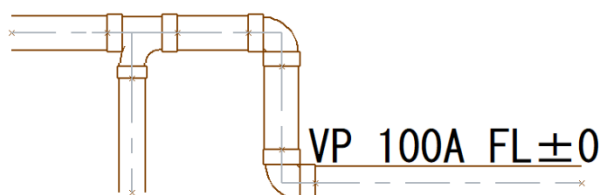
3. 「口径変更」ダイアログが表示されますので、内容を確認し「OK」ボタンをクリックします。



4. 分岐管の内容を確認し「OK」ボタンをクリックします。



5. キーボードの「Esc」キーを押し、ピックキャンセルします。

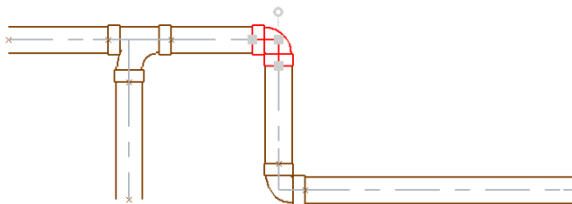


◆ 6-2-3 継手部品の変更

◎ワンポイント

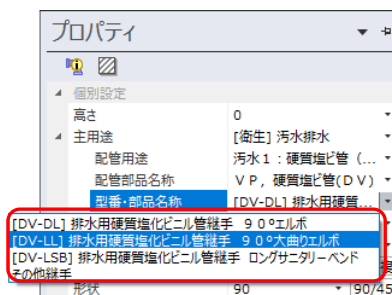
「型番・部材名称」欄に表示されているもの以外を選択する場合は、「**その他継手**」を選択し、もう一度「型番・部材名称」欄をクリックするとその他の継手が表示されます。

1. コマンドキャンセルの状態で、変更する継手を選択します。

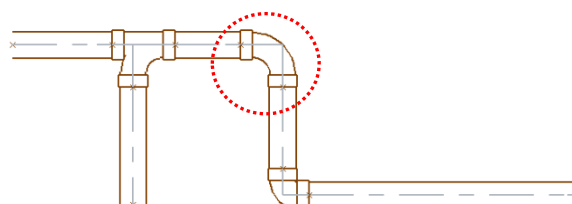


2. プロパティの「型番・部品名称」から、変更後の継手部品を選択します。

※この方法では、エルボからティーズのように継手種類の変更はできません。



3. 選択した継手部品に変更します。



◆ 6-2-4

ティーズ（レフネットジョイントなど）の向き変更

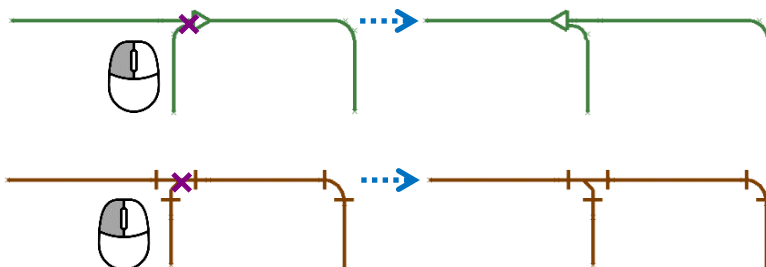
ティーズ（レフネットジョイントなど）の向きが逆向きに表示された場合に、向きを変更します。

※画像は衛生配管でご説明いたします。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【配管向き変更】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【配管向き変更】をクリックします。



2. 向きを変更するティーズ（レフネットジョイント）の上でクリックします。

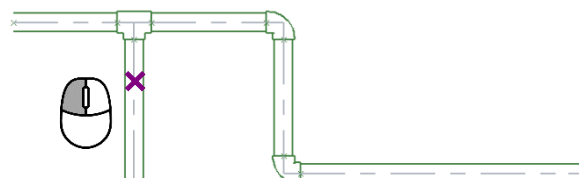


◆ 6-2-5

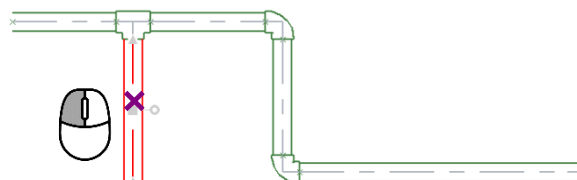
ルート移動

配管や器具などの位置を移動します。

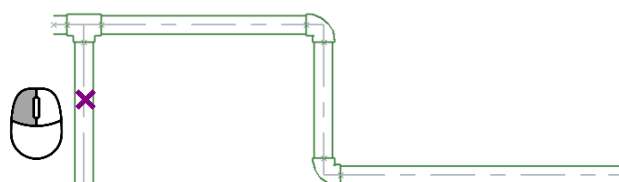
1. コマンドキャンセルの状態、移動する配管、または器具などをクリックします。



2. コントロールポイント（■）をクリックします。



3. 配置位置をクリックします。



6-3. 記号の配置

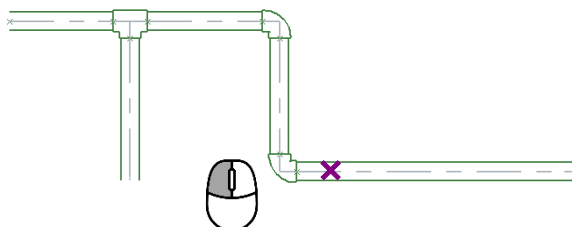
◆ 6-3-1 サイズ記号の配置

※画像は衛生でご説明いたします。

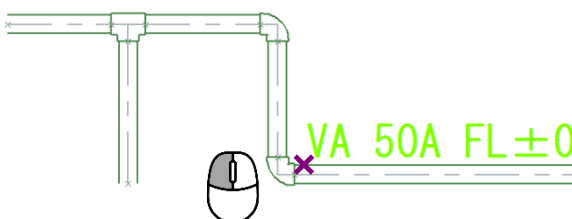
1. リボンメニューの「衛生」タブから【サイズ記号】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【サイズ記号】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【サイズ記号】をクリックします。



2. 直管の上でクリックします。

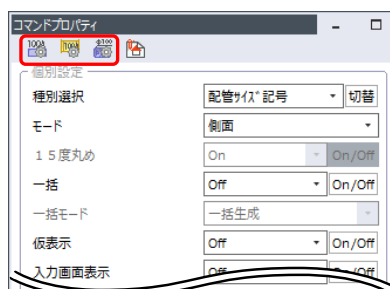


3. 配置点でクリックします。



●サイズ記号の表示順などの設定

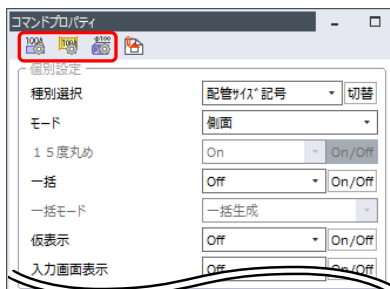
コマンドプロパティの「配管サイズ記号設定」、「ダクトサイズ記号設定」、「スリーブサイズ記号設定」ボタンをクリックすると、配管、ダクト、スリーブそれぞれ表示順、表示方法や自動表示の ON・OFF、サイズ単位などの設定ができます。





●サイズ記号を表示したくない場合

1. コマンドプロパティの「配管サイズ記号設定」、「ダクトサイズ記号設定」、「スリーブサイズ記号設定」ボタンをクリックします。

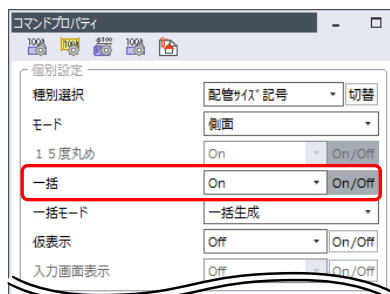


2. 「記号設定」ダイアログが表示されますので、「配管サイズ記号」、「ダクトサイズ記号」、「スリーブサイズ記号」の自動表示の「サイズ記号自動表示」のチェックを外します。

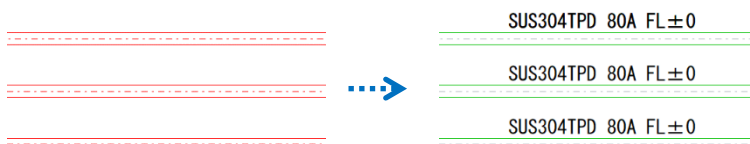


●サイズ記号の一括配置

1. コマンドプロパティの一括を「On」にします。



2. サイズ記号を配置する配管・ダクトを全て選択し、**確定（右クリックまたは「Enter」キー）**します。



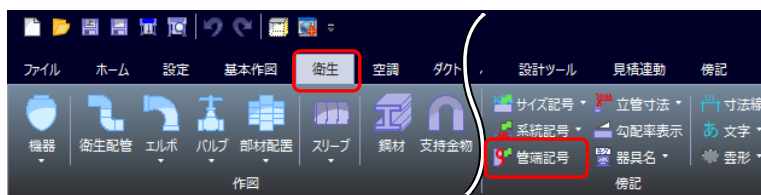
◆ 6-3-2

管端記号の配置

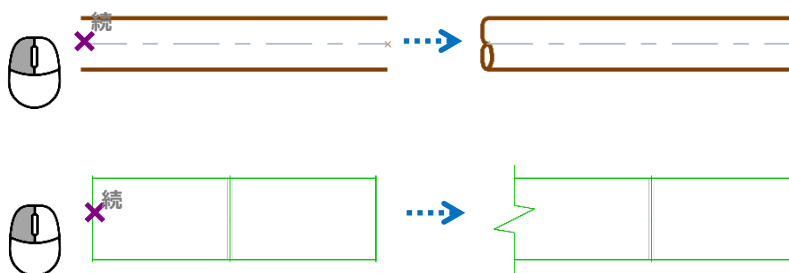
配管・ダクトの端部に管端記号を配置します。

※画像は衛生でご説明いたします。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【管端記号】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【管端記号】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【管端記号】をクリックします。



2. 配置する接続点をクリックします。



◆ 6-3-3

系統記号の配置

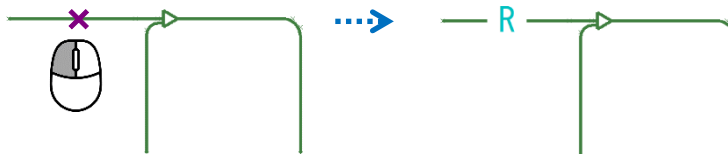
単線の配管・ダクトに系統記号を配置します。

※画像は空調でご説明いたします。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【系統記号】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【系統記号】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【系統記号】をクリックします。



2. 配置点をクリックします。



6-4. 立面図の表示

平面図と連動している立面図を表示します。立面図で表示できるのは、FILDER CeeD で作図した配管・ダクト・躯体・機器（シンボルは含みません）・BOX・円柱になります。

一般作図図形は、高さの情報を持っていないため立面図では表示できません。

◆ 6-4-1

立面追加

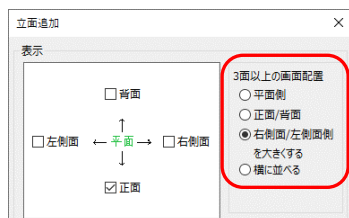
※画像は衛生でご説明いたします。

◎ワンポイント

「立面追加」ダイアログで、「表示部品の追加」にチェックが入っていないと、配管や部品が表示されません。

◎ワンポイント

表示面を 3 面以上設定した場合、ダイアログの「3 面以上の画面配置」でどの面を大きく表示するかを選択することができます。



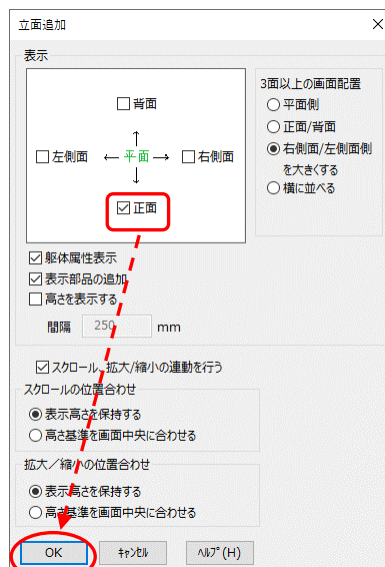
1. リボンメニューの「衛生」タブから【立面追加】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【立面追加】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【立面追加】をクリックします。



2. 「立面追加」ダイアログが表示されますので、表示の「正面」、「背面」、「右側面」、「左側面」の中の表示したい面にチェックを入れます。

ここでは、例として「正面」のみにチェックを入れます

※チェックは次回立面追加起動時に保持されます。



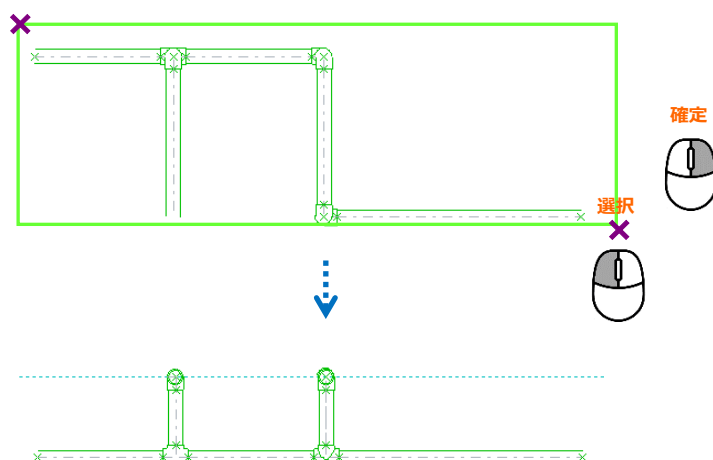
◎ワンポイント

画面が 2 つに分かれますので、立面図を閉じたい場合は、立面図のタブの「×」をクリックします。

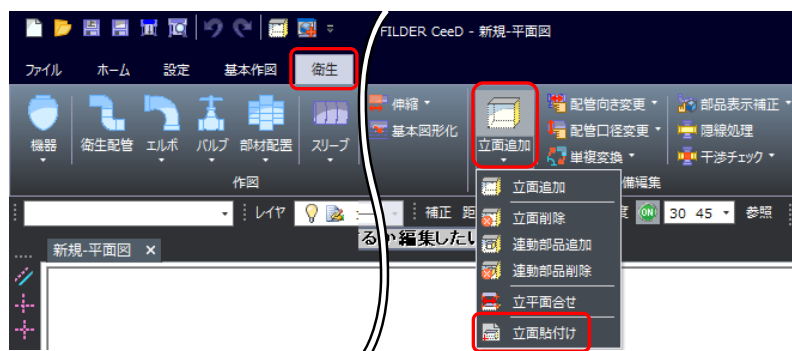
◆ 6 - 4 - 2 立面貼付け

※画像は衛生でご説明いたします。

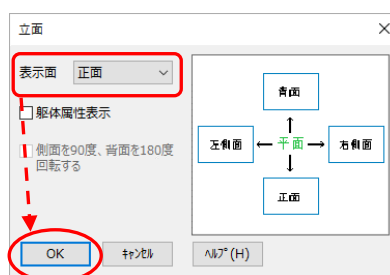
3. 立面図に表示する部品を選択し、**確定（右クリックまたは「Enter」キー）**します。



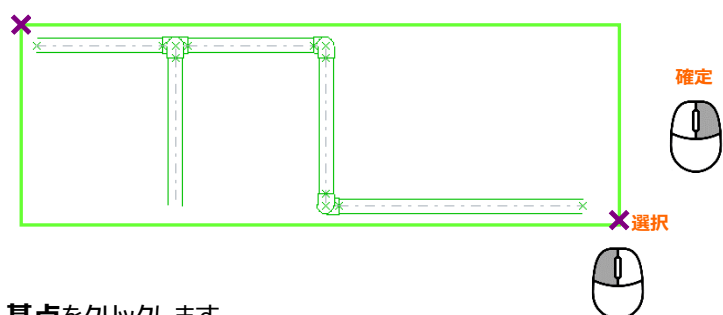
1. リボンメニューの「衛生」タブの【立面追加】から【立面貼付け】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブの【立面追加】から【立面貼付け】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブの【立面追加】から【立面貼付け】をクリックします。



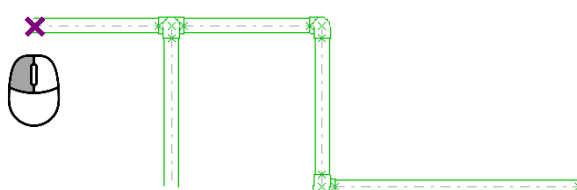
2. 「立面」ダイアログが表示されますので、「表示面」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



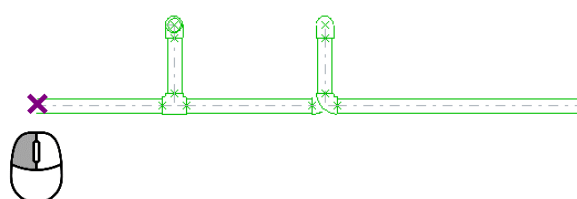
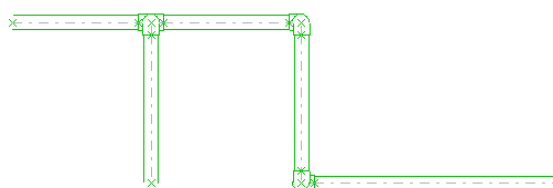
3. 立面図に表示する部品を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



4. **基点**をクリックします。



5. **配置位置**をクリックします。



7. 機器・器具

機器または器具を配置します。

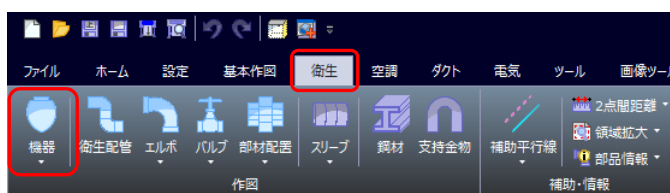
7-1. 機器・器具の配置

◆ 7-1-1

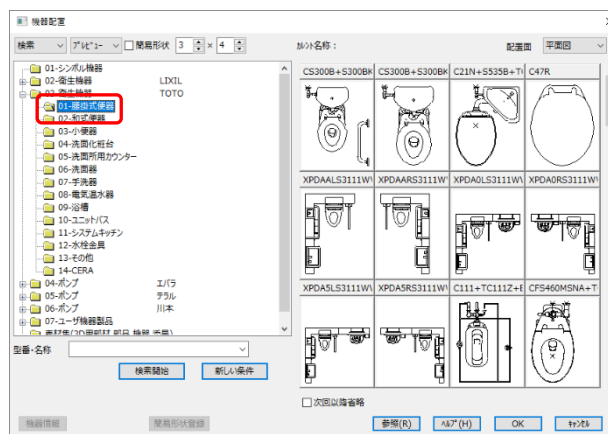
機器の配置

※画像は衛生でご説明いたします。

1. リボンメニューの「衛生」タブから【機器】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【機器】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【機器】をクリックします。

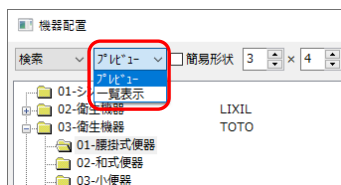


2. 機器選択の「機器配置」ダイアログが表示されますので、左側のツリー表示で配置する機器のフォルダを選択します。



◎ ワンポイント

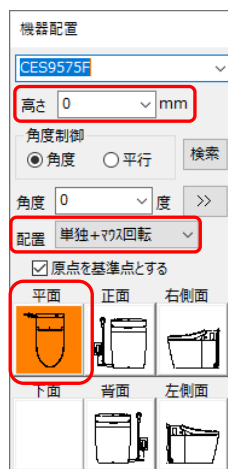
「機器配置」ダイアログの左上にある「プレビュー」をクリックすると、「プレビュー」が「一覧表示」を選択することができます。



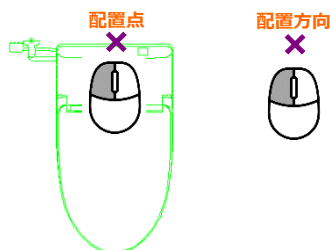
3. 右側から配置する機器を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



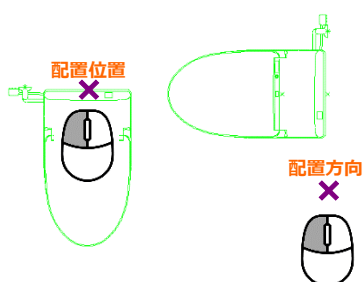
4. 機器配置設定の「機器配置」ダイアログが表示されますので、「高さ」を入力し、**配置、配置面**を選択します。



5. 機器を配置します。

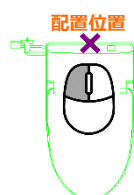


●機器の配置方法 単独+マウス回転



単独+マウス回転での配置は配置点をクリック後、マウスの方向で配置方向を決定します。

単独



単独での配置は配置点をクリックすると配置できます。

配置方向を変更する場合は、機器の仮表示中にキーボードの矢印キー [←] [→] で変更します。

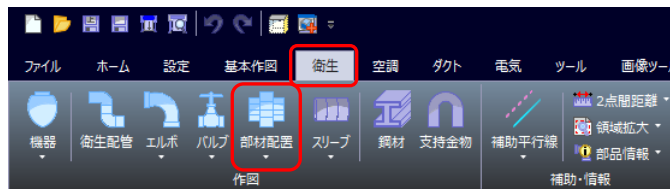
◆ 7-1-2

部材・器具の配置

FILDER CeeD に登録されている部材や器具を配置します。

※画像は衛生でご説明いたします。

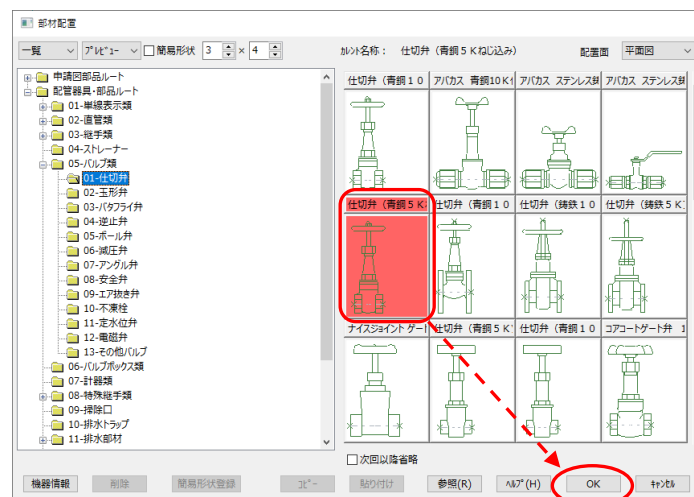
1. リボンメニューの「衛生」タブから【部材配置】をクリックします。
 リボンメニューの「空調」タブから【部材配置】をクリックします。
 リボンメニューの「ダクト」タブから【器具】をクリックします。



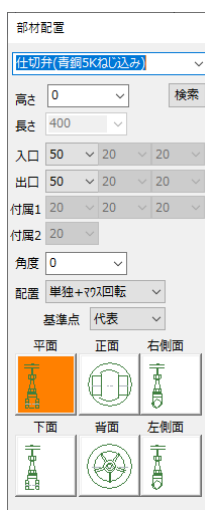
2. 部材選択の「部材配置」ダイアログが表示されますので、左側のツリー表示で配置する部材のフォルダを選択します。



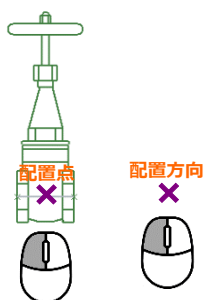
3. 右側から配置する部材を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



4. 部材配置設定の「部材配置」ダイアログが表示されますので、「高さ」、「口径」を入力し、配置面を選択します。



5. 配置点（1点目）、配置方向（2点目）をクリックします。



7-2. ダイキン空調機“STEM データ”を配置

ダイキン工業の最新機器の CAD シンボルデータは、Kiki-Net“STEM”準拠で作成されています。

CAD シンボルはインストール DVD、ポータルサイトからインストールすることができます。

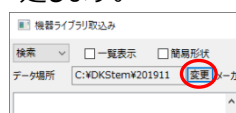
インストール方法は、FAQ サイト、インストール・その他手順書、ユーザーズガイドをご参照ください。

※“STEM”準拠の CAD シンボルがインストールされていることが前提です

※画像は空調でご説明いたします。

◎ワンポイント

STEM データのインストール先を変更した場合など STEM データが表示されない場合、データ場所の「**変更**」ボタンをクリックし、STEM データフォルダを指定します。



●標準インストール先

「Cドライブ」

└「DKStem」

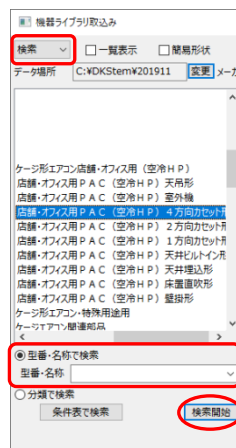
└「(バージョン)」

└「ダイキン工業株式会社」

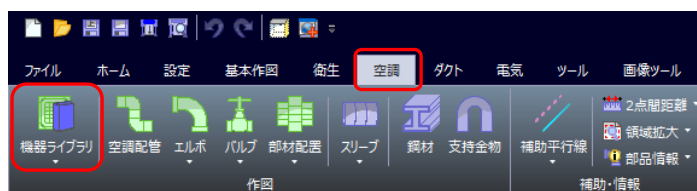
└「機械設備」

◎ワンポイント

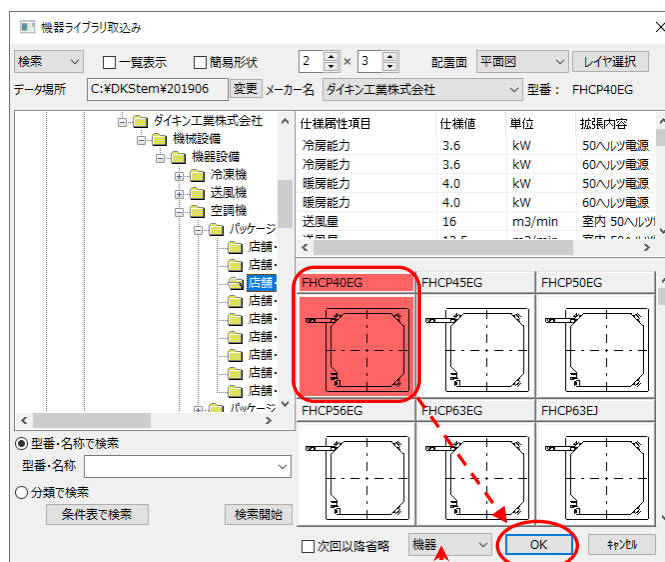
型番・名称で検索する場合、「機器」ダイアログの左上を「**検索**」にし、型番もしくは名称を入力し、「**検索開始**」ボタンをクリックします。



1. リボンメニューの「**空調**」タブから「**機器ライブラリ**」をクリックします。
リボンメニューの「**衛生**」タブの「**機器**」から「**機器ライブラリ**」をクリックします。
リボンメニューの「**ダクト**」タブの「**機器**」から「**機器ライブラリ**」をクリックします。



2. 「機器ライブラリ取込み」ダイアログが表示されますので、**配置する機器**を選択し、「**OK**」ボタンをクリックします。

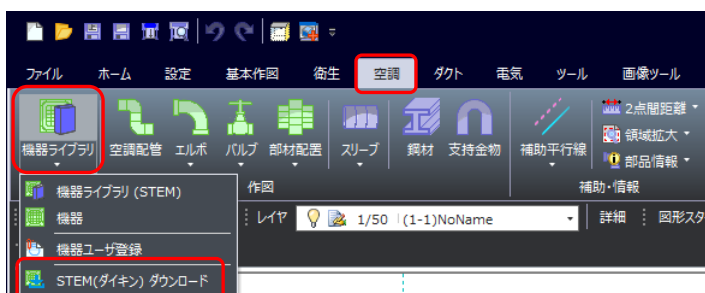


機器になっていることを確認

7-3. 最新ダイキン空調機「STEM データ」ダウンロード

STEM データのダウンロードページを CAD の画面から開けます。

1. リボンメニューの「空調」タブの「機器」から「STEM(ダイキン)ダウンロード」をクリックします。



2. STEMデータダウンロードサイトが表示されますので、「ダイキン空調機 STEM データインストーラ」の「ダウンロード」をクリックし、ダウンロードします。

※インストール手順に関しては、「インストール手順書」をダウンロードし、手順書に従いインストールしてください。



STEMデータ ダウンロード 20 年 月版

ファイル	サイズ	形式	
ダイキン空調機STEMデータ インストーラ	193.2MB	Windows形式	[ダウンロード]

ご利用時の注意

2022年4月版以降で追加した新機種については3Dの詳細形状表示に対応していません。3Dビューアで表示した場合、簡易なボックス形状で表示されます。
 今後のバージョンアップで詳細な3D形状に対応しますので、あらかじめご了承ください。

インストール手順書

インストール手順書は、「FILDER CeeD」用、「FILDER Cube」用がございます。お使いのCADに合わせて参照ください。

ファイル	サイズ	形式	
FILDER CeeD用 インストール手順書	2.0MB	PDF形式	[ダウンロード]
FILDER Cube用 インストール手順書	1.9MB	PDF形式	[ダウンロード]

最新のダイキン空調機データについて

最新のSTEMデータに関しては、[「ID-SEARCH」](#)をご利用ください。

8. ダクト

ダクト用途、口径、高さを選択してダクトを作図します。

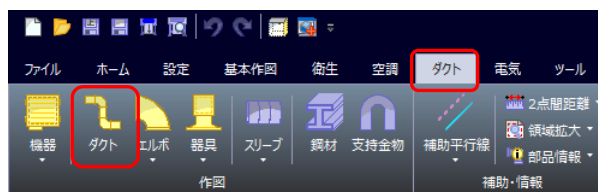
8-1. 丸ダクトの作図

◆ 8-1-1

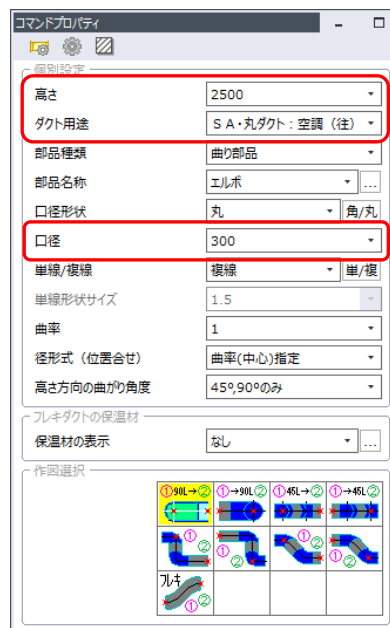
連続丸ダクトの作図

連続線のように丸ダクトを作図します。

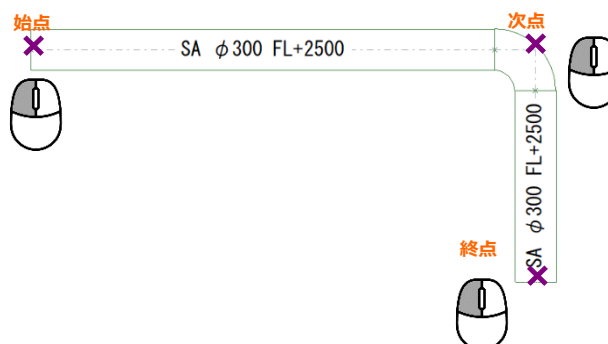
1. リボンメニューの「ダクト」タブから【ダクト】をクリックします。



2. コマンドプロパティの「高さ」・「ダクト用途」・「口径」を選択します。



3. 始点（1点目）、次点（2点目）、終点（3点目）をクリックします。

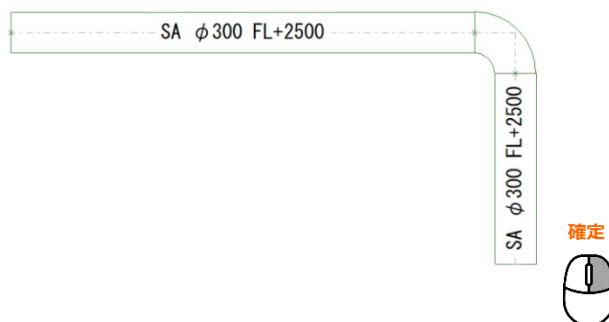


◆ 8-1-2 分岐の作図

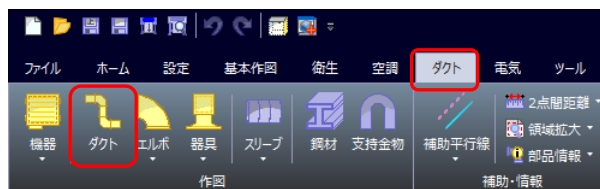
◎ワンポイント

分岐の種類を変更したい場合は、コマンドプロパティの「部品種類」を「分岐」に切替え、「部品名称」を変更します。

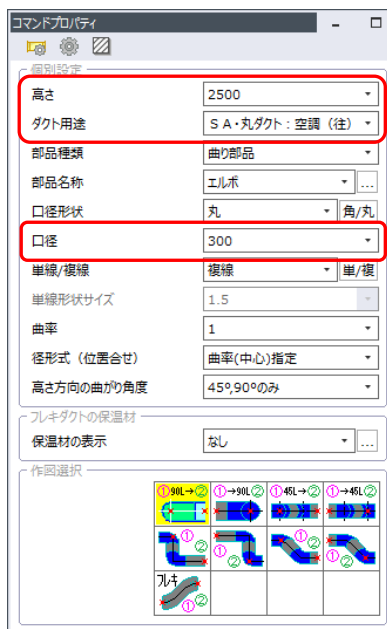
4. 丸ダクト作図を**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



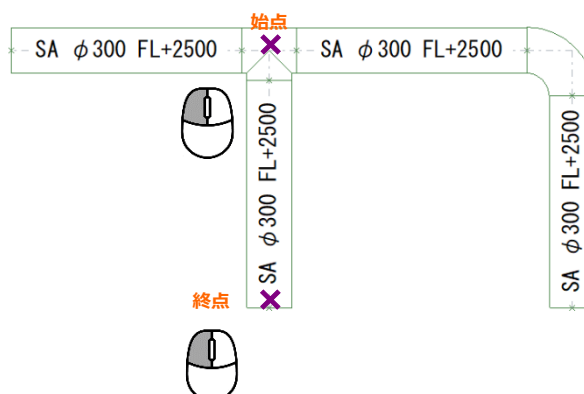
1. リボンメニューの「**ダクト**」タブから【ダクト】をクリックします。



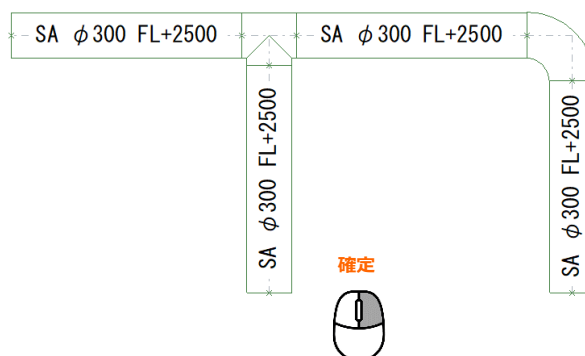
2. コマンドプロパティの「高さ」・「ダクト用途」・「口径」を選択します。



3. 始点（1 点目）、次点（2 点目）をクリックします。



4. 丸ダクト作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

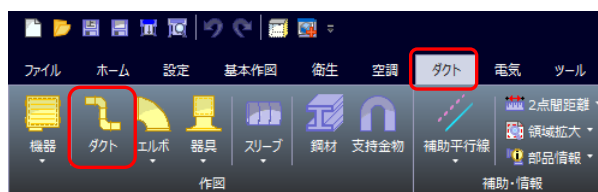


◆ 8 - 1 - 3

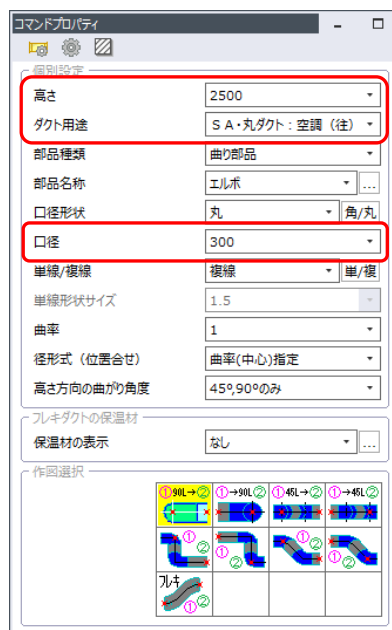
フレキシブルダクトの作図

※機器と直管ダクトはあらかじめ
作図されているものとします。

1. リボンメニューの「ダクト」タブから「ダクト」をクリックします。



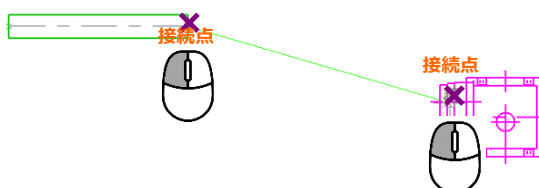
2. コマンドプロパティの「高さ」・「ダクト用途」・「口径」を選択します。



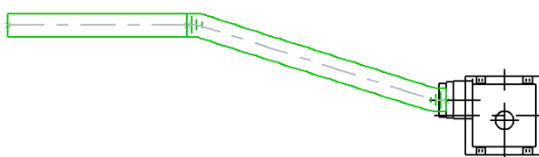
3. 「作図選択」で「フレキシ」を選択します。



4. 配管の“続”（接続点）と機器の“続”（接続点）をクリックします。



5. フレキシブルダクトが作図されます。



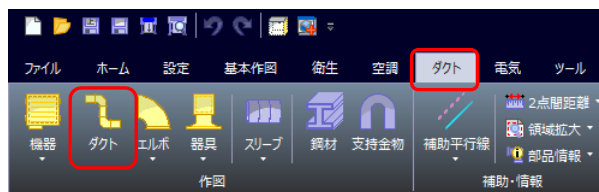
8-2. 角ダクトの作図

◆ 8-2-1

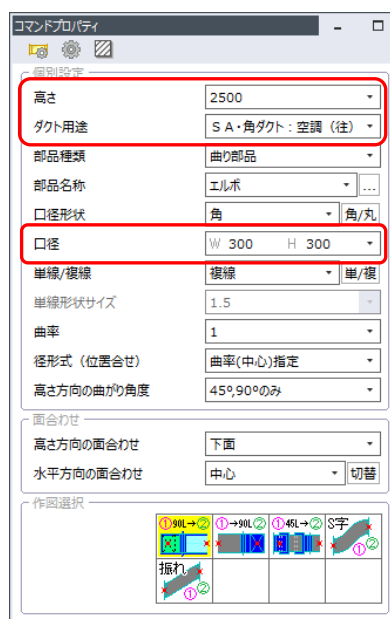
連続角ダクトの作図

連続線のように角ダクトを作図します。

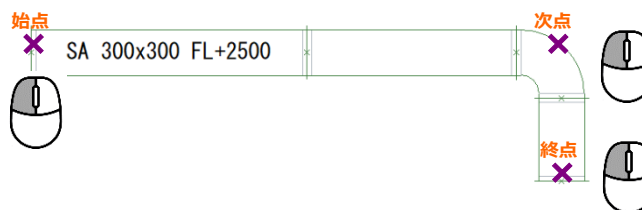
1. リボンメニューの「ダクト」タブから【ダクト】をクリックします。



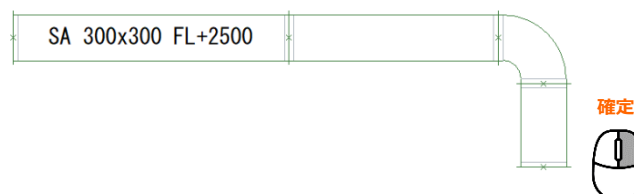
2. コマンドプロパティの「高さ」・「ダクト用途」・「口径」を選択します。
 ※ダクトには口径の規格がないため、口径は直接入力になります。



3. 始点（1点目）、次点（2点目）、終点（3点目）をクリックします。



4. 角ダクト作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

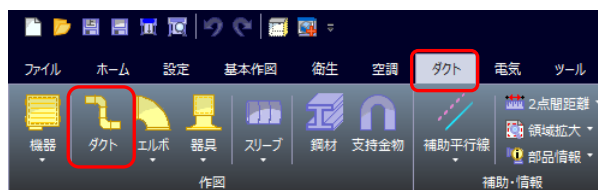


◆ 8 - 2 - 2 分岐の作図

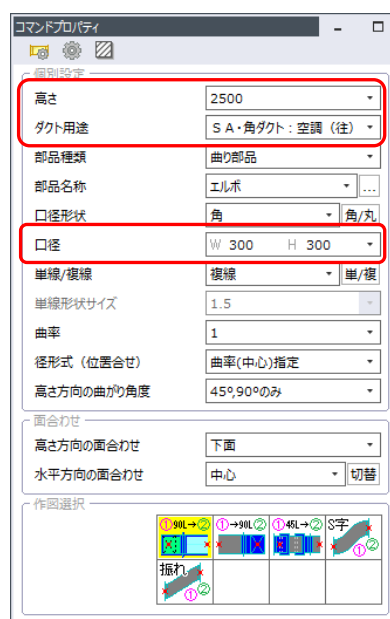
◎ワンポイント

分岐の種類を変更したい場合、コマンドプロパティの「部品種類」と「部品名称」を変更します。

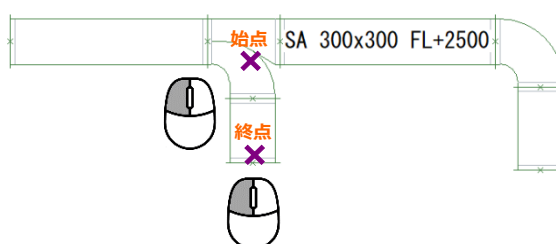
1. リボンメニューの「ダクト」タブから【ダクト】をクリックします。



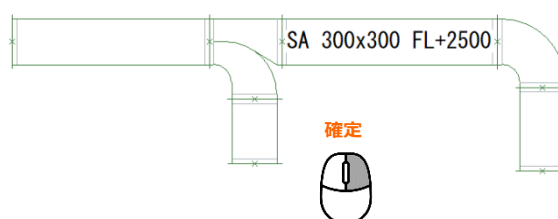
2. コマンドプロパティの「高さ」・「ダクト用途」・「口径」を選択します。



3. 始点（1点目）、終点（2点目）をクリックします。
 ※角ダクトは中心線がないため、ダクトの外形線上でクリックします。

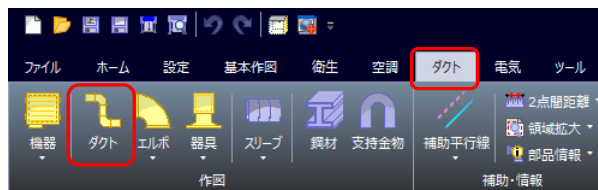


4. 角ダクト作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

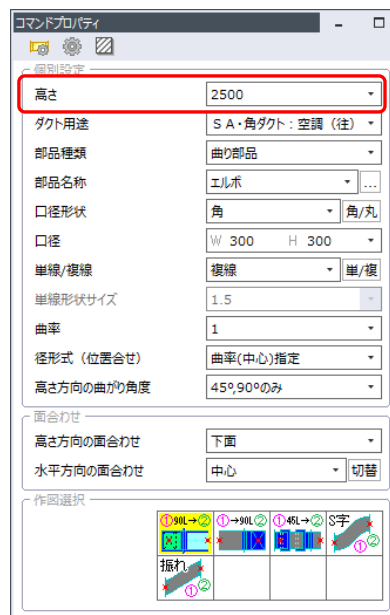


◆ 8 - 2 - 3 高さを変更して作図

1. リボンメニューの「ダクト」タブから【ダクト】をクリックします。



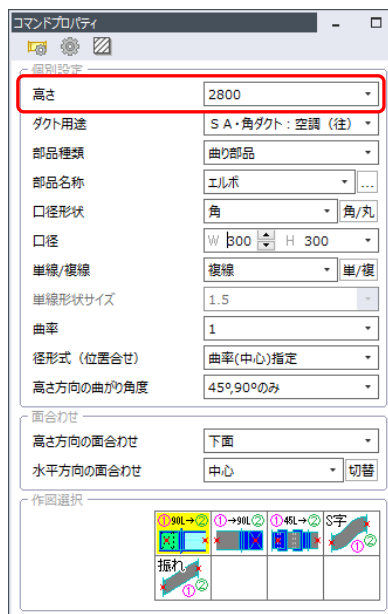
2. コマンドプロパティで「高さ」を「2500」にします。



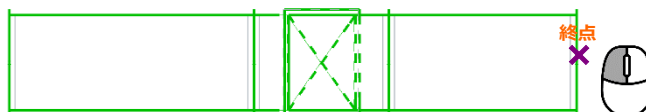
3. 始点（1点目）、次点（2点目）をクリックします。



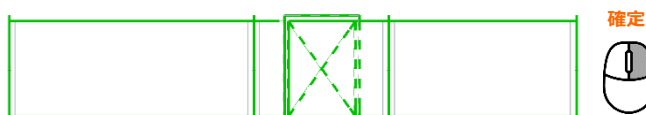
4. コマンドプロパティの「高さ」を「2800」に変更します。



5. 終点（3点目）をクリックすると、継手が自動的に作成されダクトが作図されます。

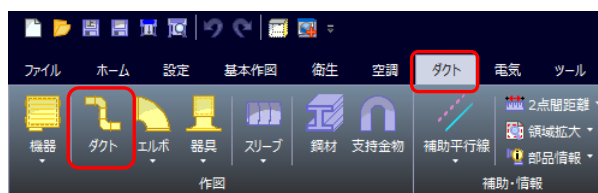


6. ダクトの作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

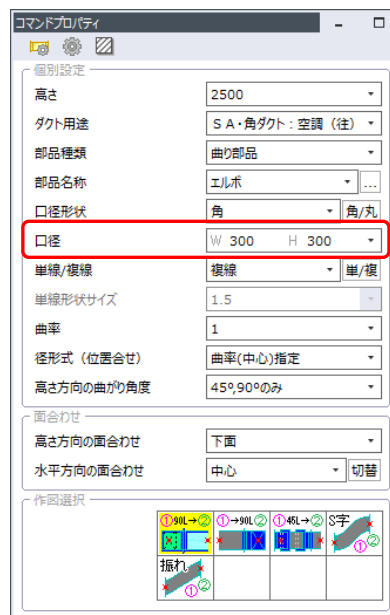


◆ 8 - 2 - 4 口径を変更して作図

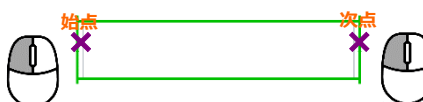
1. リボンメニューの「ダクト」タブから【ダクト】をクリックします。



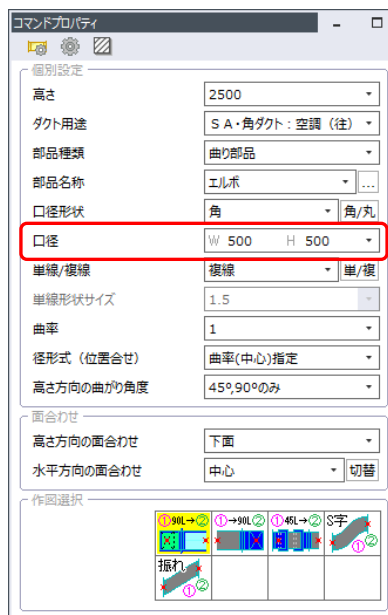
2. コマンドプロパティで「口径」を「300,300」にします。



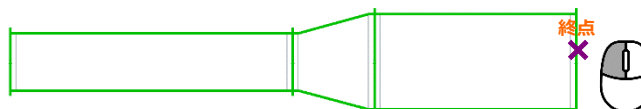
3. 始点（1点目）、次点（2点目）をクリックします。



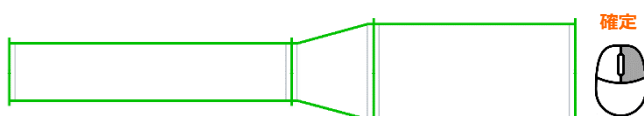
4. コマンドプロパティの「口径」を「500,500」に変更します。



4. **終点（3点目）**をクリックすると、継手が自動的に作成されダクトが作図されます。



5. ダクトの作図を**確定（右クリックまたは「Enter」キー）**します。

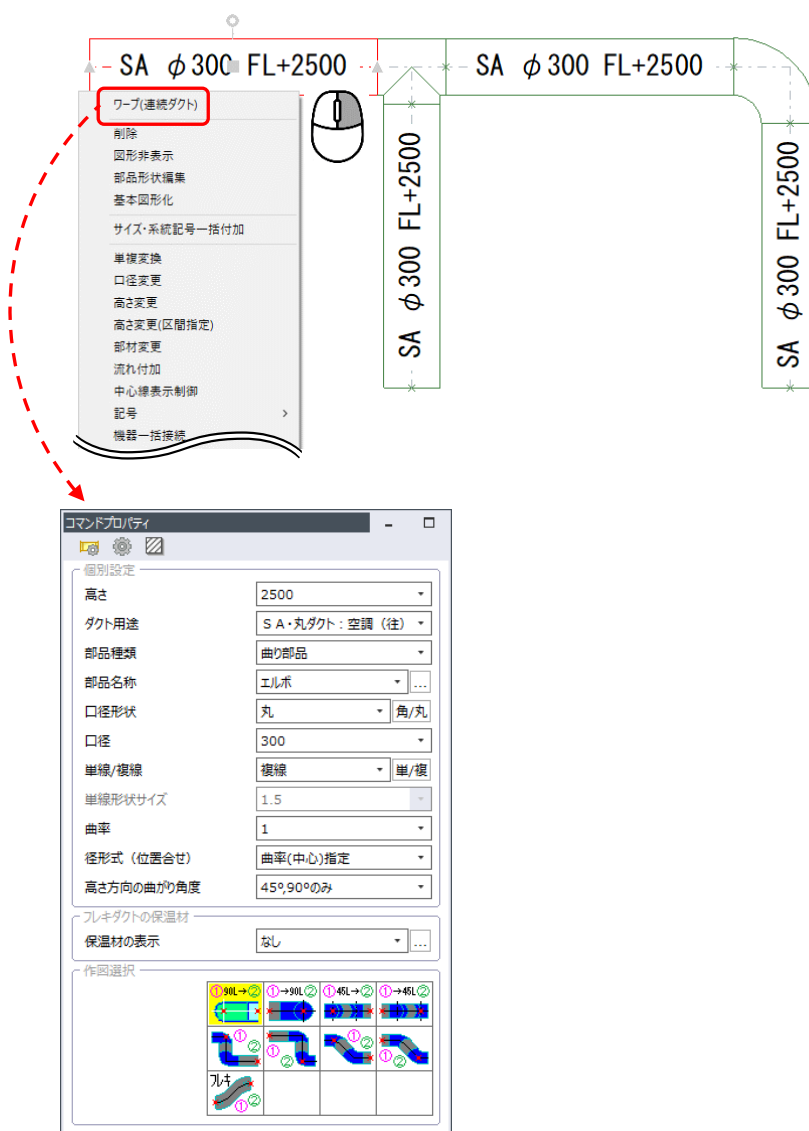




●ワープ

すでに作図されている図形や配管・ダクト上で右クリックし、ショートカットから「ワープ」を選択すると、右クリックした図形を作図するコマンドを起動できます。

線種・線色・線幅・レイヤ・配管やダクト用途などの属性も同じ状態で作図できます。



9. 電気

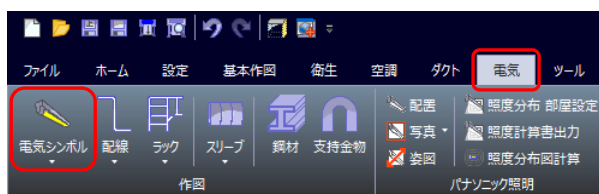
9-1. 電気シンボルの配置

(社) 日本電設工業協会「JECA CAD シンボル寸法基準-2001 年版」に準拠したシンボルを収録しております。
 シンボルは、1/100 縮尺のシンボル寸法で作成しており、縮尺ごとに倍率が設定されています。
 サイズは必要に応じて変更できます。

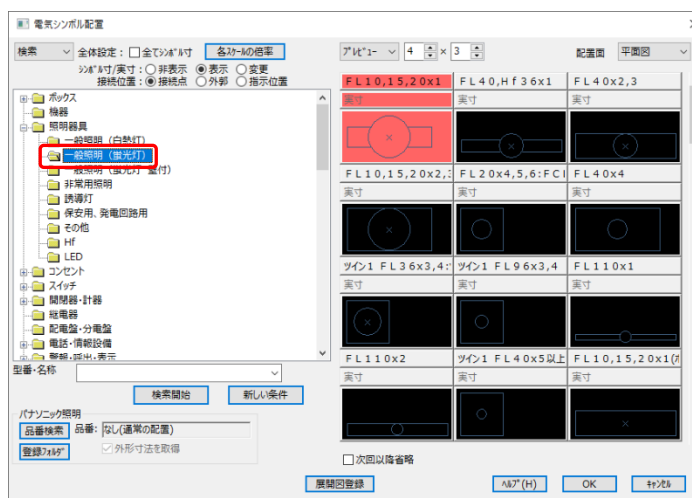
◆ 9-1-1

1 つずつ電気シンボルを配置

1. リボンメニューの「電気」タブから「電気シンボル」をクリックします。



2. 「電気シンボル配置」ダイアログが表示されますので、左側のツリーで配置する電気シンボルフォルダを選択します。



◎ワンポイント

電気シンボルの大きさを「実寸」と「シンボル寸」で配置することができます。

・実寸：長さ×幅

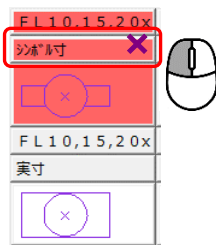
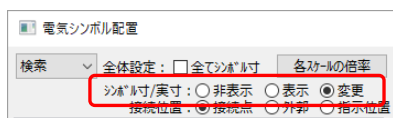
(例：長さ=1200、幅=300)

・シンボル寸：実際に印刷するときの大きさ

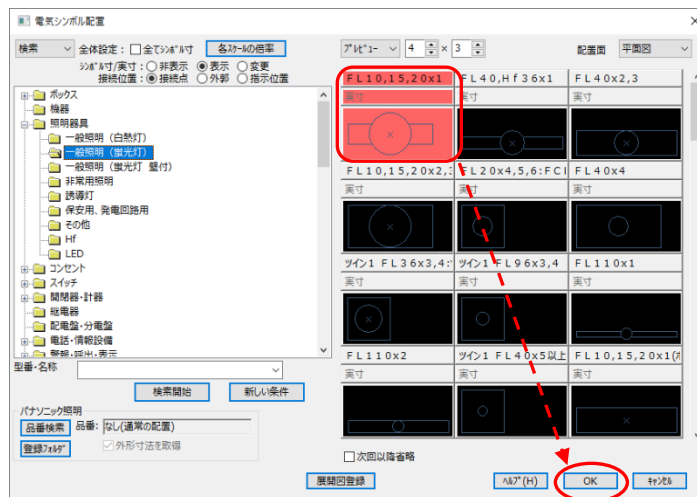
(例：印刷倍率 100%で印刷したときに 3mm の大きさ)

実寸とシンボル寸を切替える場合、「電気シンボル配置」ダイアログから変更します。

「シンボル寸/実寸」を「変更」にし、右側一覧の「実寸」、「シンボル寸」欄をクリックすると変更することができます。



3. 右側から配置する電気シンボルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



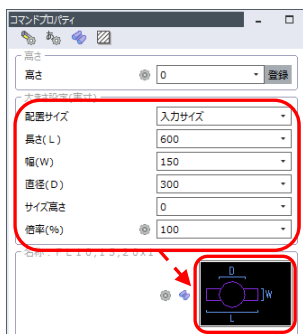
4. コマンドプロパティの「配置サイズ」を選択し、「長さ」・「幅」などを設定します。





◎ワンポイント

「入力サイズ」で長さ、幅、直径の値を変更すると、プレビューの形状も変わります。



●電気シンボルの大きさなどを設定するには

コマンド実行、または電気シンボル選択後コマンドプロパティで設定します。

※「長さ」は「入力サイズ」、「基準サイズ（入力値保持）」を選択した場合設定できます。



①検索

「検索」をクリックすると、「電気シンボル配置」ダイアログが表示されます。

②配置サイズ

配置するときの大きさを設定します。

・入力サイズ：「長さ（L）」

「幅（W）」を入力

・基準サイズ（入力値保持）：

見た目は JIS 規格サイズですが、シンボルの情報は「長さ」、「幅」で決めた大きさとなります。

・基準サイズ：JIS 規格のサイズで配置します。

③倍率

シンボルの大きさを倍率で変更できます。基準サイズでもここでシンボルの大きさを変更できます。

④文字付加設定

シンボルに文字を付加しながら配置します。

・文字：付加する文字を入力します。（JIS 規格は登録済）

・付加位置：付加する文字の位置を選択します。

・文字高さ：付加する文字の高さを入力します。

⑤角度

配置する電気シンボルの角度を設定します。

⑥配置基点を

・指示しない：登録されている基点で配置します。

・指示する：自由な位置を基点にして配置します。

⑦寸法線

「配置」で「線に沿って配置」を選択した際に設定が有効になります。

電気シンボルを配置しながら寸法線を配置することができます。



◎ワンポイント

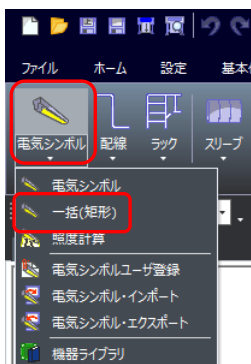
電気シンボルの「一括（頂点指示）」、「一括（線上）」、「一括（照度）」配置に関しましては、ユーザーガイドの「5 - 1 - 4 ~ 6」をご参照ください。

◆ 9 - 1 - 2

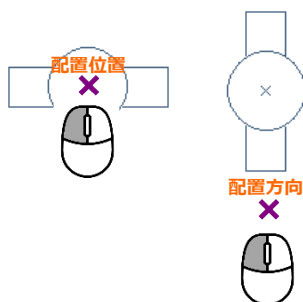
領域を指示して電気シンボルを配置（矩形）

◎ワンポイント

一括（矩形）で配置する場合、[電気シンボル] から [一括（矩形）] を選択すると、4 のコマンドプロパティの設定は不要です。



●電気シンボルの配置方法 単独+マウス回転



単独+マウス回転での配置は配置点をクリック後、マウスの方向で配置方向を決定します。

単独



単独での配置は配置点をクリックすると配置できます。

配置方向を変更する場合は、機器の仮表示中にキーボードの矢印キー [←] [→] で変更します。

5. コマンドプロパティの配置を「一括（矩形）」にします。



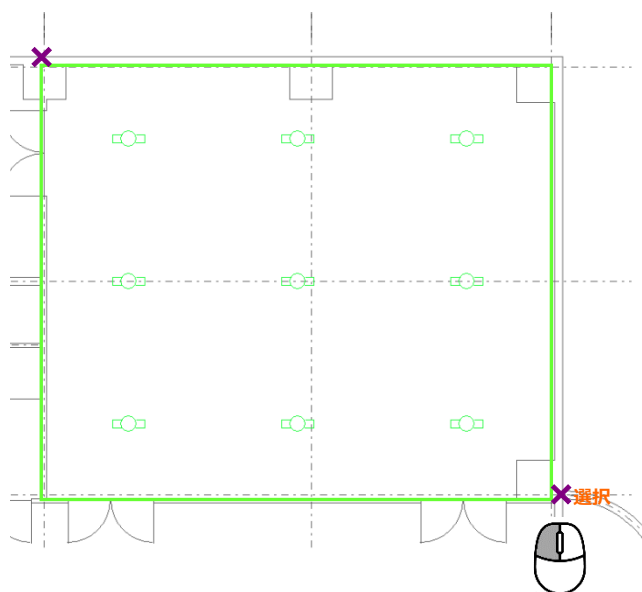
◎ワンポイント

「一括（矩形）」ダイアログで、電気シンボルの「個数」と「角度」の変更ができます。

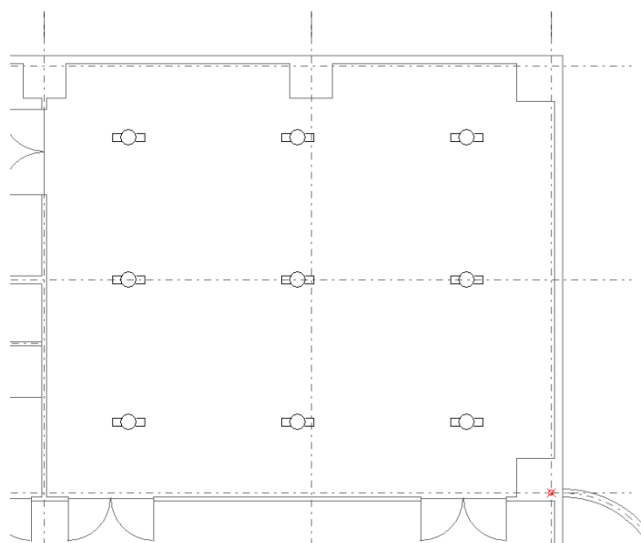
6. 「一括（矩形）」ダイアログが表示されますので、「縦」・「横」にシンボルの個数を入力します。



7. 配置する領域の対角線上の 2 点をクリックし、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



8. 指定した領域に電気シンボルが配置できます。



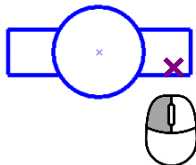
9-2. 電気シンボルの編集

◆ 9-2-1

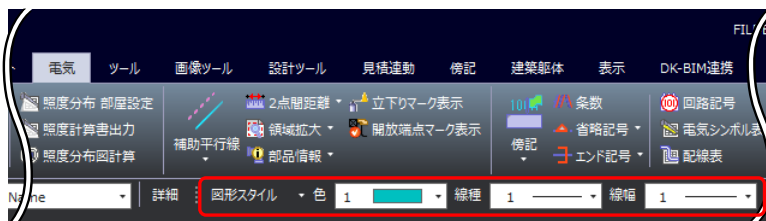
電気シンボルの大きさや色などの変更

配置した電気シンボルの大きさや色などを変更します。

1. コマンドキャンセルの状態編集する電気シンボルを選択します。



2. 共通項目ツールバーの「線種・線色・線幅」を設定します。



3. プロパティの「大きさ設定」から「長さ」などを入力し、「Enter」キーを押します。



4. 設定した内容で電気シンボルの大きさや色などが変更されます。



5. ピックキャンセルします。

◆ 9 - 2 - 2

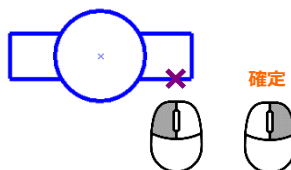
別の電気シンボルに置換え

既に配置されている電気シンボルを別の電気シンボルに置換えます。

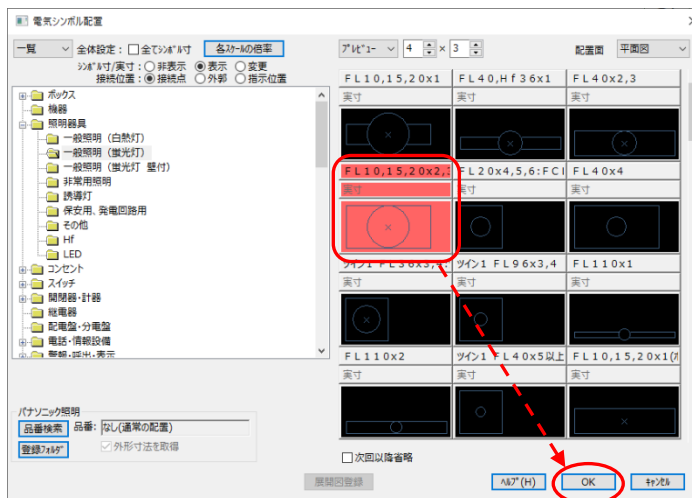
1. リボンメニューの「電気」タブの【電気シンボル編集】から【電気シンボル置換】をクリックします。



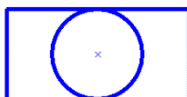
2. 置換する電気シンボルを選択し、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



3. 「電気シンボル配置」ダイアログが表示されますので、置換後の電気シンボルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



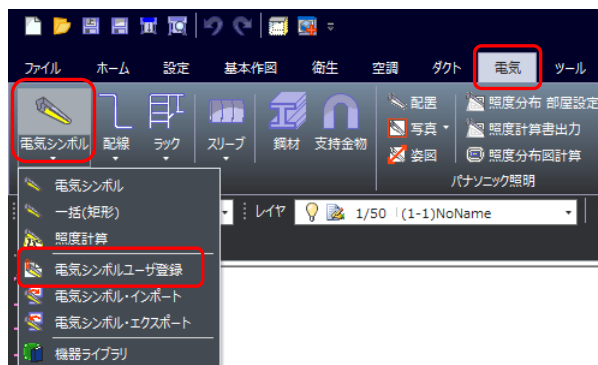
4. 選択した電気シンボルに置換されます。



9-3. 電気シンボルの登録

電気シンボルを登録します。あらかじめ登録する電気シンボルを用意してください。

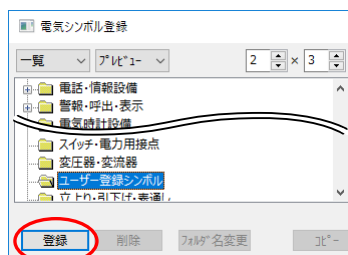
1. リボンメニューの「電気」タブの【電気シンボル】から【電気シンボルユーザ登録】をクリックします。



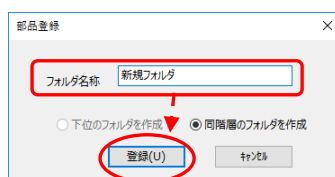
◎ワンポイント

電気シンボルユーザ登録をする際、新しいフォルダを作成し、その中に登録することができます。

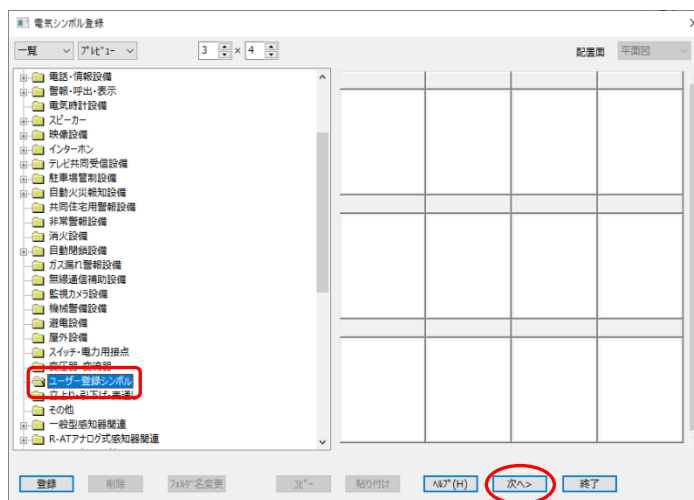
- ①「電気シンボル登録」ダイアログの「登録」ボタンをクリックします。



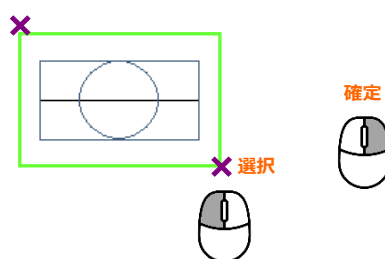
- ②「部品登録」ダイアログが表示されますので、「フォルダ名称」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



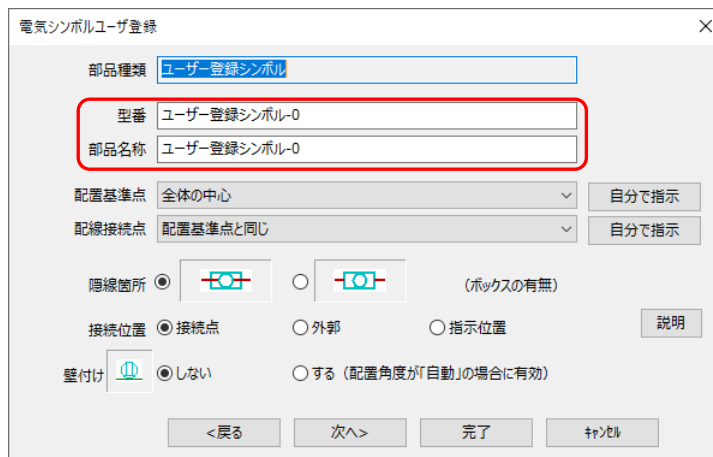
2. 「電気シンボル登録」ダイアログが表示されますので、左側のツリー表示からシンボルを入れるフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



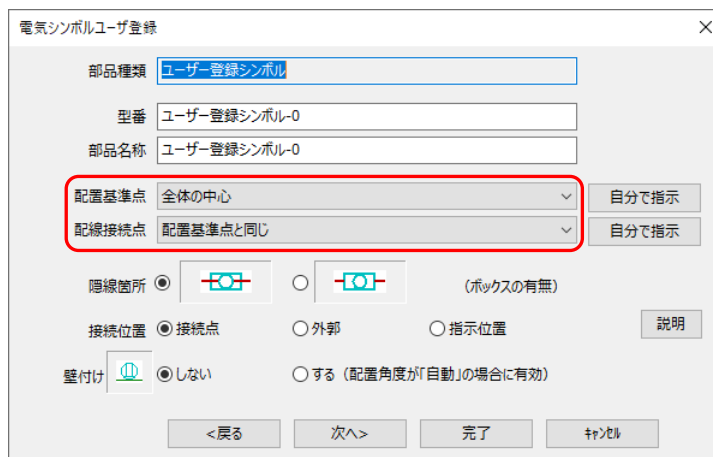
3. 登録する図形を選択し、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



4. 「電気シンボルユーザ登録」ダイアログが表示されますので、「型番」・「部品名称」を入力します。

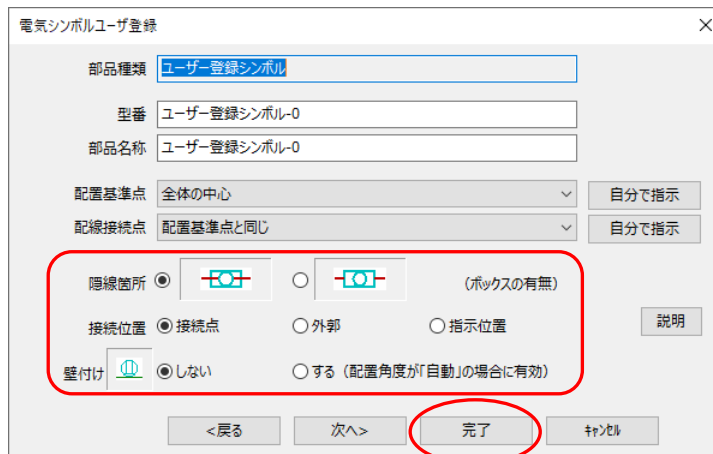


5. 「配置基準点」・「配線接続点」を選択します。



6. 「隠線箇所」・「接続位置」・「壁付け」の設定を確認し、「完了」ボタンをクリックします。

続けて他の電気シンボルも登録する場合は、「次へ」ボタンをクリックし、3～6の手順を繰り返します。

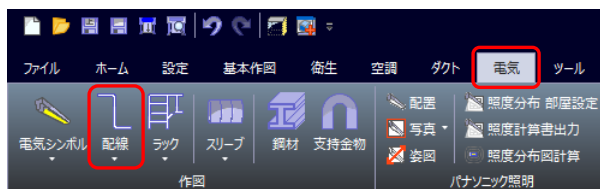


9-4. 配線作図

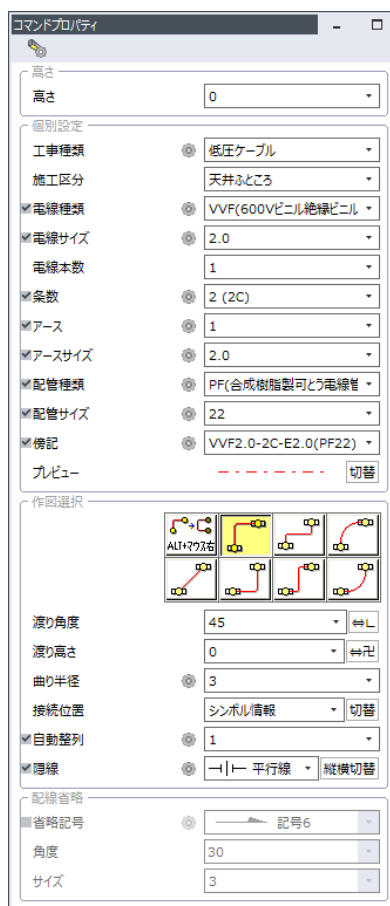
FILDER CeeD では、テーブルとして電線の組み合わせの登録ができ、コマンドプロパティで登録した電線と配管を指定することで、より自由な組み合わせが可能です。

さらに、コマンドプロパティを切替えるだけで様々なパターンの傍記を作図することができます。

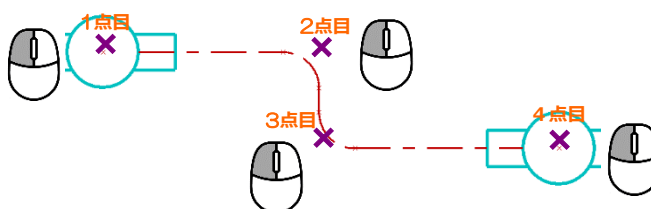
1. リボンメニューの「電気」タブから「配線」をクリックします。



2. コマンドプロパティで各項目を選択します。
 各項目の設定は P.83「●配線の区分などの設定」をご参照ください。

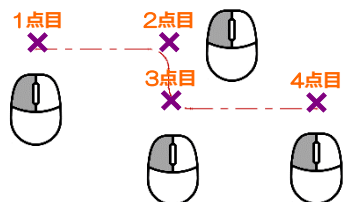


3. 電気シンボルの接続点（1点目）、次点（2点目）、次点（3点目）、電気シンボルの接続点（4点目）をクリックします。

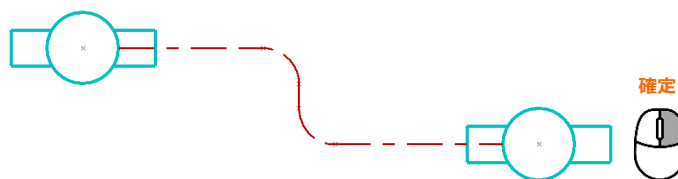


◎ワンポイント

自由なルートで作図する場合、始点（1 点目）、次点（2 点目）、次点（3 点目）、終点（4 点目）をクリックします。

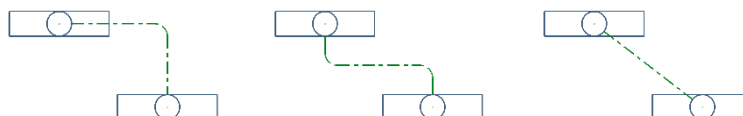
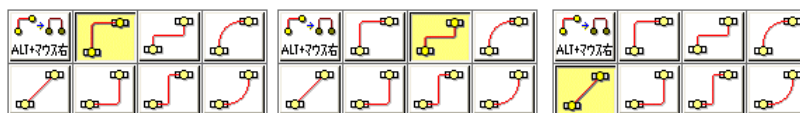
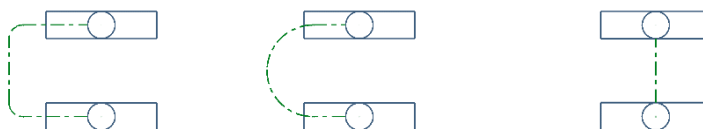
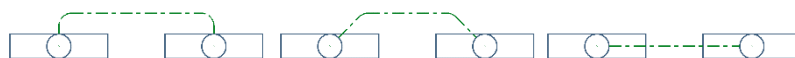
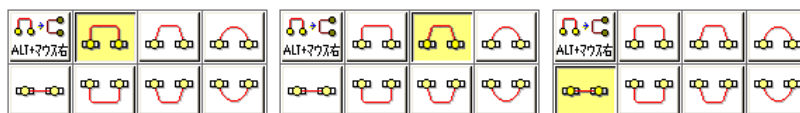


4. 配線作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



●渡りパターン

渡りパターンを変更したい場合、コマンドプロパティ、プロパティの作図選択で切り替えます。

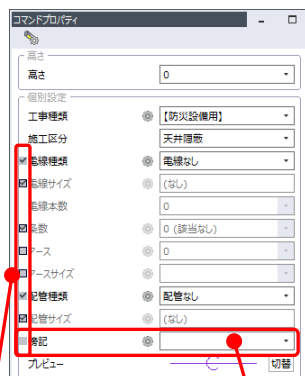




◎ワンポイント

傍記の表示・非表示の切替えが可能です。

傍記に表示したい項目にはチェックを入れ、表示したくない項目はチェックを外します。



表示する項

表示する/しないの設定

●配線の区分などの設定

コマンド実行後、コマンドプロパティで設定します。



①工事種類

工事種類に対して電線種類を登録可能です。

工事種類を切替えると、必要な電線が表示されます。

②施工区分

配線の施工場所を選択します。

施工区分を切替えると、自動的に線種が変更されます。

③傍記

設定した配線種類や配線サイズを表示します。

過去に配置した傍記を履歴から選択できます。

傍記項目に直接キー入力もできます。

④渡り角度

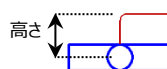
渡り角度欄右側のボタンをクリックすると、90 度、45 度の切り替えができます。

直接キー入力でも任意角度にも変更可能です。

⑤渡り高さ

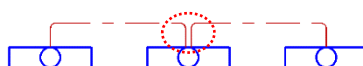
渡り高さを入力します。

「Alt」キー+マウスのセンターホイールを回転させると 0.5 ずつ数値が変更されます。



⑥自動整列

1 つの電気シンボルから複数の配線が出ている場合に、間隔を空けて整列します。



⑦隠線

配線が交差した場合の隠線タイプを選択します。

⑧省略記号

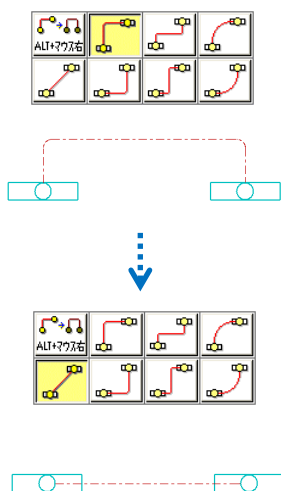
省略記号を選択すると、省略記号を付けながら配線作図ができます。

9-5. 配線編集

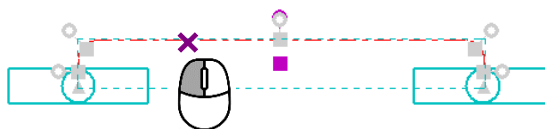
◆ 9-5-1 渡り配線の変更

◎ワンポイント

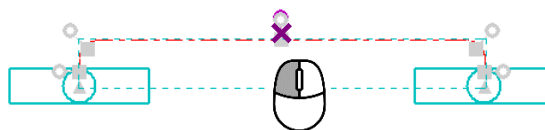
配線を選択後、プロパティの
作図選択で渡りパターンを
変更できます。



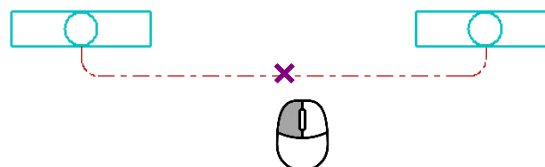
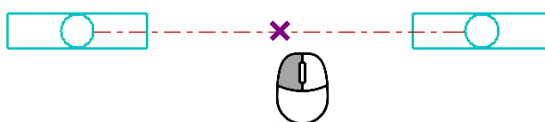
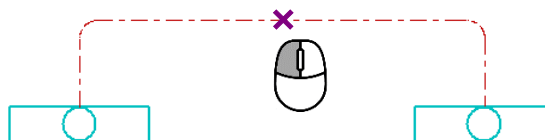
1. コマンドキャンセルの状態では**変更する配線をクリック**します。



2. **コントロールポイント (■)** をクリックします。



3. **配置位置** をクリックします。



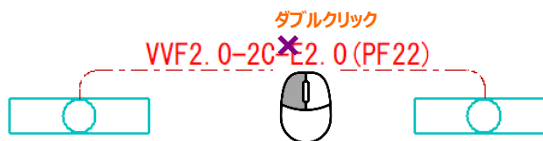
◆ 9-5-2 傍記の編集

◎ワンポイント

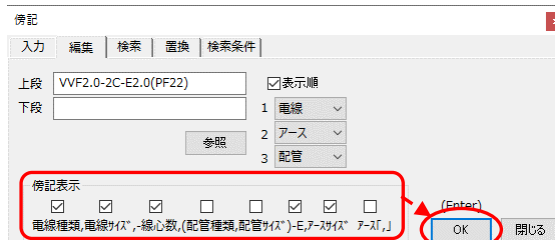
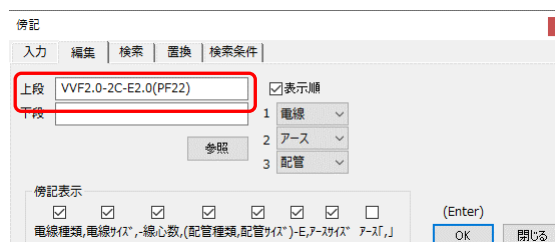
傍記ダイアログの「上段」
「下段」に文字を直接入力
して変更することができます。



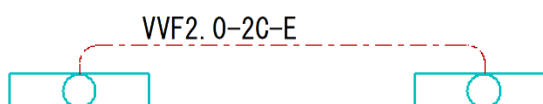
1. コマンドキャンセルの状態では編集する傍記をダブルクリックします。



2. 「傍記」ダイアログが表示されますので、傍記表示の項目で表示したい項目だけチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



3. 編集した内容で傍記が表示されます。



◆ 9 - 5 - 3 条数を作図

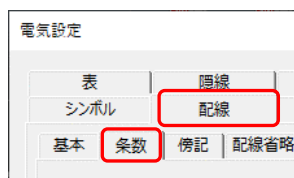
◎ワンポイント

条数が合計 7 本以上になると、初期設定ではまとめて表示します。
 設定を変更するには、[電気設定] コマンドから設定変更を行います。

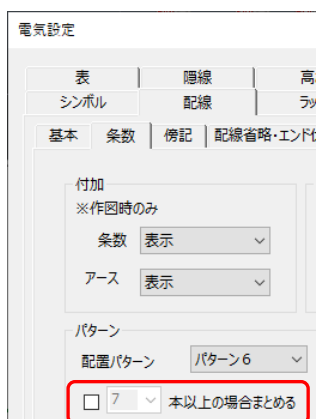
- ①リボンメニューの「設定」タブから「電気設定」をクリックします。



- ②「電気設定」ダイアログが表示されますので、「配線」タブの「条数」タブを選択します。

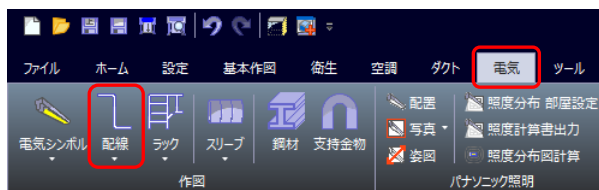


- ③パターンの「7本以上の場合まとめる」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリックします。

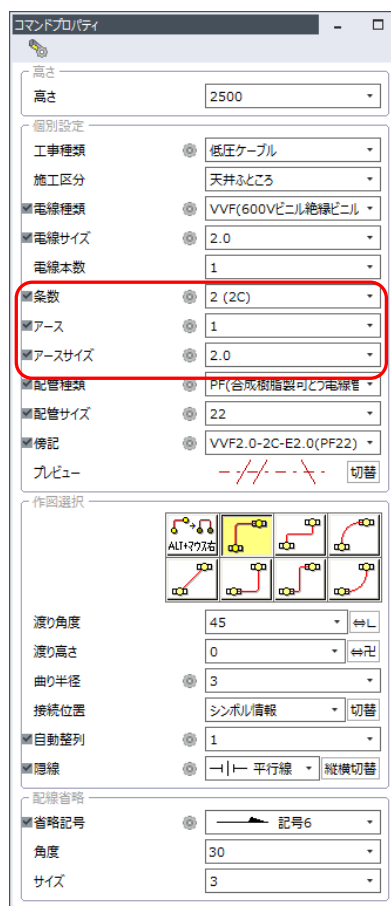


作図しながら条数を付加する方法

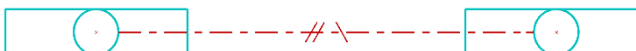
1. リボンメニューの「電気」タブから「配線」をクリックします。



2. コマンドプロパティの「条数」・「アース」・「アースサイズ」を選択します。



3. 配線を作図すると条数、アースが配置されます。

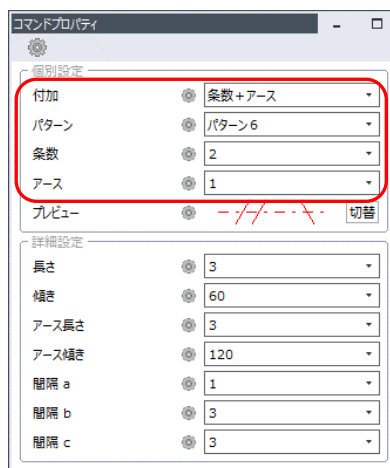


コマンドで条数を付加する方法

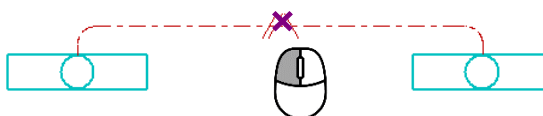
1. リボンメニューの「電気」タブから「条数」をクリックします。



2. コマンドプロパティの「付加」・「パターン」・「条数」・「アース」を選択します。



3. 配置位置をクリックします。



◆ 9 - 5 - 4

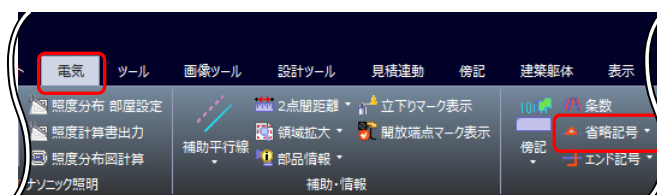
省略記号の配置・変更

配線の端部に省略記号を配置します。

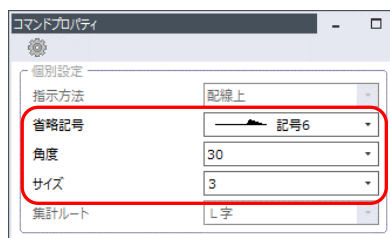
配線の途中に付加した場合、その先の配線は削除されます。また、配置した省略記号を変更することができます。

省略記号の配置

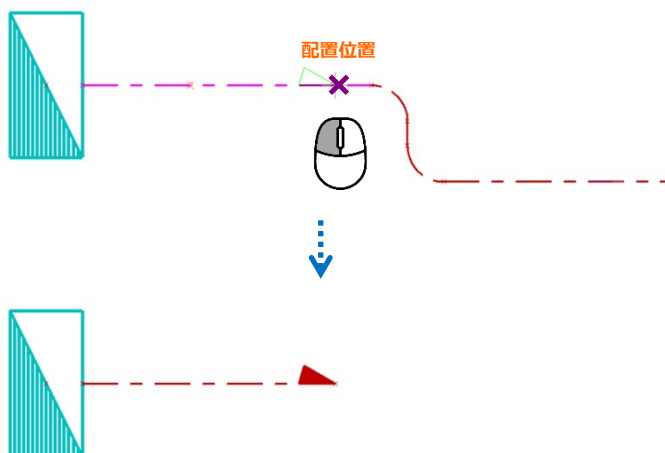
1. リボンメニューの「電気」タブから【省略記号】をクリックします。



2. コマンドプロパティの「省略記号」・「角度」・「サイズ」を設定します。



3. 配置位置をクリックすると省略記号が配置できます。

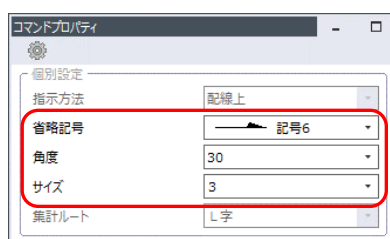


省略記号の変更

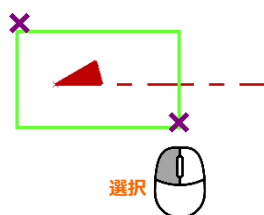
1. リボンメニューの「電気」タブの「省略記号」から「省略記号編集」をクリックします。



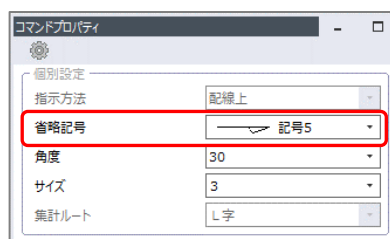
2. 変更する省略記号を選択します。



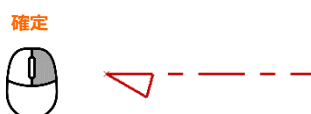
3. コマンドプロパティの「省略記号」を選択します。



4. コマンドプロパティの「省略記号」を選択します。



5. 確定（右クリックまたは「Enter」キー）すると、省略記号が変更されます。



◆ 9 - 5 - 5 エンド記号の配置

◎ワンポイント

エンド記号を変更する場合、
 コマンドキャンセルの状態
 で変更するエンド記号をクリッ
 クし、プロパティの「記号」を
 選択します。

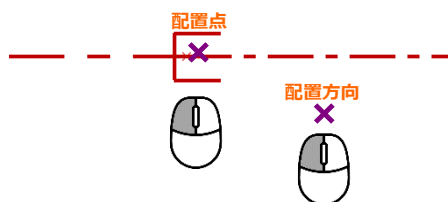
1. リボンメニューの「電気」タブから【エンド記号】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 配置点（1点目）、配置方向（2点目）をクリックします。

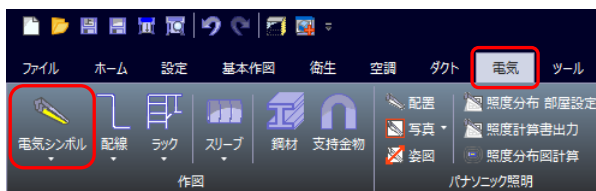


◆ 9 - 5 - 6

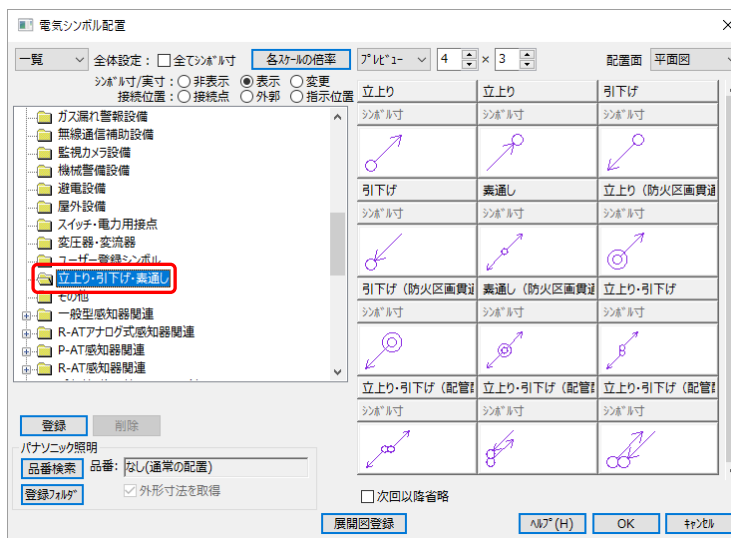
立上り、引下げ、素通し記号の配置

配線の末端に立上り記号などを配置します。

1. リボンメニューの「電気」タブから【電気シンボル】をクリックします。

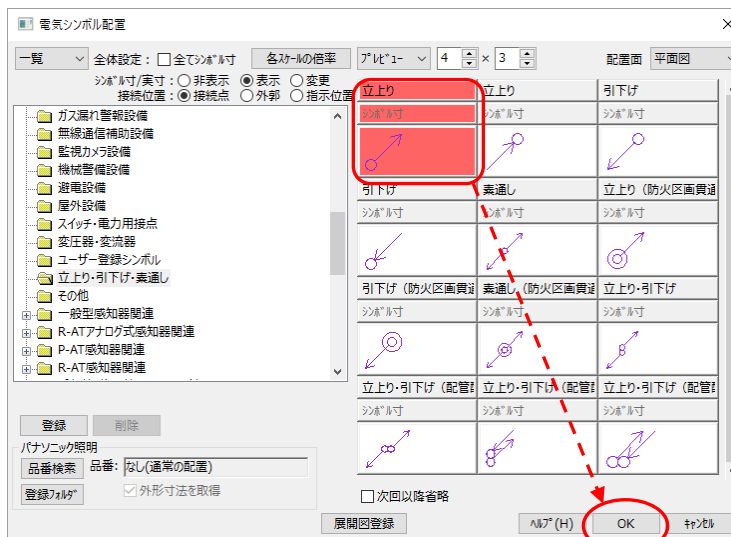


2. 「電気シンボル配置」ダイアログが表示されますので、左側のツリー表示から「立上り・引下げ・素通し」フォルダを選択します。

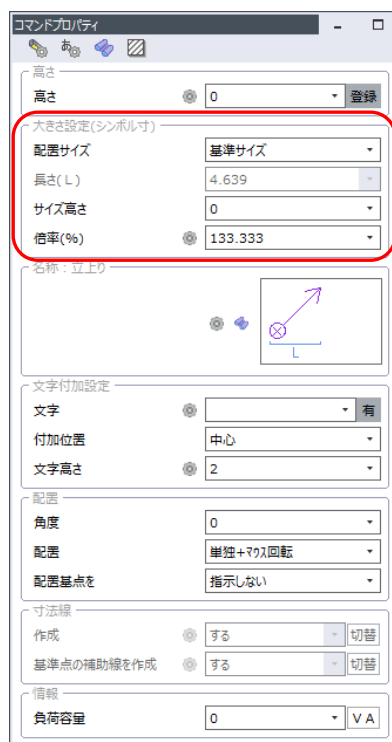


3. 右側から配置する電気シンボルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

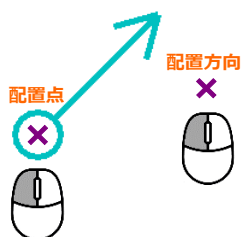
ここでは、例として左上の「立上り」を選択します。



4. コマンドプロパティの「配置サイズ」・「長さ」・「サイズ高さ」を設定します。



5. 配置点（1点目）、配置方向（2点目）をクリックします。



10. ラック

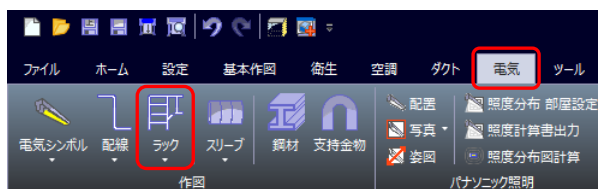
10-1. ラックの作図

◆ 10-1-1

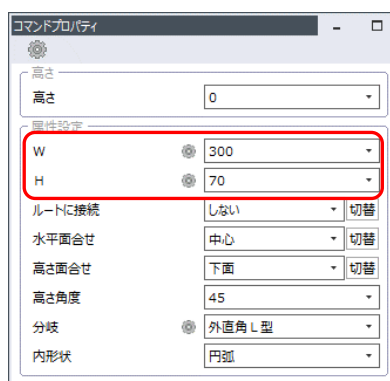
ラックの作図

連続線のようにラックを作図します。

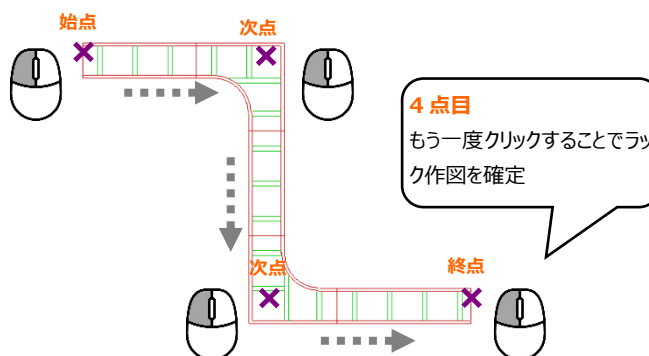
1. リボンメニューの「電気」タブから【ラック】をクリックします。



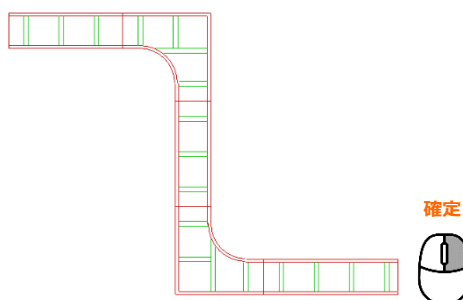
2. コマンドプロパティの「W」「H」欄に数値を入力します。



3. 始点（1点目）、次点（2点目）、次点（3点目）とクリックし、終点（4点目）をクリックします。

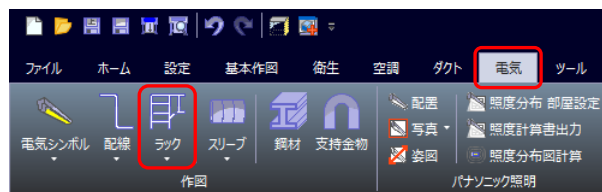


4. ラック作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。

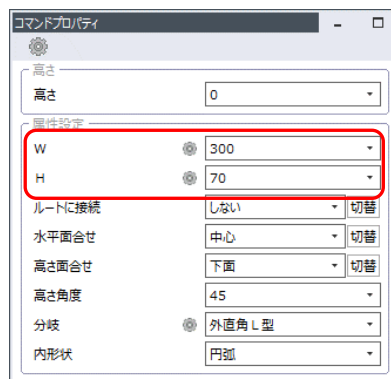


◆ 10-1-2 分岐の作図

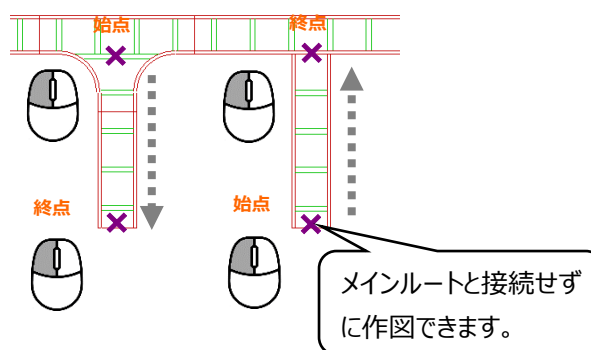
1. リボンメニューの「電気」タブから「ラック」をクリックします。



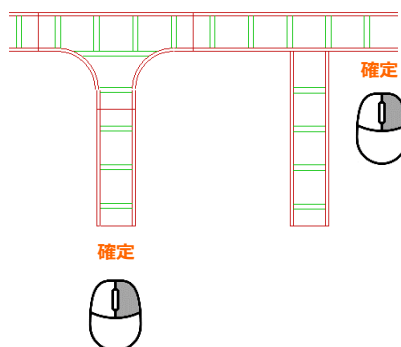
2. コマンドプロパティの「W」「H」欄に数値を入力します。



3. 始点（1点目）、終点（2点目）をクリックします。



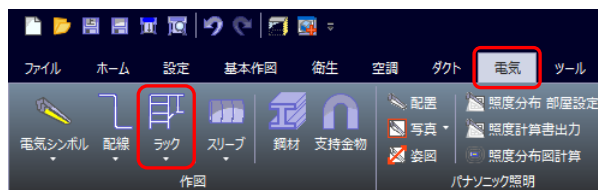
4. ラック作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



◆ 10-1-3

ラックの高さを変えながら作図

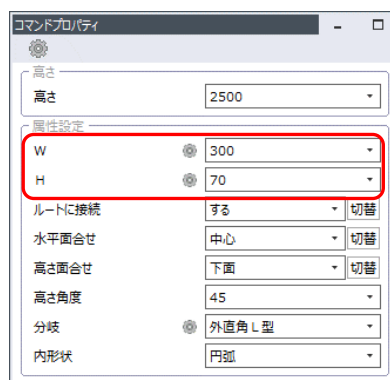
1. リボンメニューの「電気」タブから「ラック」をクリックします。



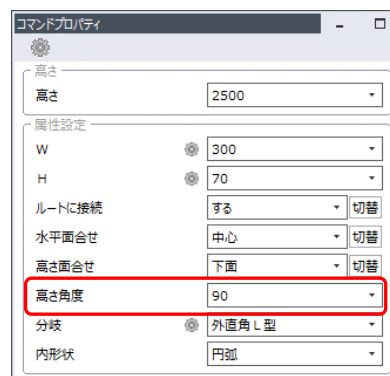
2. コマンドプロパティの「高さ」欄に“2500”と入力します。



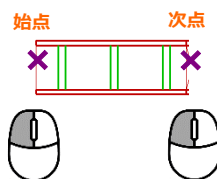
3. コマンドプロパティの「W」「H」欄を入力します。



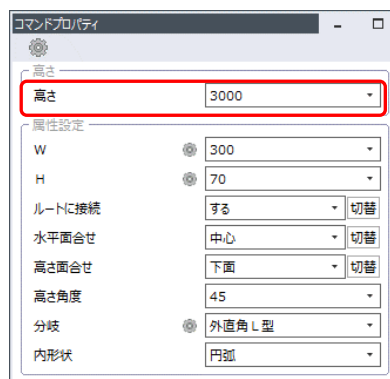
4. コマンドプロパティの「高さ角度」から「90」を選択します。



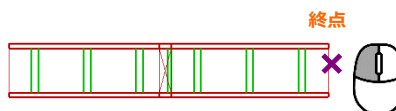
5. 始点（1 点目）、次点（2 点目）をクリックします。



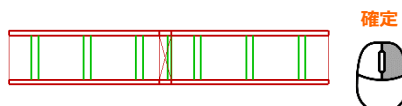
6. コマンドプロパティで「高さ」欄に“3000”と入力します。



7. 終点（3 点目）をクリックします。

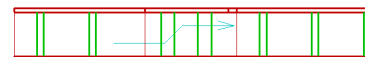


8. ラック作図を確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



●角度を変えて作図

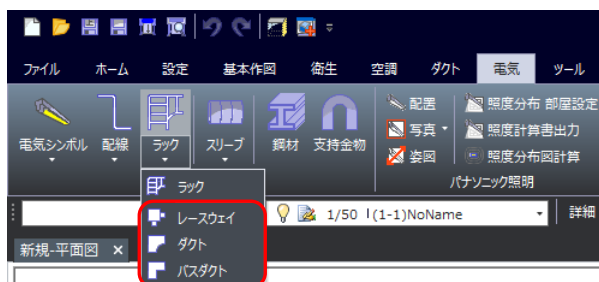
高さを変更する際、45 度などの角度で変更する場合、コマンドプロパティの「高さ角度」を設定します。





●レースウェイ、ダクト、バスダクト

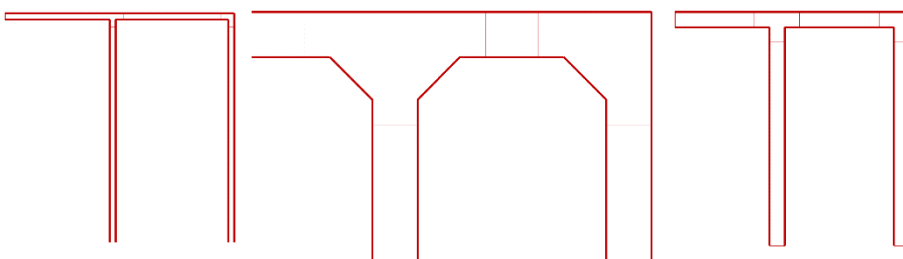
ラック作図と同じようにレースウェイ、ダクト、バスダクトを作図することができます。



レースウェイ

ダクト

バスダクト



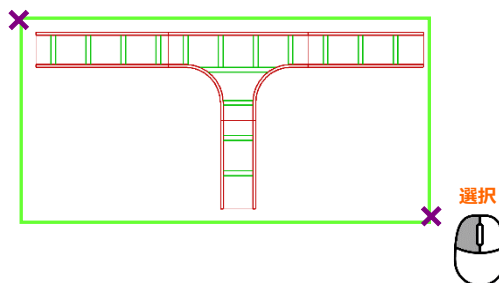
10-2. ラックの編集

◆ 10-2-1 ラックのサイズ変更

◎ワンポイント

コマンドキャンセル状態で、ラック上を 2 回クリックすると、繋がっているラックのメインルートが選択されます。
 ラック上を 3 回クリックすると、繋がっているラックルートを全て選択できます。

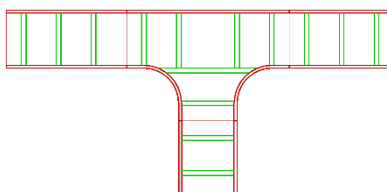
1. コマンドキャンセルの状態ですべてのラックを選択します。



2. プロパティの「W」欄に数値を入力し、「Enter」キーを押します。

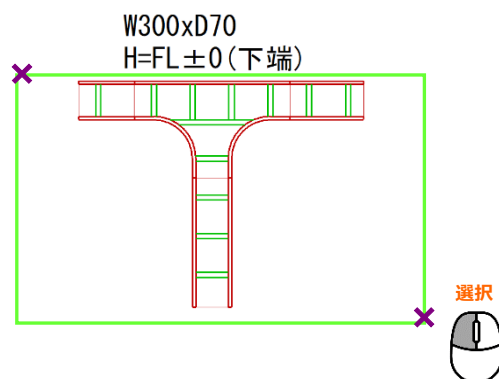


3. 選択したラックのサイズが変更されます。



◆ 10-2-2 ラックの高さ変更

1. コマンドキャンセル状態で変更するラックを選択します。



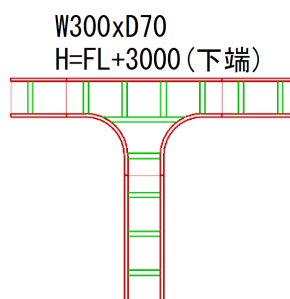
2. プロパティの「高さ」欄に数値を入力し、「Enter」キーを押します。



3. 「高さ変更」ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



4. 選択したラックの高さが変更されます。

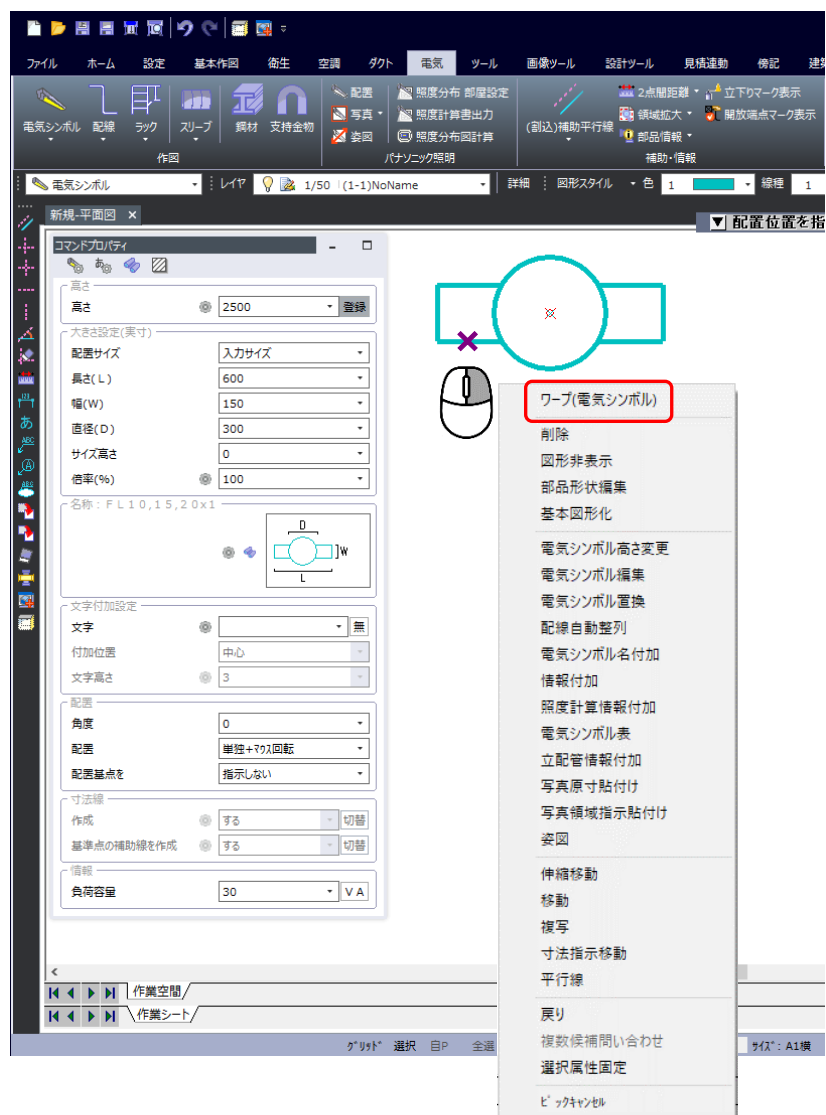




● ワープ

既に作図されている図形や電気シンボル、配線、ラック上で右クリックし、ショートカットメニューから「ワープ」を選択すると、右クリックした図形を作図するコマンドを起動できます。

線種・線色・線幅、レイヤなどの属性も同じ状態で作図されます。



1 1. 電気シンボル表、配線表の作成

1 1 - 1. 表の作成

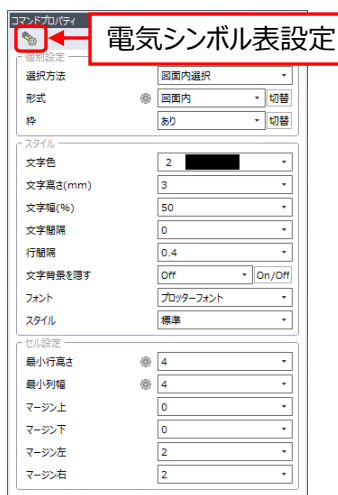
FILDER CeeD で作図した電気シンボルや配線を一括で表にします。

◆ 1 1 - 1 - 1

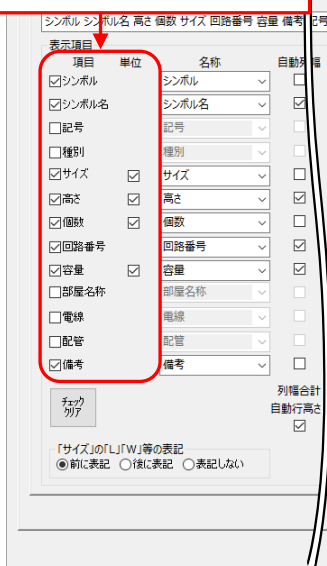
電気シンボル表の配置

◎ワンポイント

電気シンボル表の表示する順番などを設定する場合、コマンドプロパティの「電気シンボル表設定」から変更します。



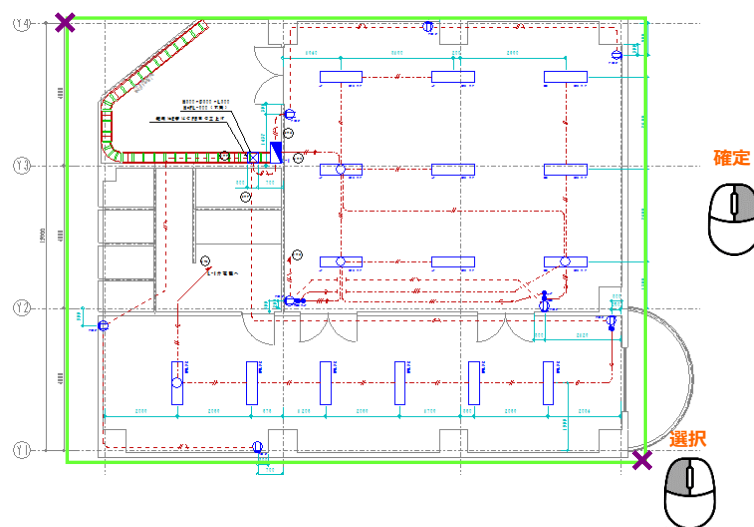
表示する項目にチェックを入れます。
 チェックをした順番で表の左側から表示します。



1. リボンメニューの「電気」タブから「電気シンボル表」をクリックします。



2. 表にする電気シンボルを選択し、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



3. 配置位置をクリックします。

※表の左上が配置基点です。

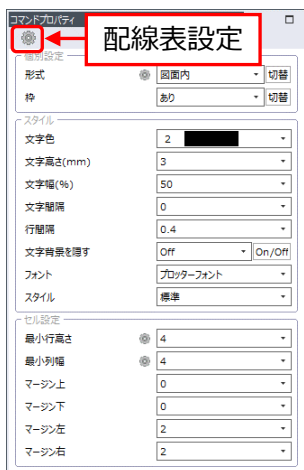


シンボル	シンボル名	種別	備考
	F L 4 0 x 2, 3	照明器具	
	F L 4 0 x 2, 3 (ボックス無)	照明器具	
	ブルボックス	ボックス	
	一般形コンセント(壁付)	コンセント	
	一般形スイッチ(2個)	スイッチ	
	分電盤	配電盤・分電盤	

◆ 1 1 - 1 - 2 配線表の配置

◎ワンポイント

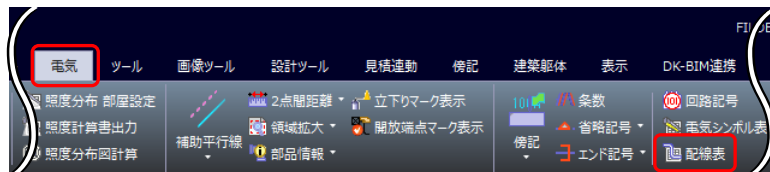
配線表を表示する順番などを設定する場合、コマンドプロパティの「配線表設定」から変更します。



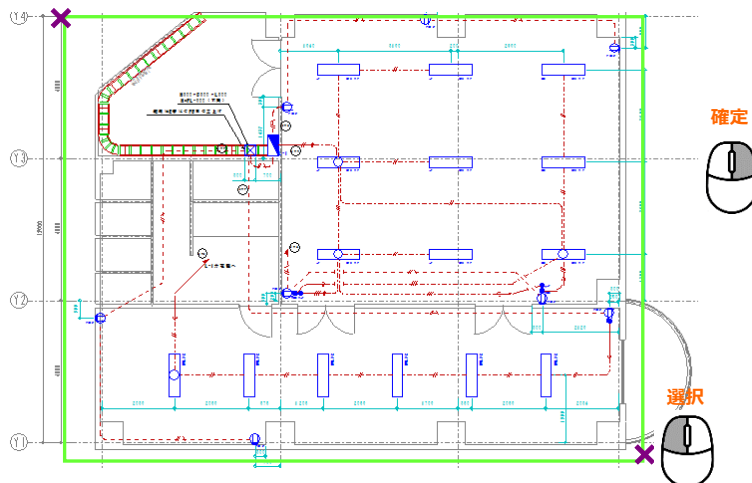
表示する項目にチェックを入れます。
 チェックをした順番で表の左側から表示します。



1. リボンメニューの「電気」タブから【配線表】をクリックします。



2. 表にする配線を選択し、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



3. 配置位置をクリックします。

※表の左上が配置基点です。



施工区分	電線	電線名称	電線種類	備考
床隠蔽	VVF2 0-30(E19)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-30 (E19)	
床面露出	VVF2 0-30(E19)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-30 (E19)	
天井ふところ	VVF2 0-30	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C	
天井ふところ	VVF2 0-30 (PF22)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C (PF22)	
天井ふところ	VVF2 0-30 (PF22)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-30 (PF22)	
天井隠蔽	VVF2 0-30	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C	
天井隠蔽	VVF2 0-30	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C	
天井隠蔽	VVF2 0-30 (PF22)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C (PF22)	
天井隠蔽	VVF2 0-30 (PF22)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C (PF22)	
天井隠蔽	VVF2 0-30 (PF22)	VVF (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形))	VVF2 0-2C (PF22)	

1 2. 電気設備化

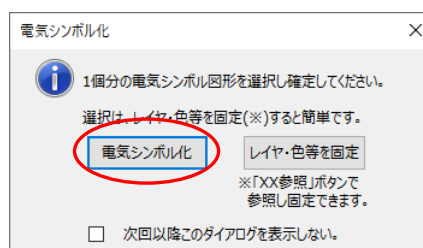
一般作図で書かれている電気シンボルや配線に情報を付けます。
 FILDER CeeD で作図した電気シンボルや配線と同じように扱えます。

1 2 - 1. 電気シンボル化

1. リボンメニューの「電気」タブから【電気シンボル化】をクリックします。

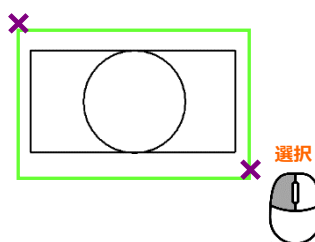


2. 「電気シンボル化」ダイアログが表示されますので、「電気シンボル化」ボタンをクリックします。



3. 電気シンボル化する図形を選択し、**確定（右クリックまたは「Enter」キー）**します。

※他に電気シンボル化したい図形がある場合は、続けて図形を選択し、右クリックで「確定」します。



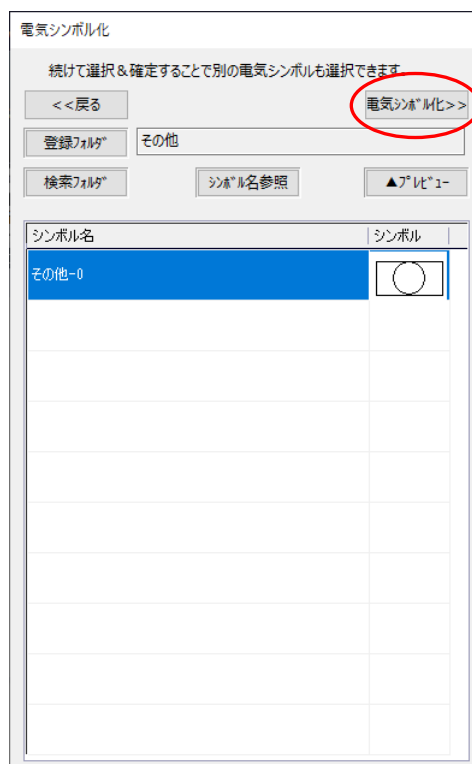
◎ワンポイント

電気シンボル化したシンボルは、「電気シンボル」コマンドから配置することができます。

◎ワンポイント

電気シンボル化が完了すると、「電気シンボル化元」シートが作成されます。

4. 「電気シンボル化」ダイアログが表示されますので、「電気シンボル化 >>」ボタンをクリックします。



●選択する図形の条件を設定するには

コマンド実行後、コマンドプロパティで設定します。



①方法

- ・自動：「自動選択の条件絞込み」の組み合わせで図形を選択します。
- ・個別：1つ1つ図形を選択します。

②確認

- ・する：電気シンボル化する個所を表示し、確認します。
- ・しない：確認しません。

③自動選択の条件絞込み
 チェックを入れて条件を絞ります。

④図形

電気シンボル化した元の一般作図図形の扱いを設定します。

- ・シートに移動：新しいシートを作成し、その中に図形を移動します。
- ・レイヤに移動：新しいレイヤを作成し、その中に図形を移動します。
- ・削除：図形を削除します。

12-2. 配線化

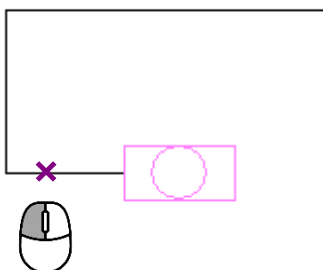
1. リボンメニューの「電気」タブから【配線化】をクリックします。



2. コマンドプロパティの「方法」を「自動」に設定します。



3. 配線化する図形をクリックします。



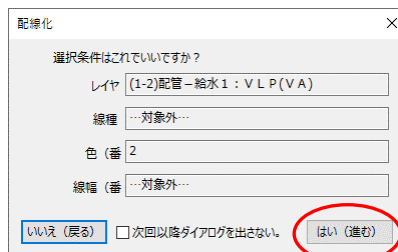
◎ワンポイント

配線化した配線に電線種類や条数などの情報を付加する場合、配線化した配線をクリックし、プロパティで「電線種類」・「条数」などを選択し、ピクキャンセルします。

◎ワンポイント

配線化が完了すると、「配線化元」シートが作成されます。

4. 「配線化」ダイアログが表示されますので、選択条件を確認し、「はい（進む）」ボタンをクリックします。



13. 躯体

13-1. 躯体トレースの流れ

躯体トレースとは、読み込んだ 2D 建築躯体図面を 3D 図形でなぞって作図し、複層階に対応した 3D 建築躯体として作図します。

1. 躯体トレースの準備

2D 図面の読み込み



2. 躯体トレース作図

2D 図面の柱、梁、壁、床スラブ、天井、開口をトレースする



包絡処理をする

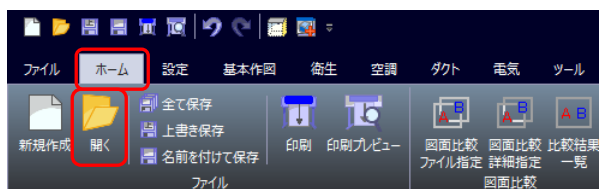


3. トレースした図面の 3D 表示

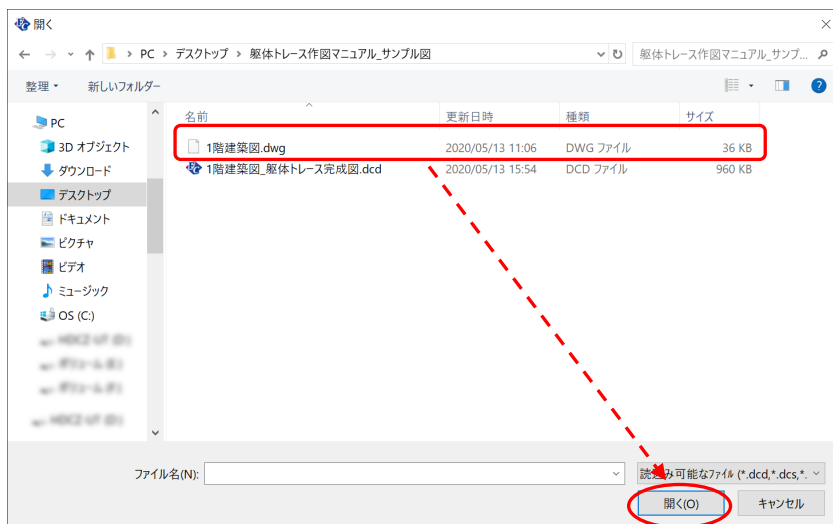
トレースした図面を 3D 表示します

13-2. 建築躯体図面の読み込み

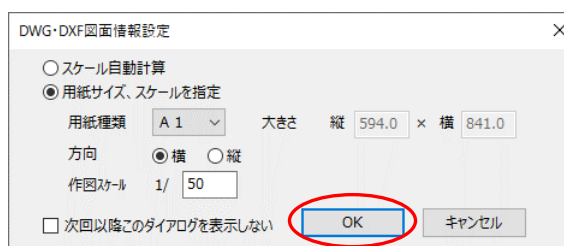
1. リボンメニューの「ホーム」タブから【開く】を選択します。
 (「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります)



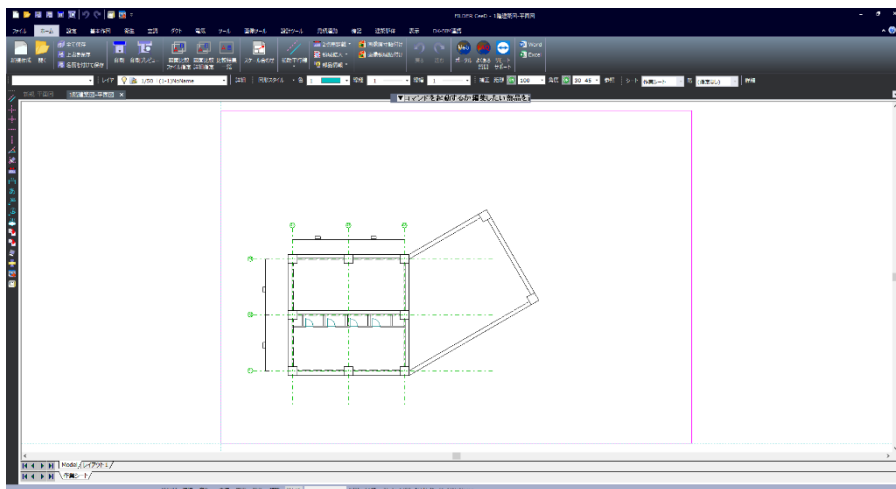
2. 「開く」ダイアログが表示されますので、トレースする建築躯体図面を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



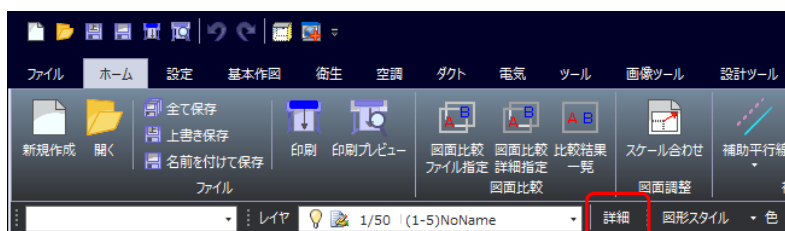
3. 「DWG・DXF 図面情報設定」ダイアログが表示されますので、下記のように設定し、「OK」ボタンをクリックします。



4. 選択した図面が開きます。

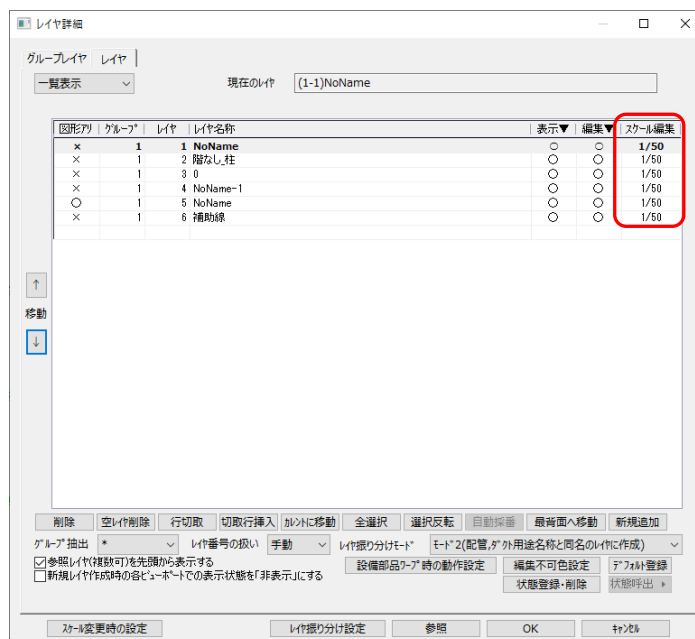


5. 共通項目ツールバーのレイヤ詳細横の「詳細」ボタンをクリックします。



6. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、「スケール編集」欄でカレントレイヤのスケール及び読込んだ建築躯体図面のレイヤスケールを確認してください。

作図したいスケールと異なる場合、ここでスケールを変更してください。

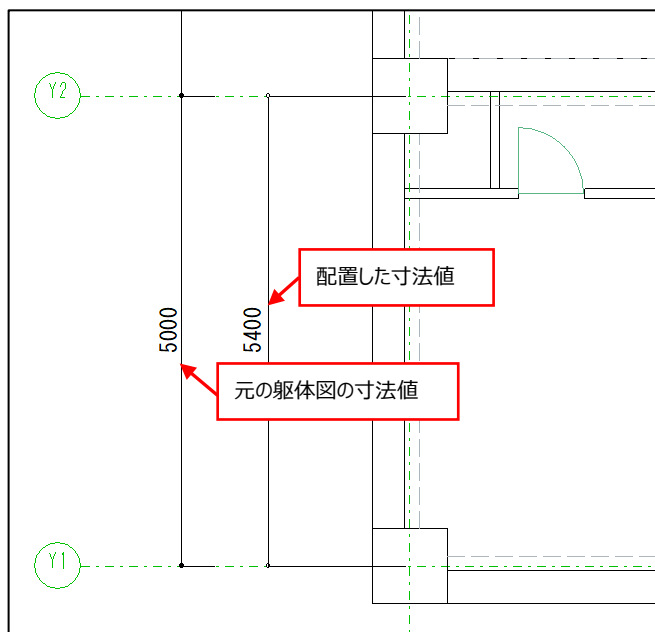




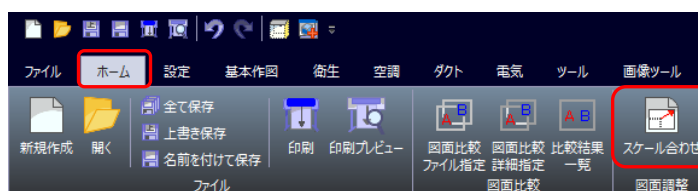
●寸法の確認方法

躯体をトレースする前に、読込んだ躯体図の寸法を確認します。補正する場合は下記手順となります。

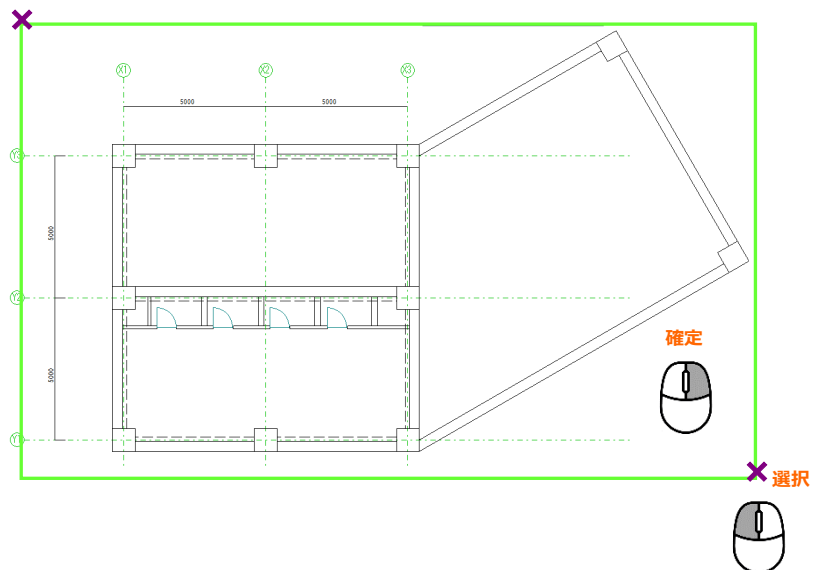
1. 寸法線がある個所に実際に寸法線を配置して同じかどうか確認します。



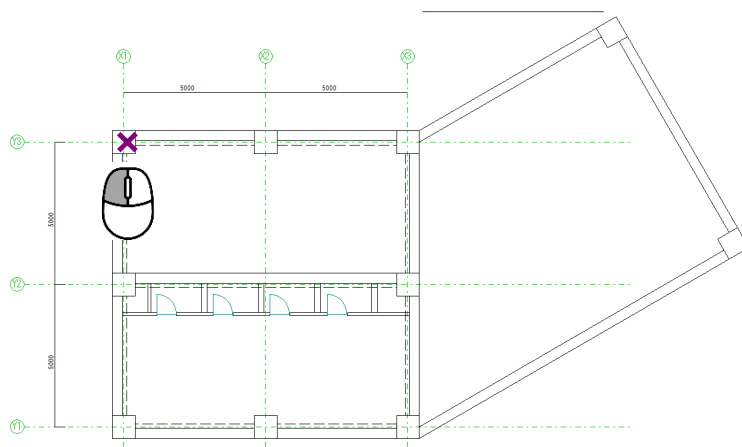
2. 元の躯体図の寸法値と配置した寸法線の寸法値が異なる場合、リボンメニューの「ホーム」タブから【スケール合わせ】を選択します。



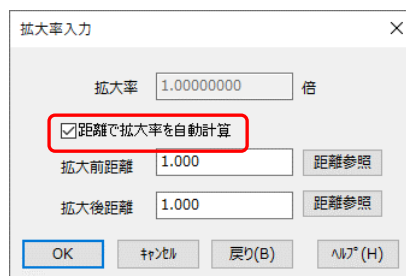
3. スケールを変更する躯体図全体を枠で囲むように選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



4. **基点**をクリックします。



5. 「拡大率入力」ダイアログが表示されますので、「距離で拡大率を自動計算」に**チェックを入れます**。



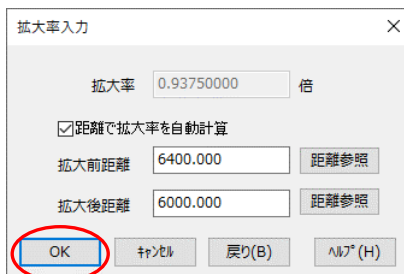
6. 「拡大前距離」に**読込んだ躯体図を測った距離**を入力します。



7. 「拡大後距離」に**元の躯体図の距離**を入力します。



8. 「OK」ボタンをクリックします。

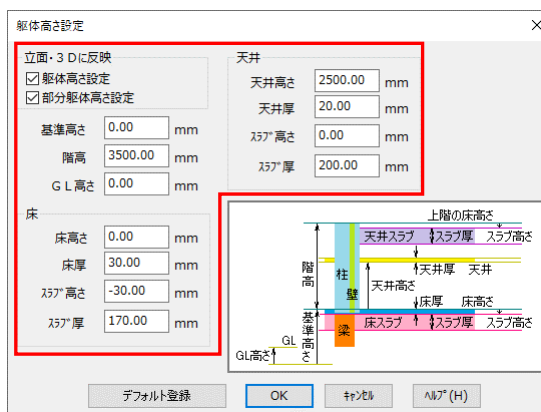


13-3. 躯体高さを設定する

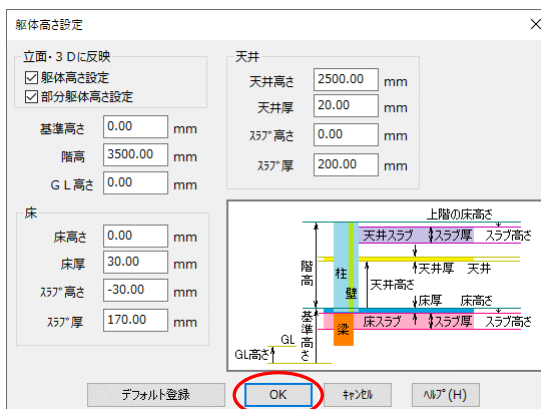
1. リボンメニューの「設定」タブから【躯体高さ設定】を選択します。



2. 「躯体高さ設定」ダイアログが表示されますので、設定を変更する場合は各項目の数値を変更します。
 ここでは、数値を変更せずにデフォルトの設定で作成します。



3. 設定をしたら、「OK」ボタンをクリックします。



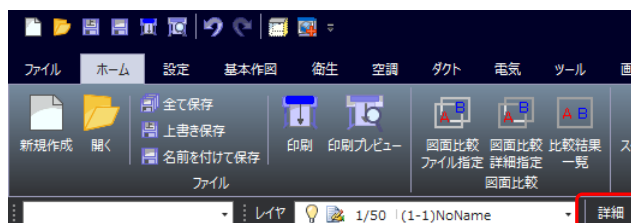
13-4. 建築図のトレース

◆ 13-4-1

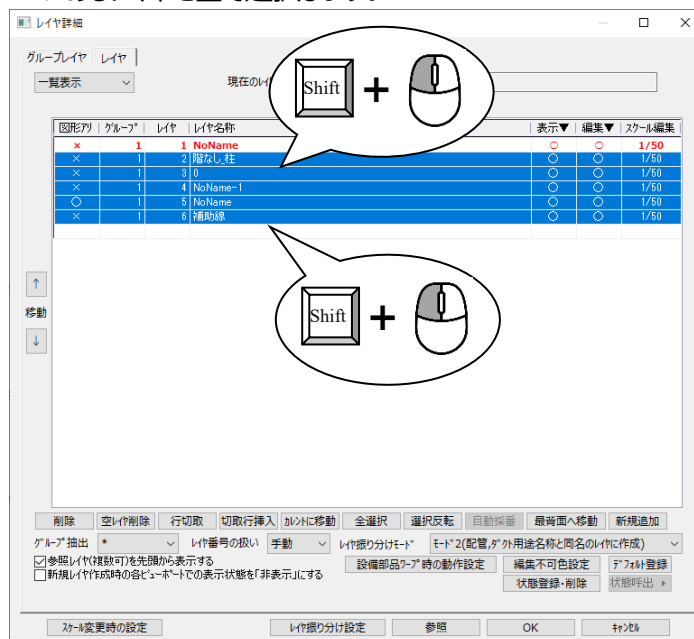
トレースする躯体図を編集
不可にする

1. 「1. 建築躯体図面の読込」で読込んだ躯体図のレイヤを編集不可に設定します。

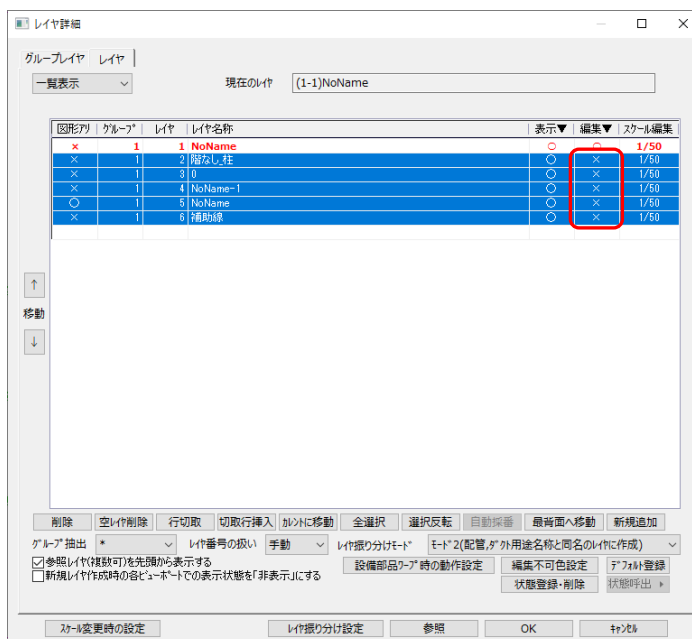
共通項目ツールバーのレイヤ詳細横の「詳細」ボタンをクリックします。



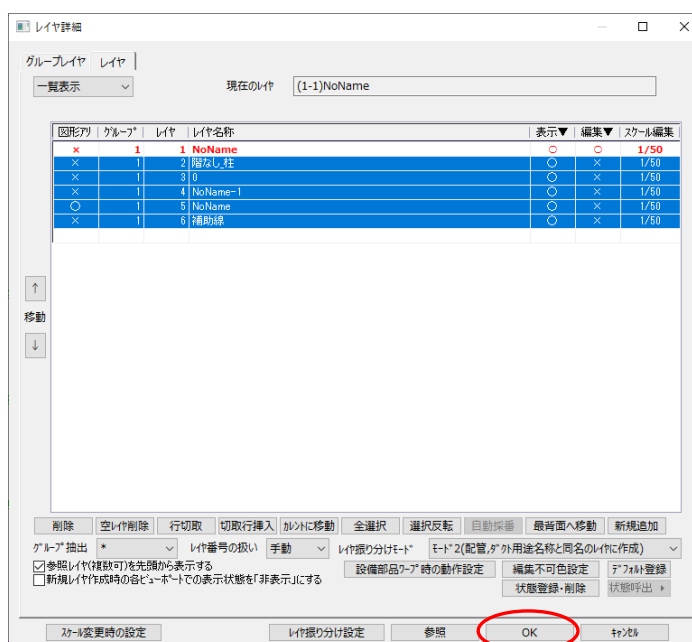
2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、編集不可にするレイヤを「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押しながらクリックし、選択します。
 ここでは「Shift」キーを押しながら「通り芯」と「梁」をクリックし、範囲内にあるレイヤを全て選択します。



3. 「編集▼」列の「○」をクリックし、「×」（編集不可）に変更します。



4. 「OK」ボタンをクリックします。



◆ 1 3 - 4 - 2 躯体図のトレース

◎ワンポイント

作図する前に、共通項目ツールバーでカレントレイヤが「(1-1)NoName」になっているかを確認してください。別のレイヤがカレントレイヤになっている場合は、共通項目ツールバー欄をクリックし、一覧から「(1-1)NoName」を選択してください。

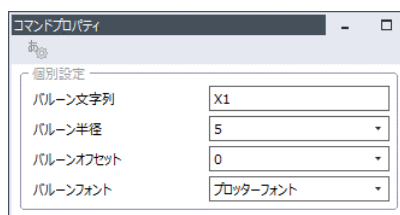


●通り芯を作図する

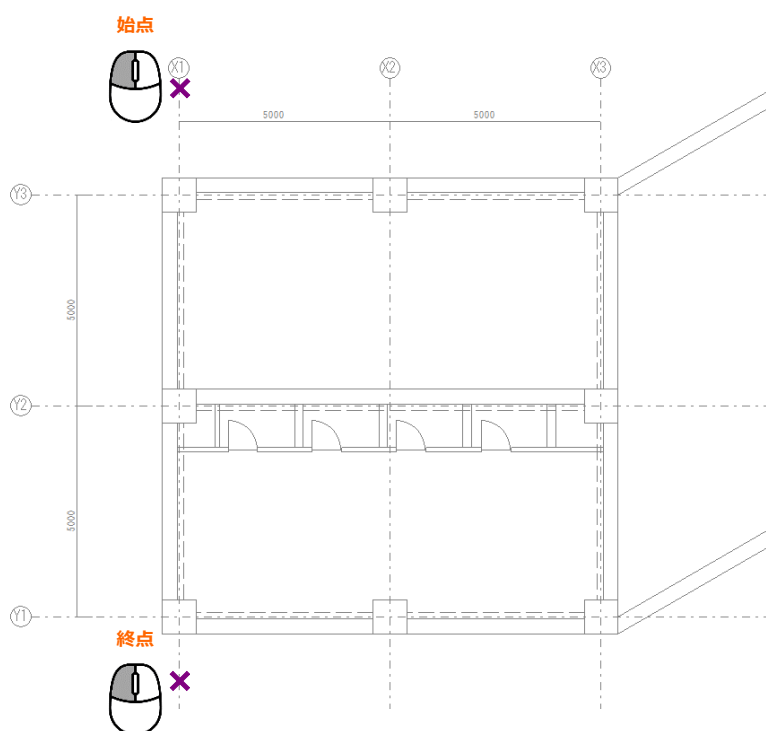
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【通り芯】をクリックします。



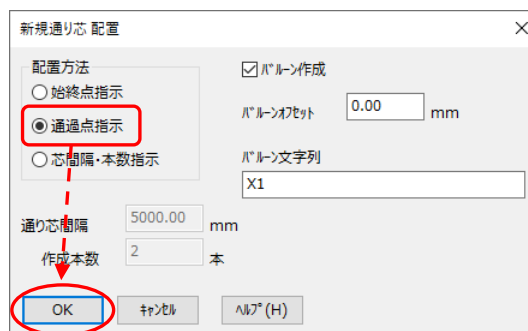
2. コマンドプロパティで下記の通り設定します。



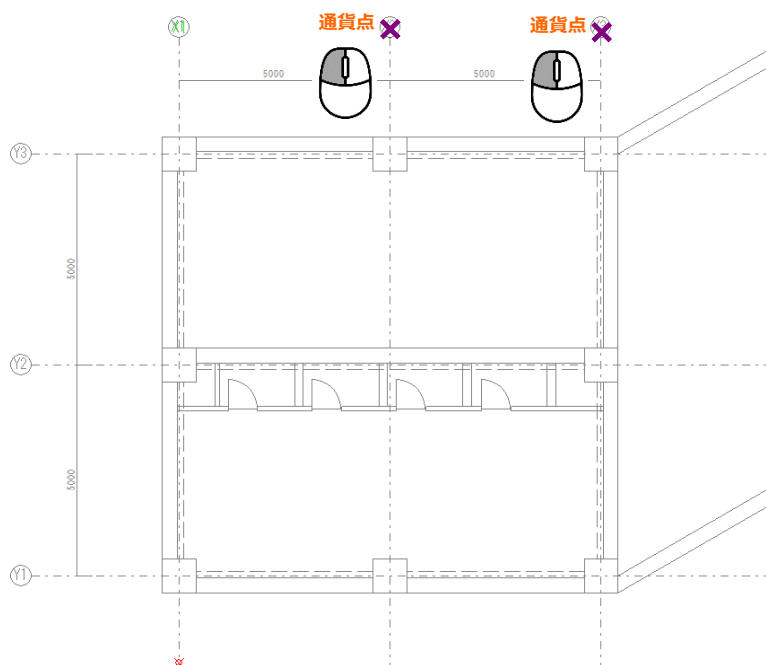
3. X1 の通り芯の始点（1 点目）、X1 の通り芯の終点（2 点目）をクリックします。



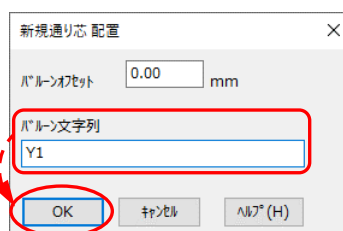
4. 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**通過点指示**にし、「OK」ボタンをクリックします。



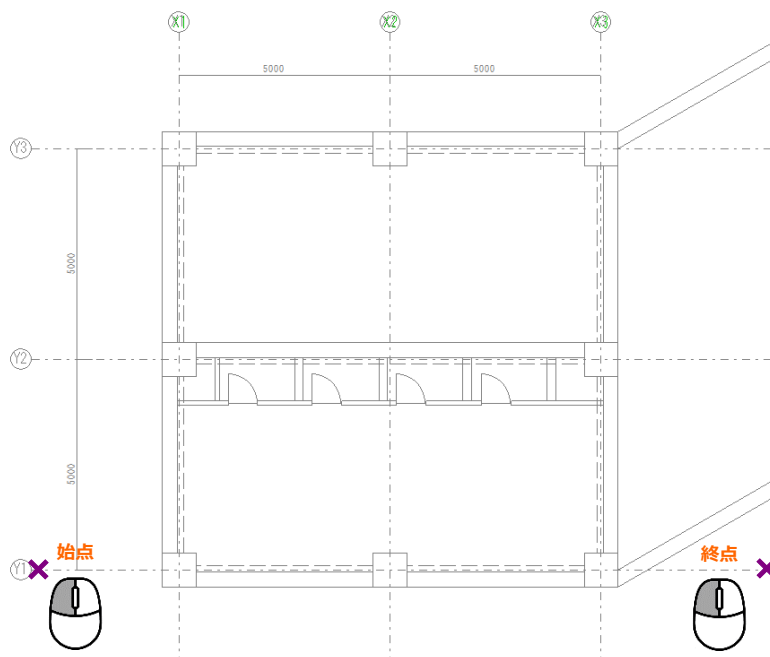
5. X2、X3 の通り芯の**通過点**をクリックします。



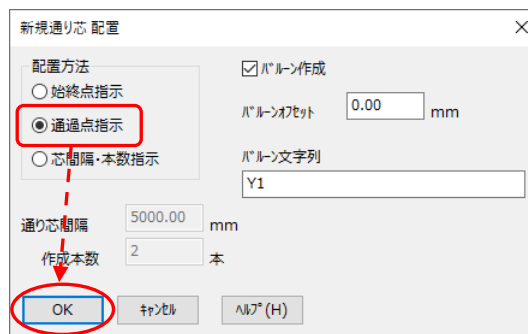
6. X2、X3 の通過点を指示し終わったあと、**右クリック**すると「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、**バルーン文字列**に「Y1」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



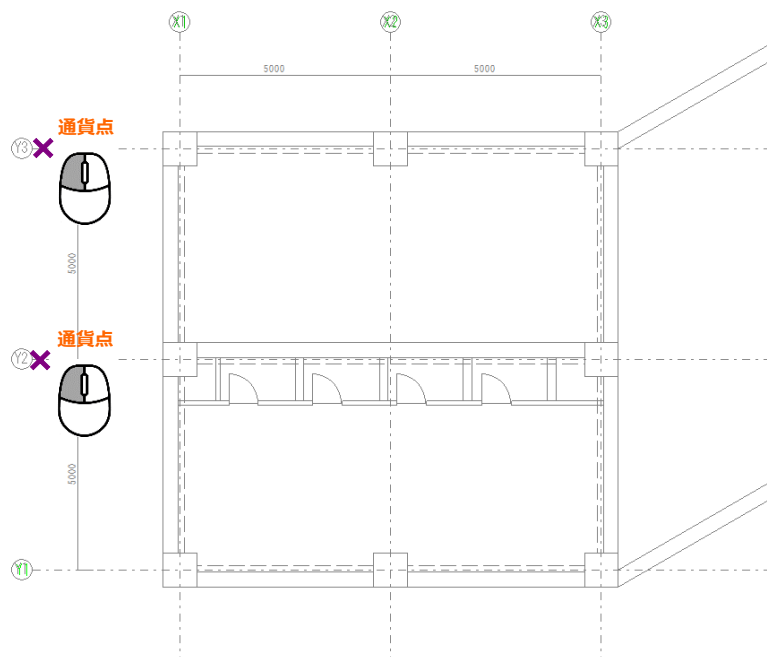
7. Y1の通り芯の始点（1点目）、Y1の通り芯の終点（2点目）をクリックします。



8. 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**通過点指示**にし、「OK」ボタンをクリックします。



9. Y2、Y3 の通り芯の通過点をクリックします。



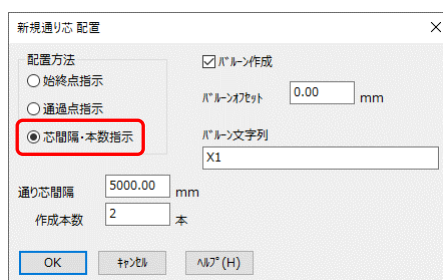
10. キーボードの「Esc」キーを押し、通り芯の作図を終了します。



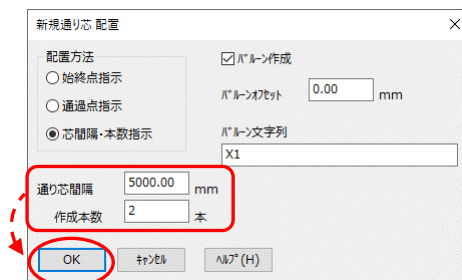
●通り芯の間隔が全て同じ場合

通り芯の間隔が全て同じ場合は、芯間隔、本数を指示して一括で作成することもできます。

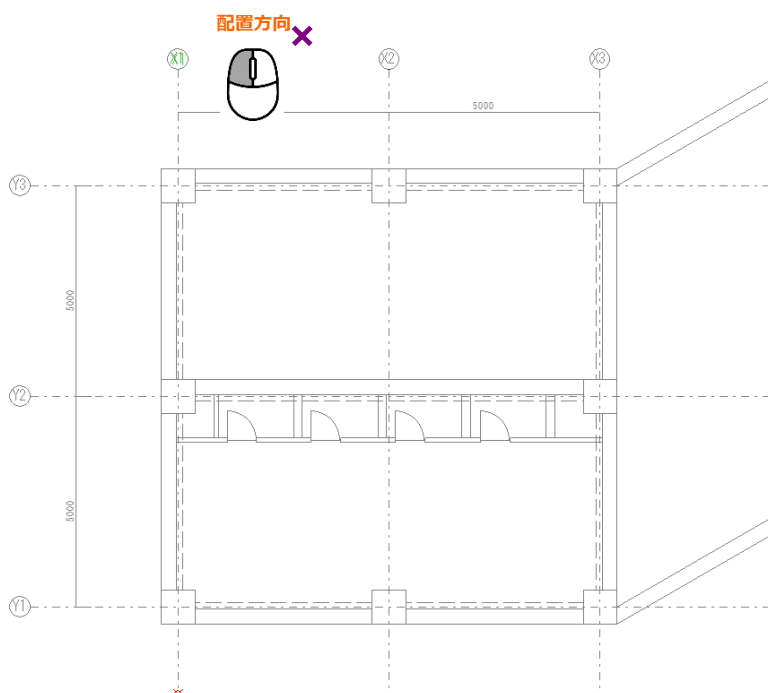
1. 「●通り芯を作図する」の1～3の操作を行います。
2. 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**芯間隔、本数指示**にします。



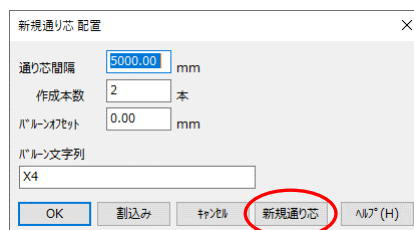
3. 「通り芯間隔」、「作成本数」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



4. 通り芯の**配置方向**をクリックします。



5. 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、「新規通り芯」ボタンをクリックします。



新規通り芯 配置

通り芯間隔 5000.00 mm

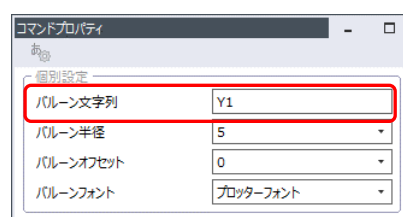
作成本数 2 本

バールオフセット 0.00 mm

バール文字列 X4

OK 割り込み キャンセル **新規通り芯** ヘルプ (H)

6. コマンドプロパティでバール文字列に「Y1」と入力し、Y1 の通り芯の始点と終点をクリックします。



コマンドプロパティ

個別設定

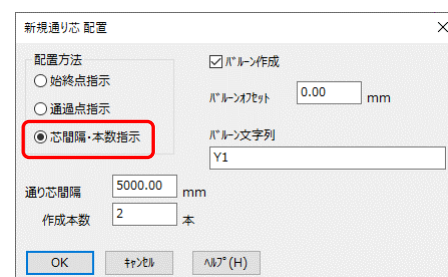
バール文字列 Y1

バール半径 5

バールオフセット 0

バールフォント プロッターフォント

7. 「新規通り芯配置」ダイアログが表示されますので、配置方法を**芯間隔、本数指示**にします。



新規通り芯 配置

配置方法

☐ 始終点指示

☐ 通過点指示

☒ 芯間隔・本数指示

☒ バール作成

バールオフセット 0.00 mm

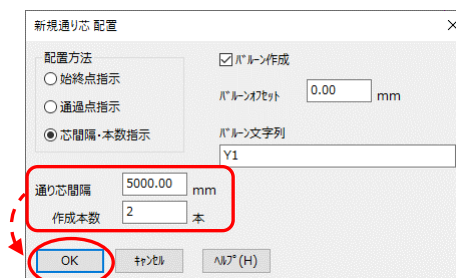
バール文字列 Y1

通り芯間隔 5000.00 mm

作成本数 2 本

OK キャンセル ヘルプ (H)

8. 「通り芯間隔」、「作成本数」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



新規通り芯 配置

配置方法

☐ 始終点指示

☐ 通過点指示

☒ 芯間隔・本数指示

☒ バール作成

バールオフセット 0.00 mm

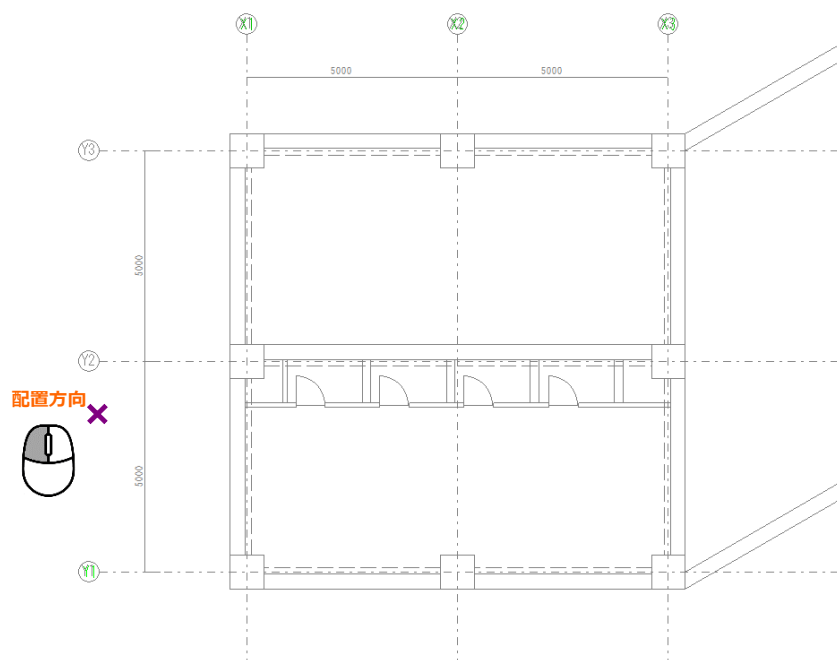
バール文字列 Y1

通り芯間隔 5000.00 mm

作成本数 2 本

OK キャンセル ヘルプ (H)

9. 通り芯の配置方向をクリックします。



10. キーボードの「Esc」キーを押し、通り芯の作図を終了します。

◎ワンポイント

柱の「高さ」には「2. 躯体高さを設定する」の躯体高さ設定ダイアログの「階高」の値が設定されます。

●柱を作図する

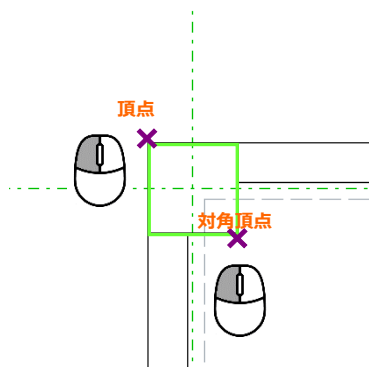
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【柱】をクリックします。



2. コマンドプロパティで下記の通り設定します。



3. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。
 同じ手順で柱を全て作図します。





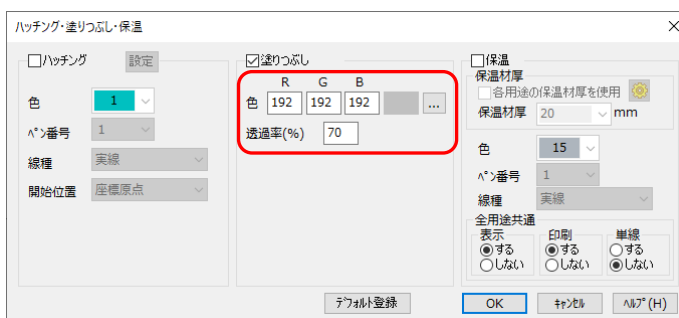
●躯体の塗りつぶし色を変更するには

「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」で設定することができます。

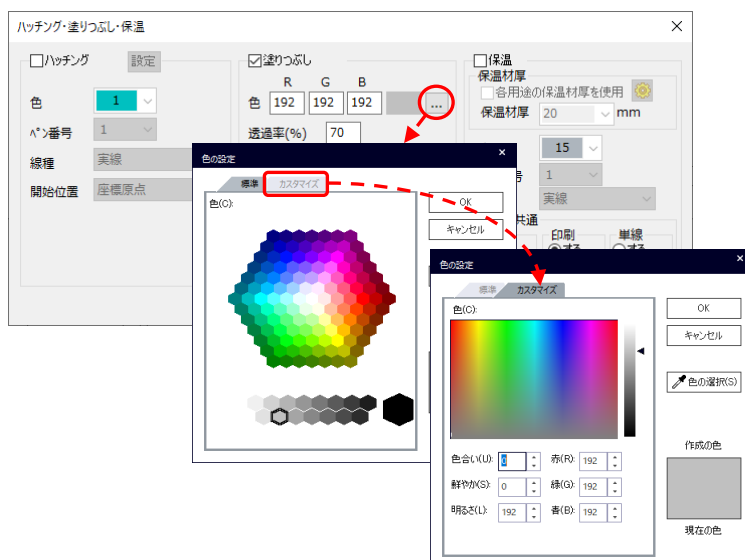
1. 柱・壁・梁・床スラブ・天井のコマンドプロパティ左上にある「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」ボタンをクリックします。



2. 「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」ダイアログが表示されますので、真ん中の「塗りつぶし」の色・透過率を変更します。



3. 色の右端にある [...] をクリックすると、「色の設定」ダイアログが表示され、色の選択ができます。
「カスタマイズ」タブでは、より詳細な色の設定ができます。



◎ワンポイント

壁の「高さ」には「2. 躯体高さを設定する」の躯体高さ設定ダイアログの「階高」の値が設定されます。

◎ワンポイント

床、天井が作図されていない状態で3D表示を行うと、FL 高さ、階高の位置に床、天井が表示されます。
 天井を透過で表示したい場合は、3D画面上で右クリックし、透過表示切替⇒天井をクリックしてチェックを入れてください。非表示にする場合は、表示切替⇒天井をクリックしてチェックを外してください。

●壁を作図する

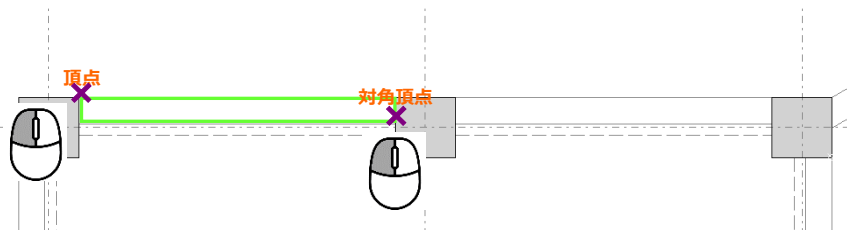
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【壁】をクリックします。



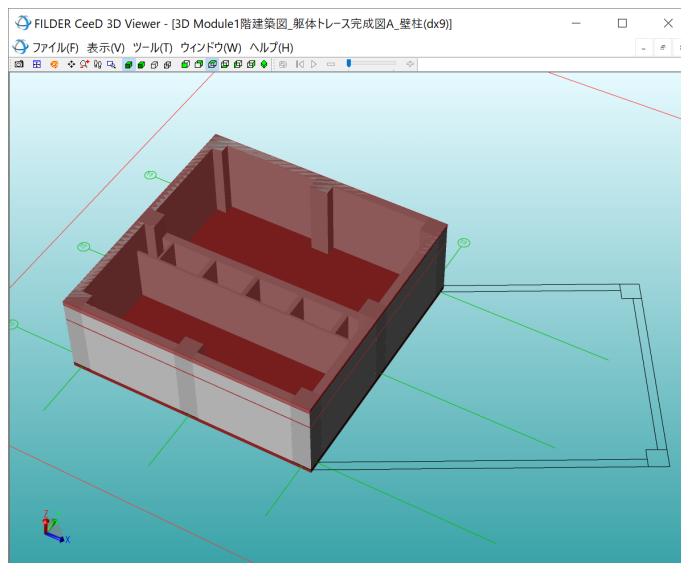
2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。



4. 同じ手順で壁および間仕切り壁を全てトレースします。



● 梁を作図する

1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【梁】をクリックします。



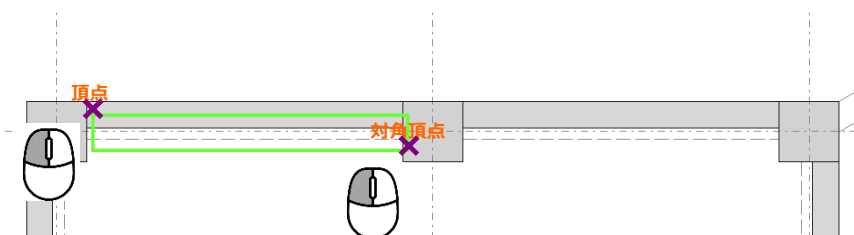
◎ ワンポイント

梁の「高さ」には「2. 躯体高さを設定する」の躯体高さ設定ダイアログの「スラブ高さ」の値が設定されます。

2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。

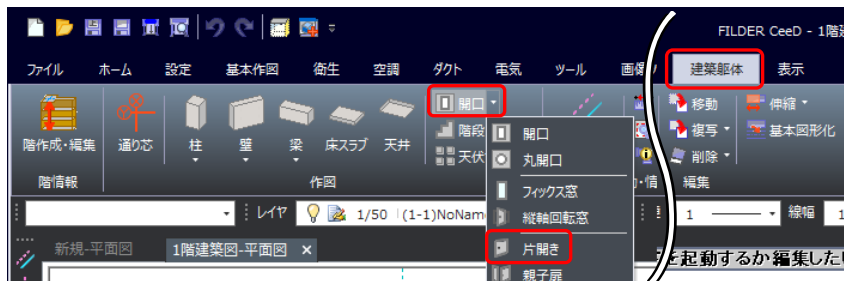


3. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。
 同じ手順で梁を全て作図します。



●開口を作図する

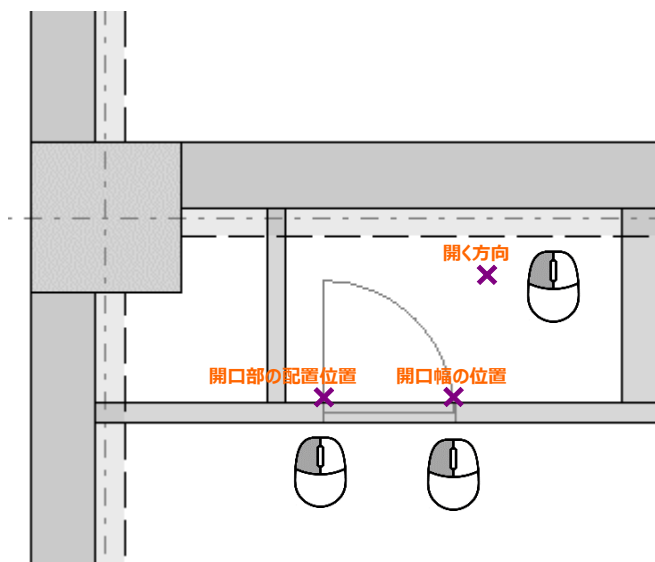
1. リボンメニューの「**建築躯体**」タブから「**開口**」をクリックします。
 ここでは、例として「**片開き**」をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 開口部の配置位置（1 点目）、開口幅の位置（2 点目）、扉を開く方向（3 点目）をクリックします。



◎ワンポイント

床スラブの「配置高さ・基準」には「2. 躯体高さを設定する」の躯体高さ設定ダイアログの「スラブ高さ」の値が設定されます。

●床スラブを作図する

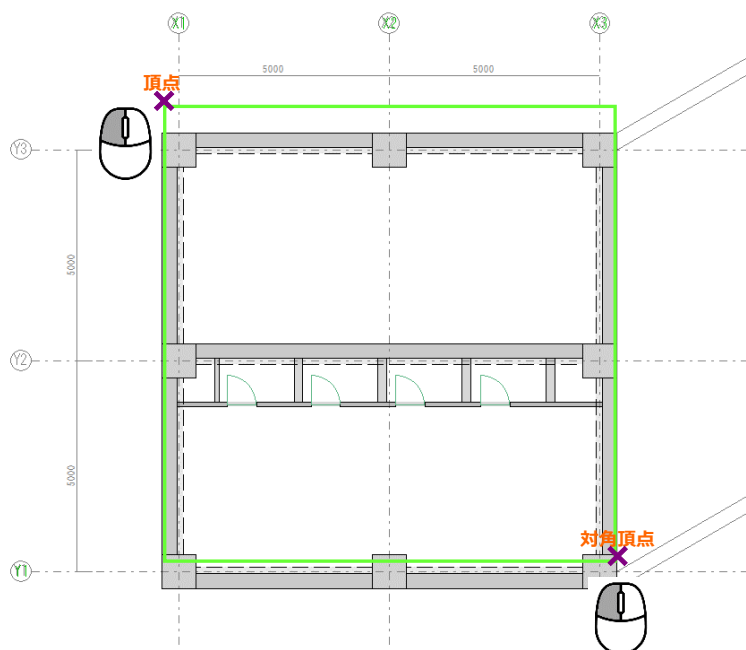
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【床スラブ】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。



◎ワンポイント

天井の「配置高さ・基準」には「2. 躯体高さを設定する」の躯体高さ設定ダイアログの「天井高さ」の値が設定されます。

●天井を作図する

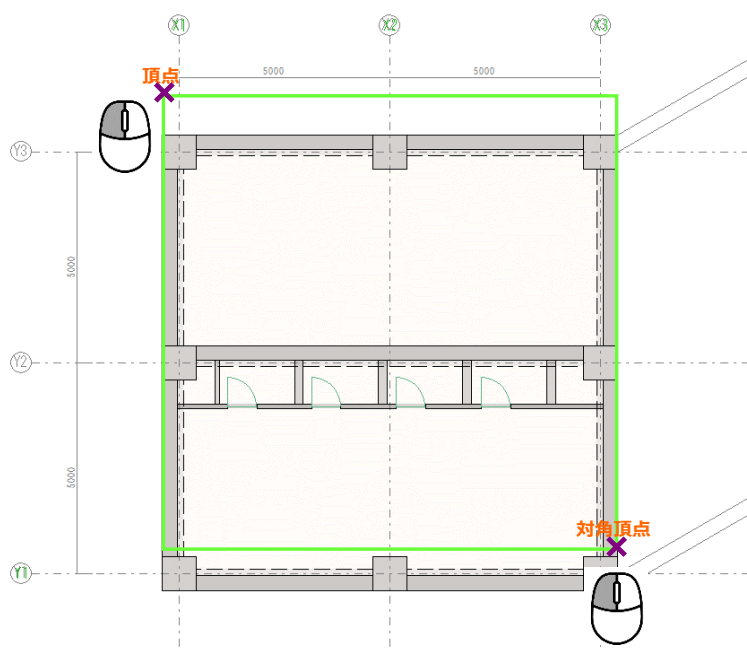
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【天井】をクリックします。



2. コマンドプロパティを下記の通り設定します。



3. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。



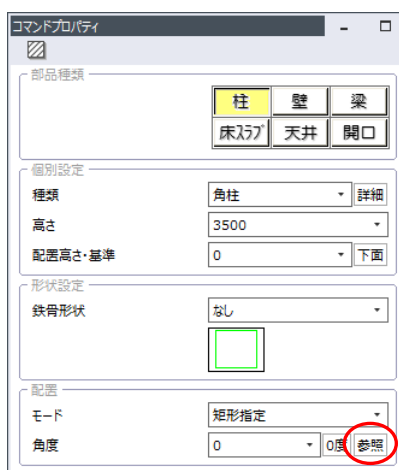


●角度が分からない柱などを作図する場合

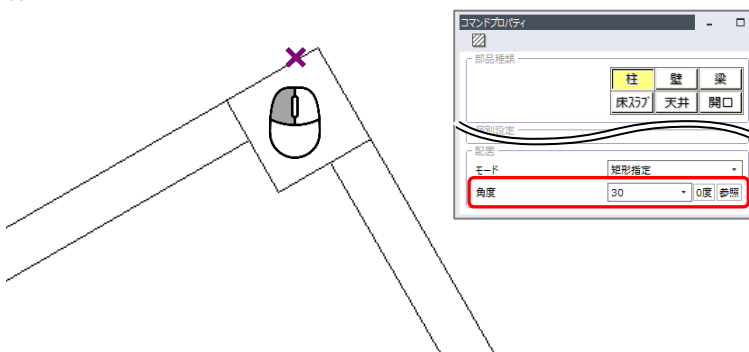
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【柱】をクリックします。



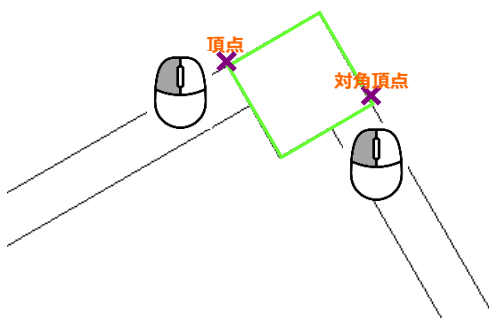
2. コマンドプロパティで角度の「参照」ボタンをクリックします。



3. 角度を参照する線分をクリックします。
配置角度がクリックした線分の角度になります。



4. 頂点（1点目）、対角頂点（2点目）をクリックします。





●多角形の壁、床スラブ、天井などを作図する場合

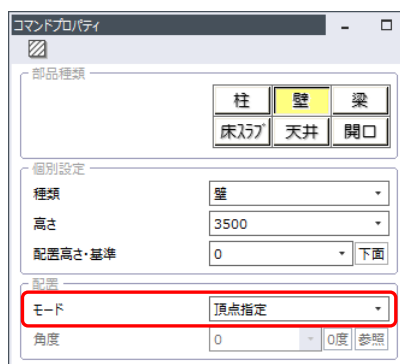
多角形の壁、床スラブ、天井をトレースする場合、下記手順で作図します。

ここでは、例として壁で作図します。

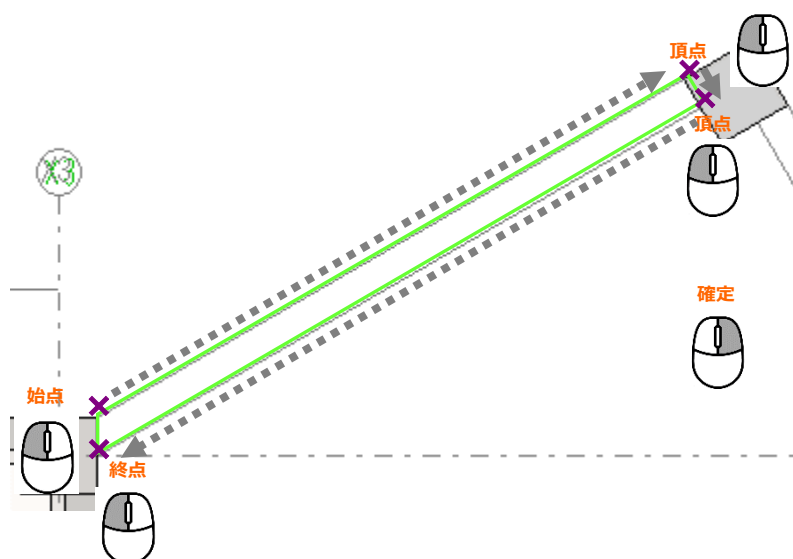
1. リボンメニューの「建築躯体」タブから【壁】をクリックします。



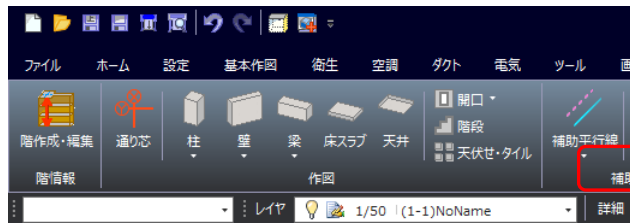
2. コマンドプロパティのモードを「頂点指定」にします。



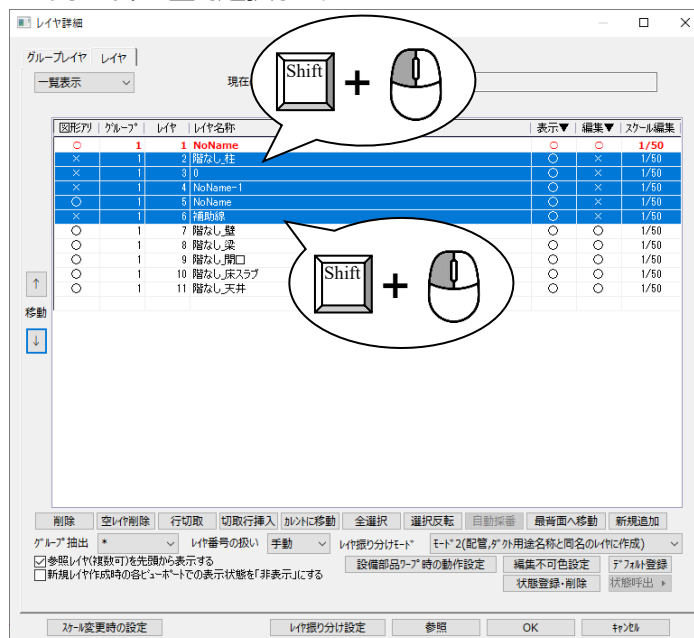
3. 多角柱の始点（1 点目）、頂点（2 点目）、頂点（3 点目）終点（4 点目）をクリックし、確定（右クリックまたは「Enter」キー）すると終点と始点が自動的につながります。



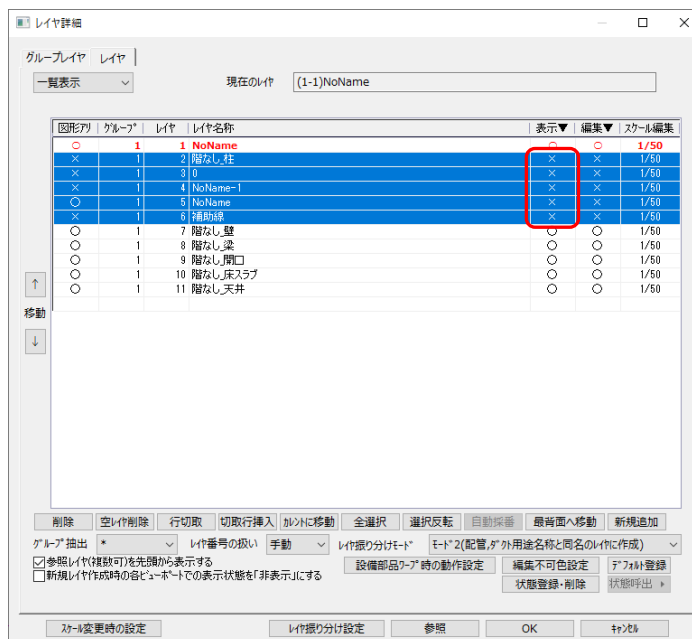
4. トレースが終わりましたら、「1. 建築躯体図面の読込」で読込んだ躯体図のレイヤを非表示に設定します。
 共通項目ツールバーのレイヤ詳細横の「詳細」ボタンをクリックします。



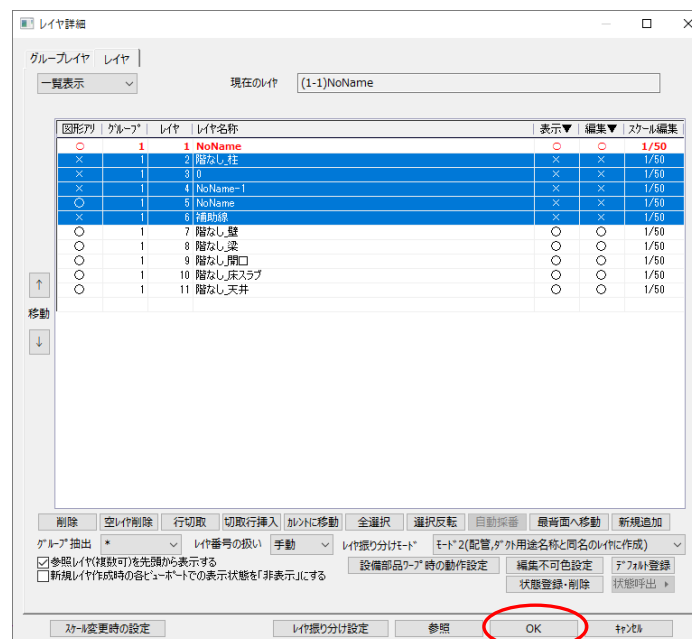
5. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、非表示にするレイヤを「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押しながらクリックし、選択します。
 ここでは「Shift」キーを押しながら「通り芯」と「梁」をクリックし、範囲内にあるレイヤを全て選択します。



6. 「表示▼」列の「○」をクリックし、「×」（非表示）に変更します。



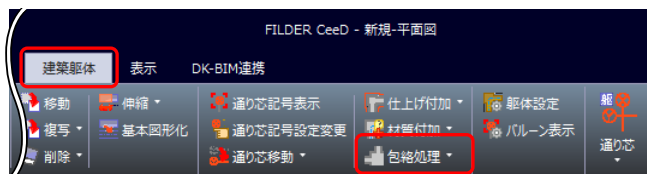
7. 「OK」ボタンをクリックします。



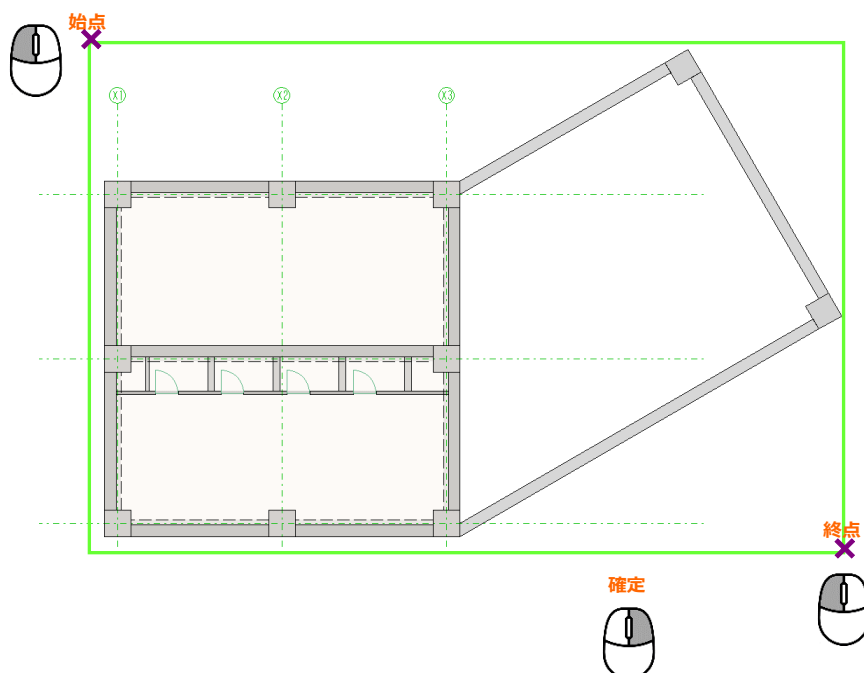
◆ 1 3 - 4 - 3 包絡処理・解除

●包絡処理

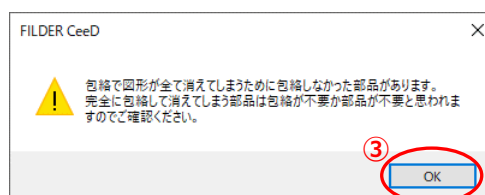
1. リボンメニューの「**建築躯体**」タブから【**包絡処理**】をクリックします。



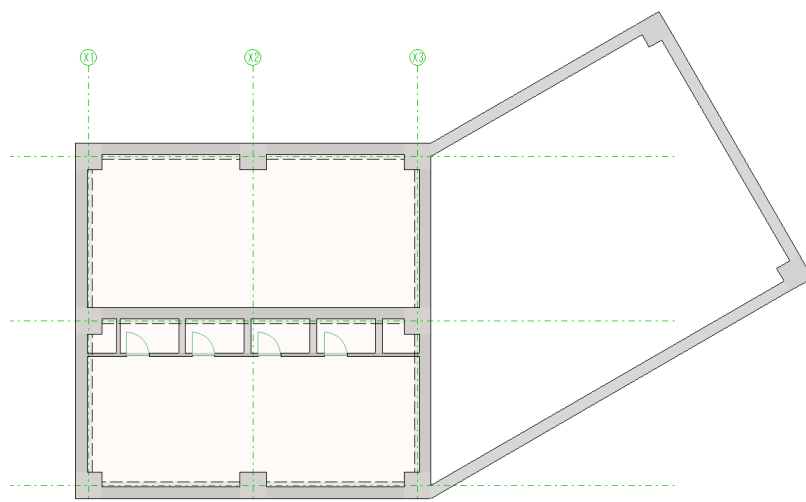
2. 躯体全体を枠で囲むように**始点**（1 点目）、**終点**（2 点目）を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。



3. 梱包しない部分がある場合は、確認のメッセージが表示されますので、**「OK」ボタン**をクリックします。



4. 躯体が包絡処理されます。

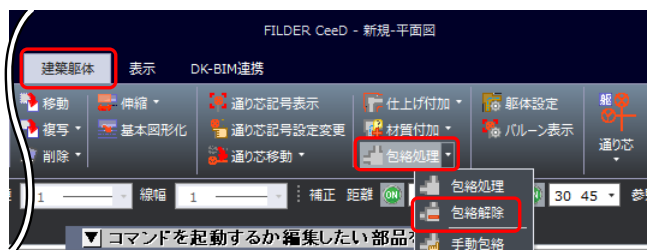


●包絡解除

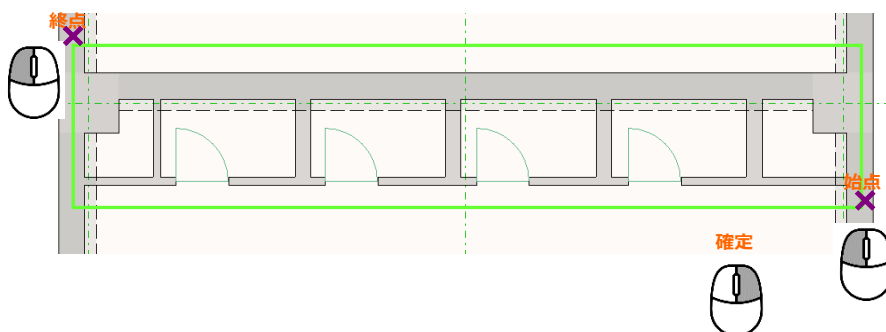
躯体変更などで包絡をし直す場合、包絡解除し、再度包絡処理をします。

※ここでは、包絡処理が分かりやすいように間仕切り武運の包絡を解除します。

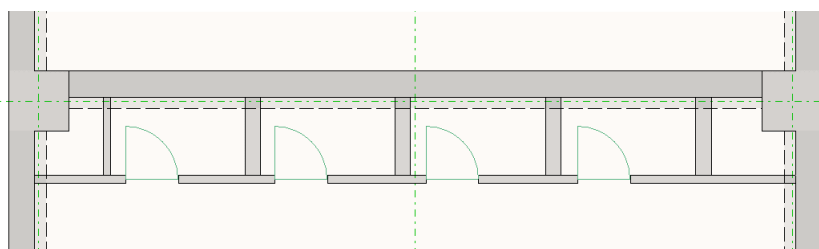
1. リボンメニューの「**建築躯体**」タブの【包絡処理】から【包絡解除】をクリックします。



2. 躯体全体を枠で囲むように**始点**（1 点目）、**終点**（2 点目）を選択し、**確定**（右クリックまたは「Enter」キー）します。

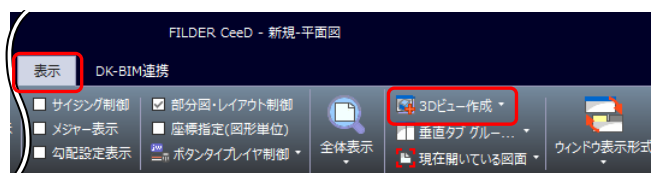


3. 躯体が包絡解除されます。

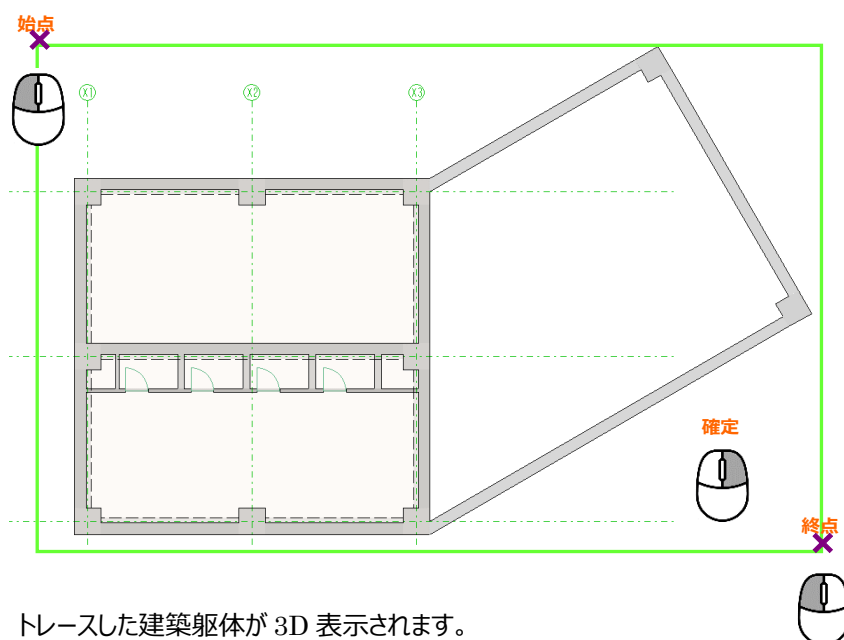


13-5. トレースした建築図の 3D 表示

1. リボンメニューの「表示」タブから「3D ビュー作成」をクリックします。



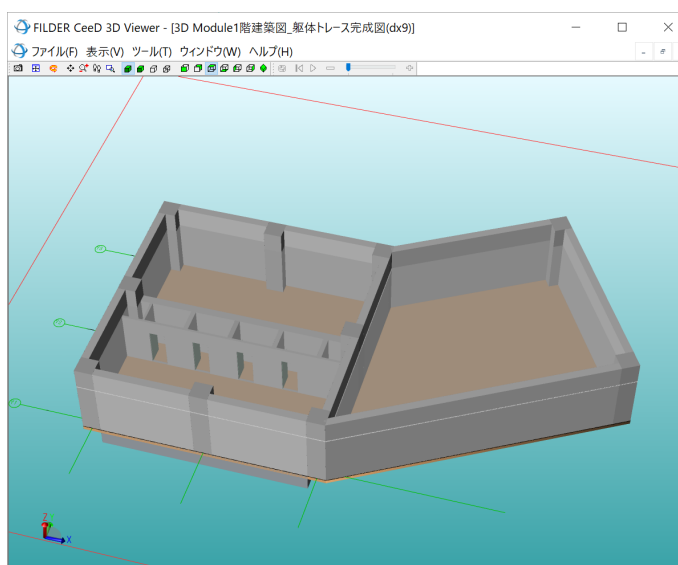
2. 躯体全体を枠で囲むように始点（1 点目）、終点（2 点目）をクリックし、確定（右クリックまたは「Enter」キー）します。



3. トレースした建築躯体が 3D 表示されます。

◎ワンポイント

天井を透過で表示したい場合は、3D 画面上で右クリックし、透過表示切替⇒天井をクリックしてチェックを入れてください。非表示にする場合は、表示切替⇒天井をクリックしてチェックを外してください。



14. レイヤ

1 枚の図面は何枚も透明な紙を重ねて表示していると思ってください。

その 1 枚 1 枚の透明な紙をレイヤと考えます。

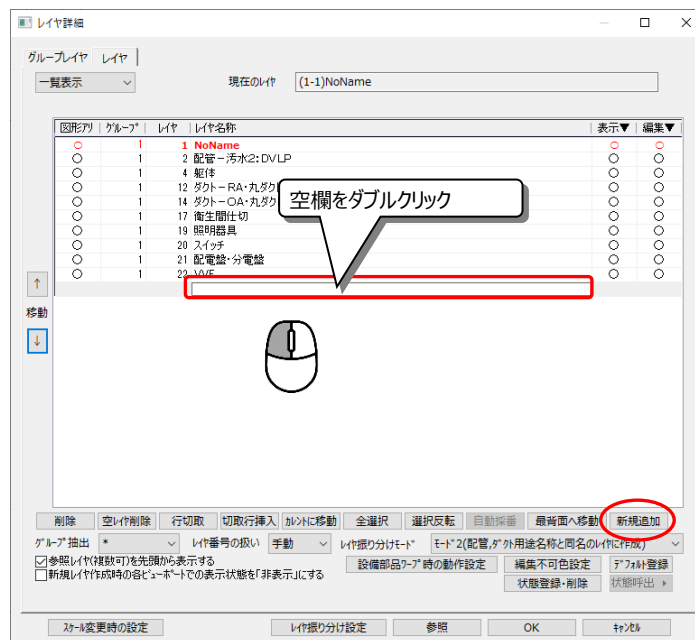
それぞれのレイヤに図形を作図することができ、必要ないレイヤは非表示や削除することができます。

14-1. 新しいレイヤを作成

1. 共通項目ツールバーのレイヤ欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。

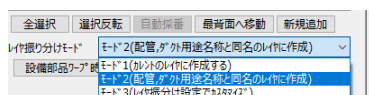


2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、「新規追加」ボタンをクリックします。
 または、「レイヤ名称」欄をダブルクリックします。



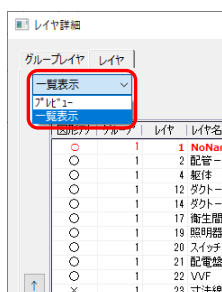
◎ワンポイント

レイヤの自動振り分けモードの設定は「モード1」「モード2」「モード3」に変更することができます。
 デフォルトは「モード2」となります。
 「モード2」は配管、ダクト、電気の用途名称と同じ名称のレイヤに作成します。

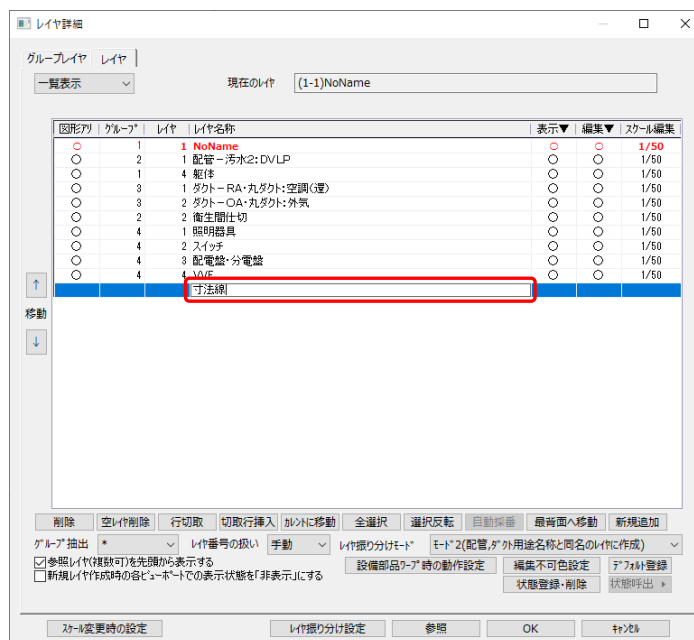


◎ワンポイント

表示を「一覧表示」、「プレビュー」に切替えることができます。
 「レイヤ詳細」ダイアログの左上の「一覧表示」をクリックし、「プレビュー」にすると表示がプレビュー表示となります。



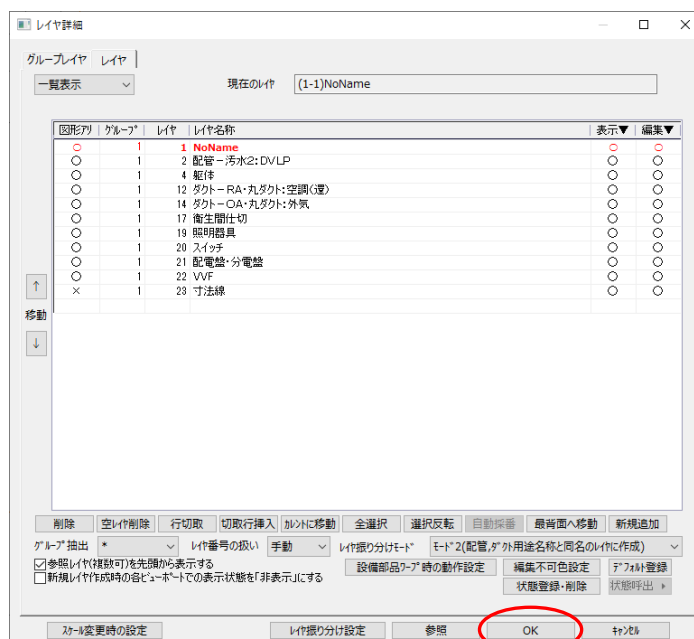
3. 「レイヤ名称」欄にレイヤ名を入力し、「Enter」キーを押します。



4. 新規追加処理の確認ダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。

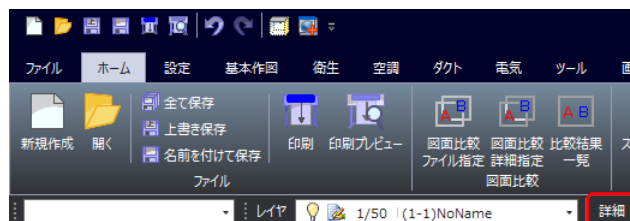


5. 「レイヤ詳細」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

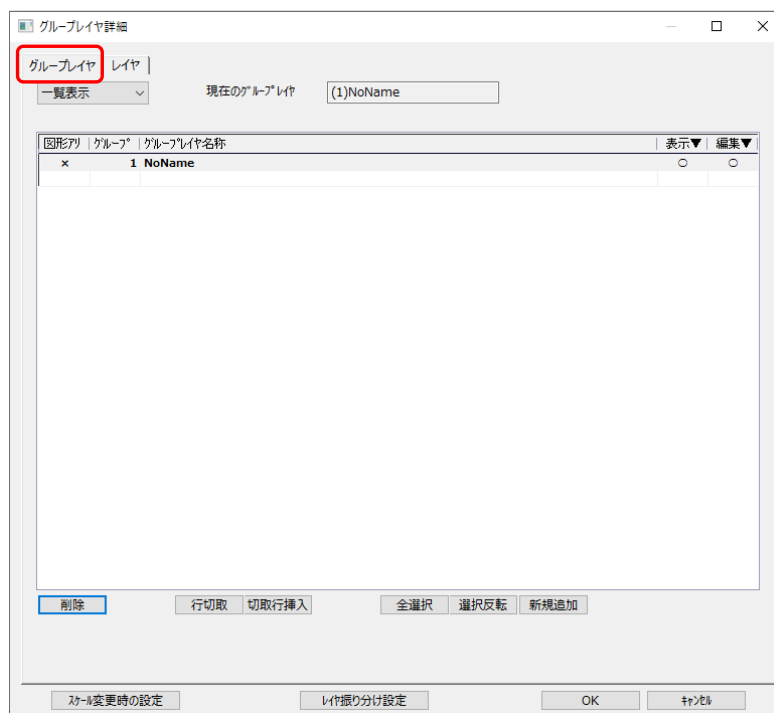


14-2. グループレイヤを作成

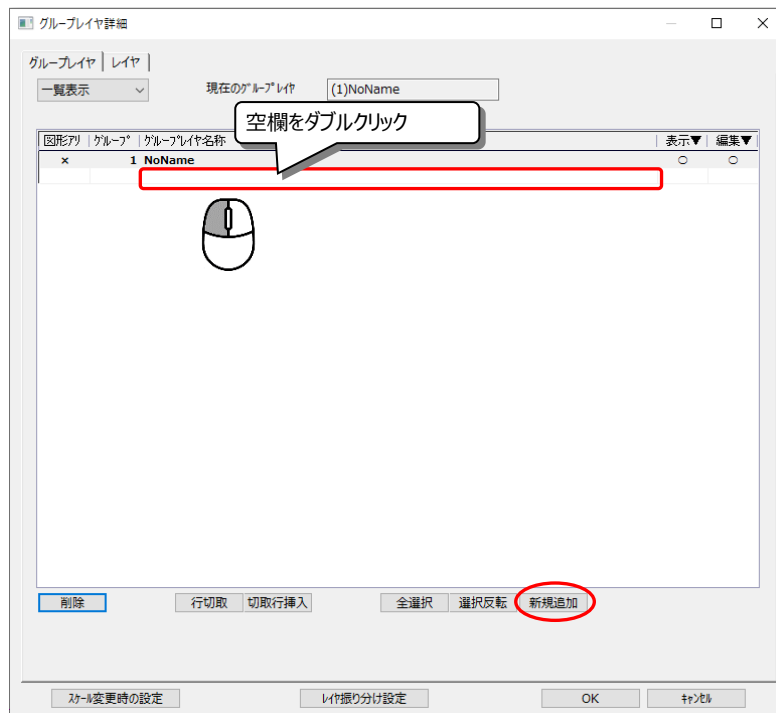
1. 共通項目ツールバーのレイヤ欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。



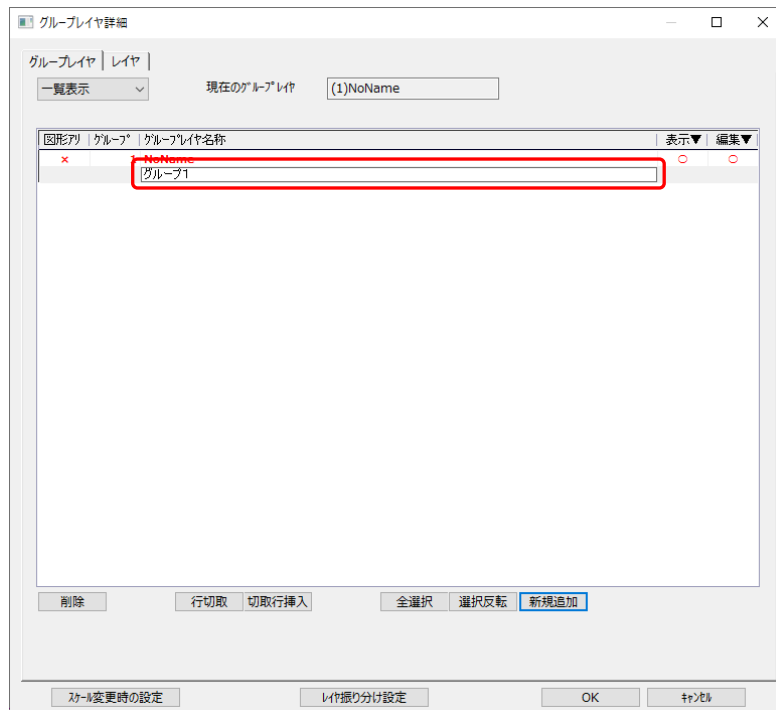
2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、「グループレイヤ」タブをクリックします。
 または、「グループレイヤ名称」欄をダブルクリックします。



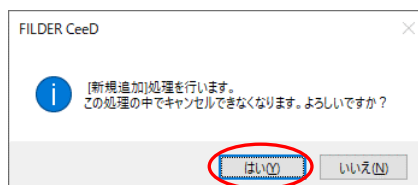
3. 「新規追加」ボタンをクリックします。



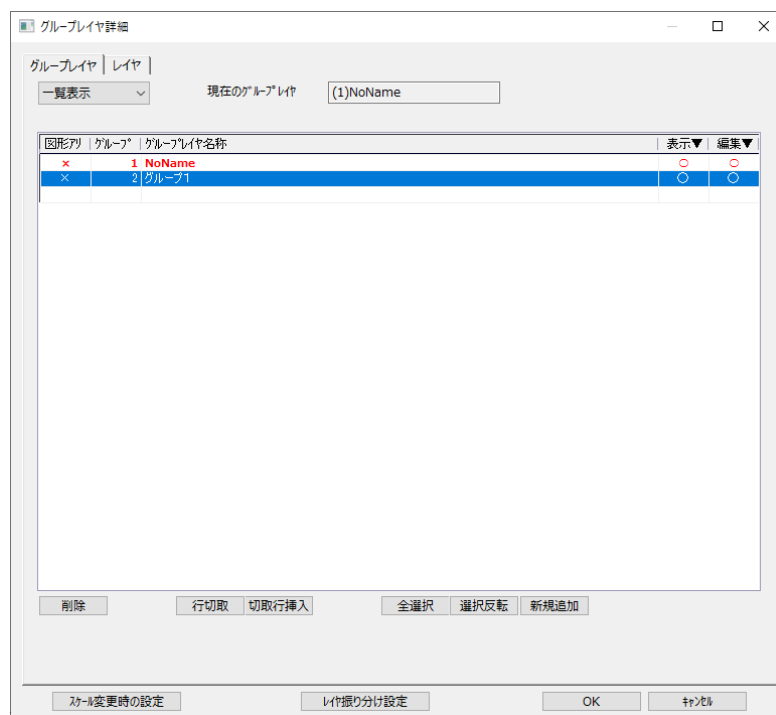
4. グループ名を入力します。



5. 「[新規追加] 処理を行います。」のダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。



6. グループレイヤが作成されます。

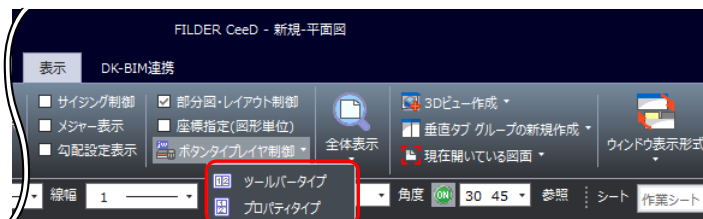




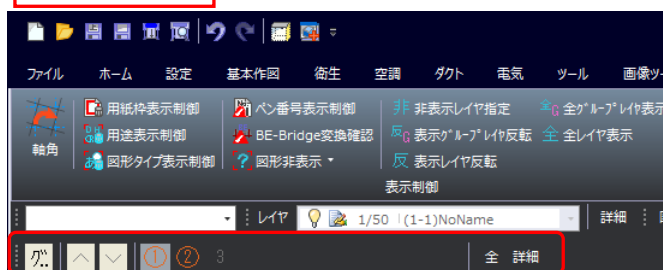
●ボタンタイプレイヤ表示

レイヤをボタンで表示させることができます。

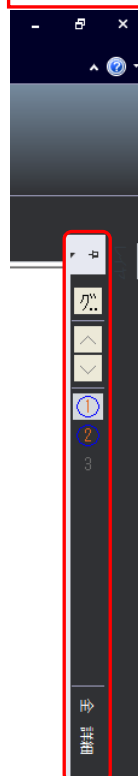
リボンメニューの「表示」タブの「ボタンタイプレイヤ制御」から「ツールバータイプ」または「プロパティタイプ」をクリックします。



ツールバータイプ



プロパティタイプ

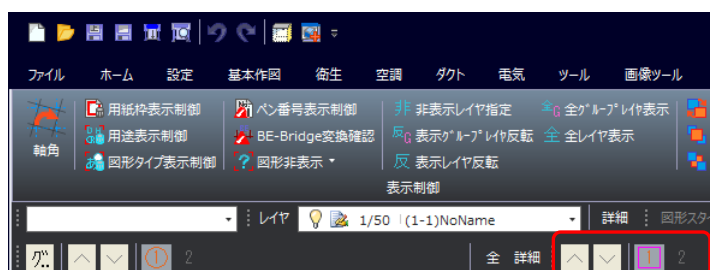
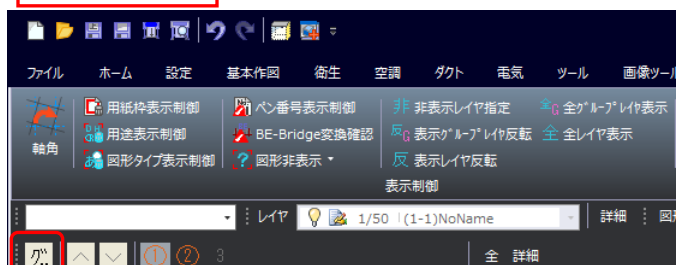




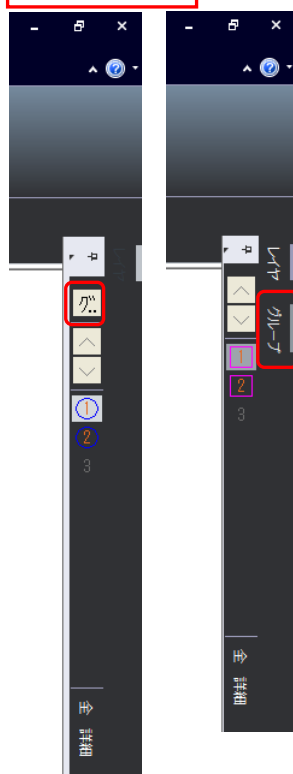
●ボタンタイプグループレイヤの表示

ボタンタイプグループレイヤを表示するには、レイヤバーの「グ…」ボタンをクリックします。

ツールバータイプ



プロパティタイプ



14-3. レイヤの操作方法

◆ 14-3-1

カレントレイヤの切替え

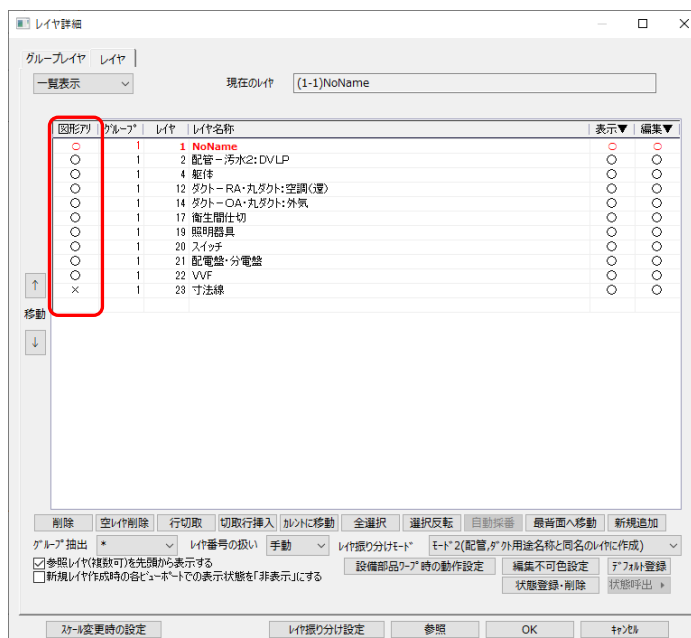
FILDER CeeD では、描込みレイヤを“カレントレイヤ”と呼びます。

「レイヤ詳細」ダイアログで切替える場合

1. 共通項目ツールバーのレイヤ欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。



2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、カレントにしたい「図形アトリ」をクリックします。



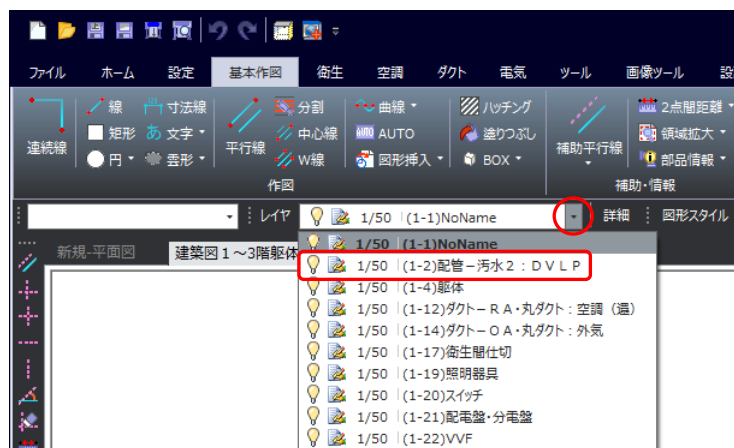
レイヤ欄で切替える場合

1. コマンドを実行します。

ここでは、例としてリボンメニューの「基本作図」タブから【線】をクリックします。



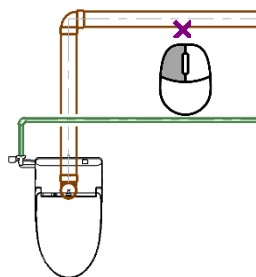
2. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄の▼（プルダウン）をクリックし、描込みするレイヤを選択します。



◆ 1 4 - 3 - 2

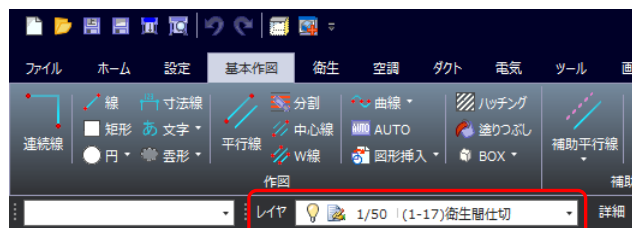
レイヤの確認

図形がどのレイヤに入っているかを確認します。



1. コマンドキャンセルの状態でレイヤを確認する図形を選択します。

2. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄に選択した図形が入ったレイヤが表示されます。

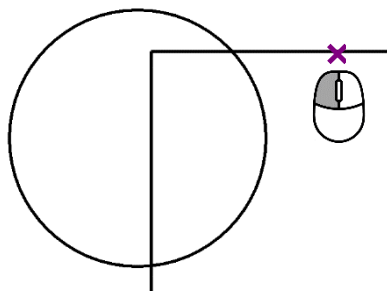


◆ 14-3-3

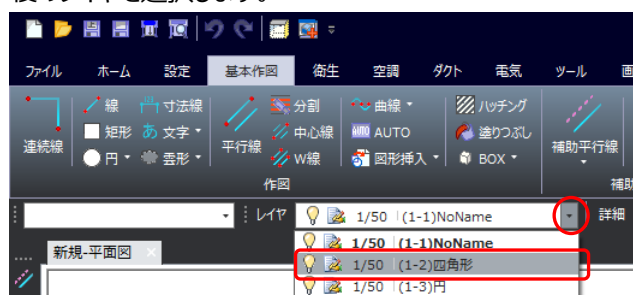
レイヤの移動

作図した後でレイヤを移動できます。

1. コマンドキャンセルの状態ではレイヤを移動する図形を選択します。



2. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄の▼（プルダウン）をクリックし、移動後のレイヤを選択します。

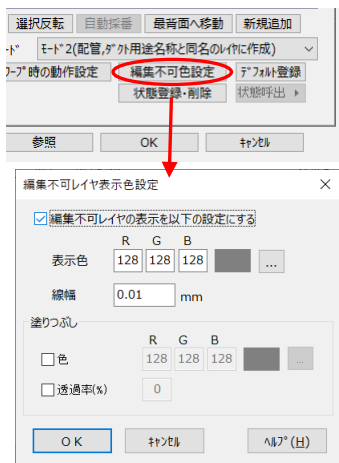


◆ 14-3-4

レイヤの表示・非表示切替え

◎ワンポイント

「編集不可色設定」ボタンをクリックし、編集不可のレイヤ表示色設定の変更ができます。

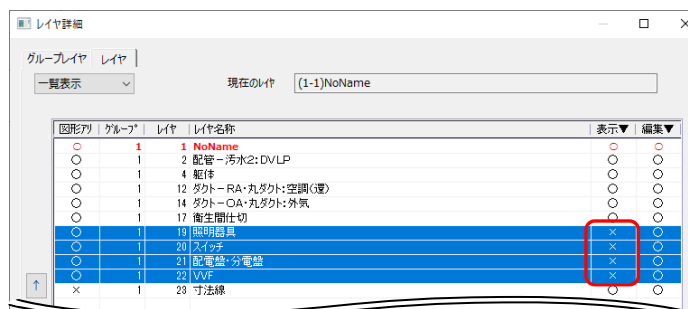


1. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。



2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、表示・非表示を切替えるレイヤの「表示」欄をクリックし、「○」「×」を切替えます。

※カレントレイヤ（赤字）は表示状態の変更ができません。

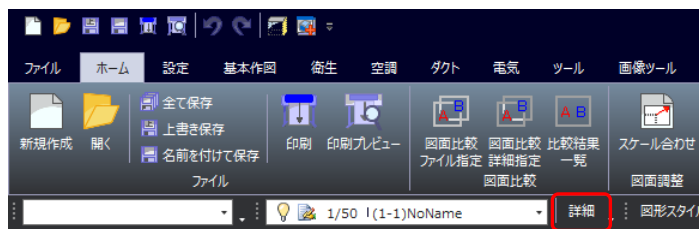


◆ 1 4 - 3 - 5

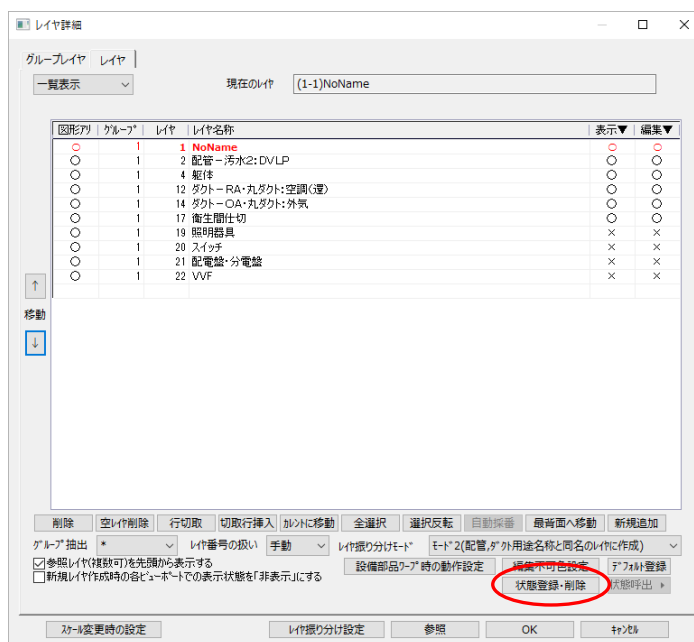
レイヤの表示状態の登録

レイヤの表示・編集状態を登録します。

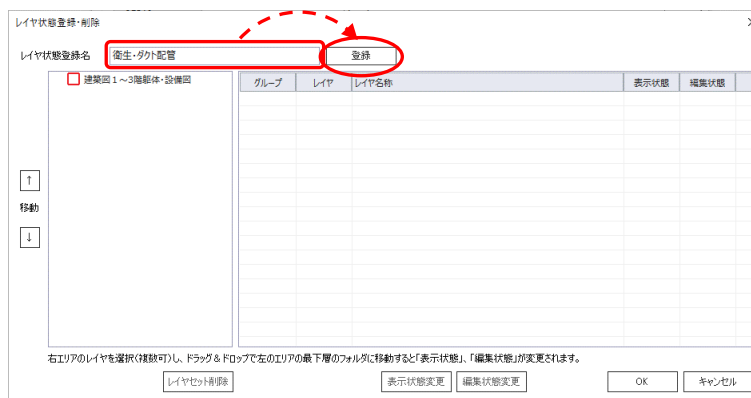
1. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。



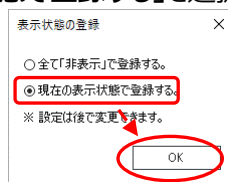
2. 「レイヤ詳細」ダイアログが表示されますので、表示・編集状態を登録する場合、「状態登録・削除」ボタンをクリックします。



3. 「レイヤ状態登録・削除」ダイアログが表示されますので、レイヤ状態登録名に名称を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



4. 「表示状態の登録」ダイアログが表示されますので、「現在の表示状態で登録する」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



5. 表示・編集状態が登録されますので、「OK」ボタンをクリックします。



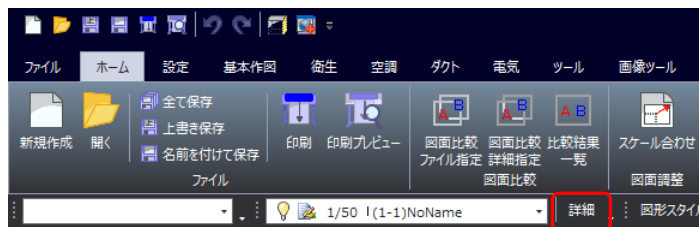
◎ワンポイント

「レイヤ状態登録・削除」ダイアログの左側一覧にある表示状態に項目をドラッグ＆ドロップで状態を変更することができます。
 また、「表示状態」「編集状態」の○×をクリックすることで、状態を変更することができます。

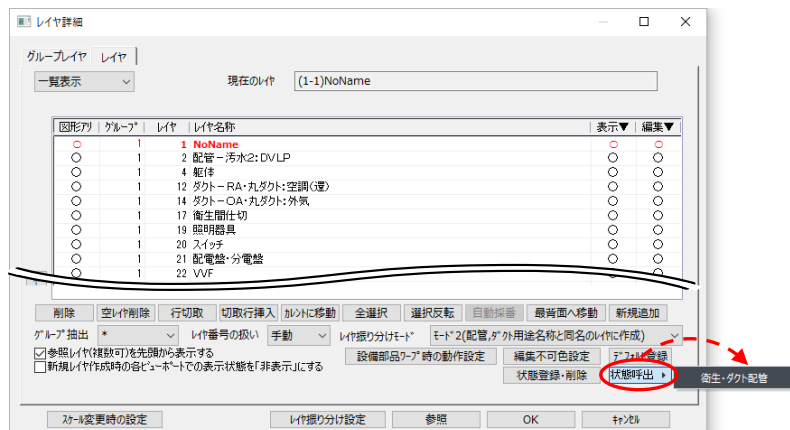
◆ 14-3-6

レイヤの表示状態の呼出
 登録したレイヤの表示・編集状態を呼出します。

1. 共通項目ツールバーの「レイヤ」欄右側の「詳細」ボタンをクリックします。



2. 「レイヤ詳細」ダイアログの「状態呼出」ボタンをクリックすると、登録した状態名が奉持されますので、表示させたい名称をクリックします。



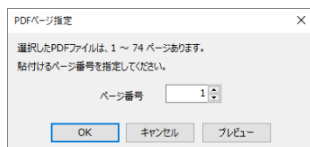
1 5. PDF・画像の貼付け

PDF ファイルをデータとして取り込む、または画像（PDF ファイル・BMP ファイル・JPEG ファイル・GIF ファイル・TIFF ファイル）を図面内に貼付けることができます。

1 5 - 1. PDF ファイルを図形データとして読み込む

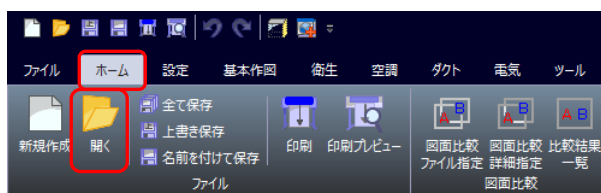
◎ワンポイント

複数ページの PDF を読み込んだ場合、「PDF ページ指定」ダイアログが表示されますので、貼付けるページ番号を指定して貼り付けます。

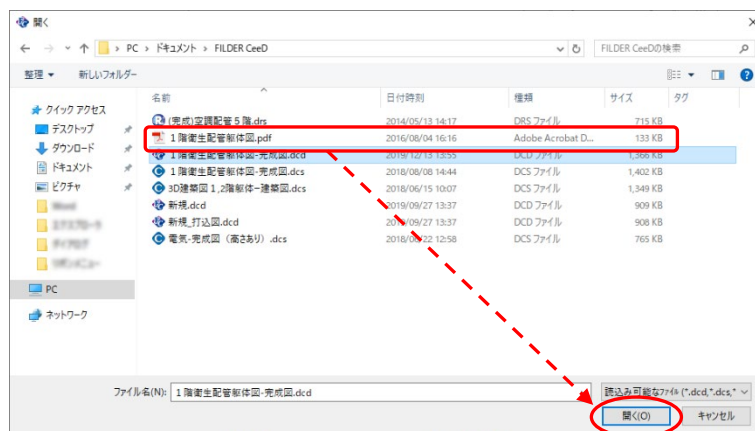


ここからは、**データを読み込む場合**と**画像を読み込む場合**で画面表示と操作が異なります。表示された画面に合わせて操作を続けてください。

1. リボンメニューの「ホーム」タブから【開く】をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。

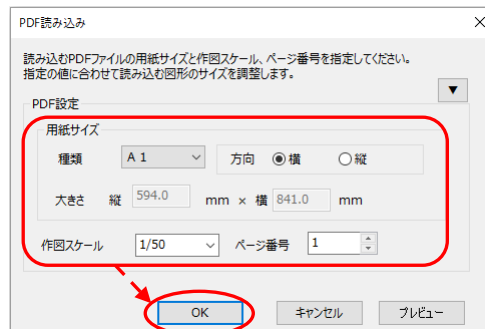


2. 「開く」ダイアログが表示されますので、読み込むファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



データを読み込む場合

3. 「PDF 読み込み」ダイアログが表示されますので、「用紙サイズ」・「作図スケール」などを設定し、「OK」ボタンをクリックします。

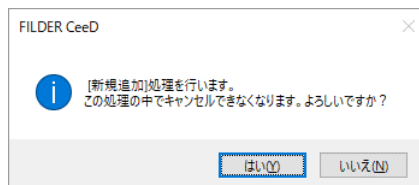


◎ワンポイント

後から調整が必要であれば、リボンメニューの「ホーム」タブの「スケール合わせ」で調整ができます。

4. 「続けて作図スケールを合わせますか？」とダイアログが表示されますので、続けて図形の大きさを調整する場合は「はい」ボタンをクリックします。

調整する必要のない場合は「いいえ」ボタンをクリックします。



5. 4で「はい」ボタンを選択した場合、続いて「拡大率入力」ダイアログが表示されますので、「拡大率」を入力、もしくは距離を入力し、「OK」ボタンをクリックして図面の拡大・縮小を実行します。

●拡大率で指定する場合

「拡大率」欄に数値を入力します。

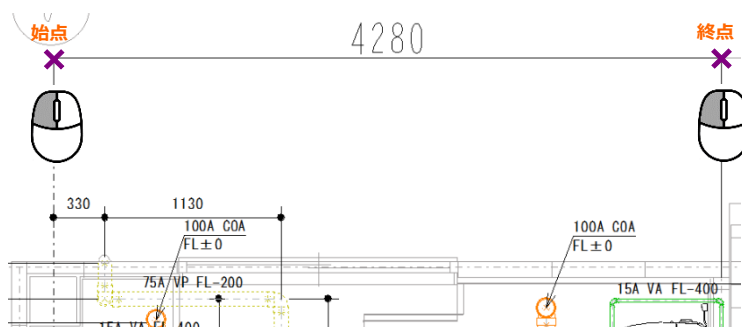


●距離を入力する場合

「距離で拡大率を自動計算」にチェックを入れ、「拡大前距離」・「拡大後距離」を入力します。

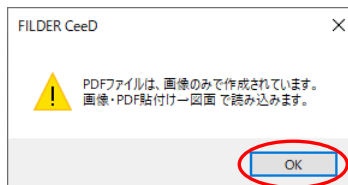


「拡大前距離」がわからない場合、「距離参照」ボタンをクリックし、図面内の基準となる距離の始点と終点（元図の寸法線がある線）をクリックし、参照します。



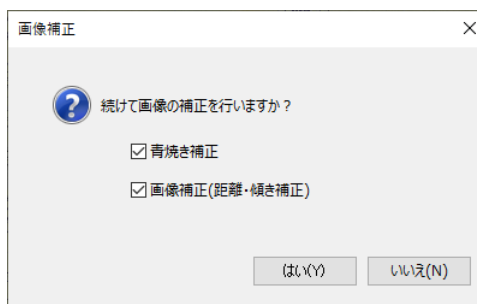
画像を読み込む場合

3. 「画像・PDF 貼付け→図面で読み込みます。」のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



4. 「続けて画像の補正を行いますか？」のダイアログが表示されますので、青焼き補正や画像補正を行う場合は、「はい」ボタンをクリックします。

※「はい」ボタンを選択した場合は、続けて「傾き補正」(◆ 15 - 2 - 1 参照) や「距離補正」(◆ 15 - 2 - 2 参照) ができます。



●PDF ファイル読み込みの制限事項

- ・CAD から直接 PDF に変換したデータに対応しています。
- ・画像のみの PDF (紙のデータをスキャンしたもの) などは、自動的に画像貼付けに切替えて読み込みます。
- ・フォント埋込みされていない PDF は、フォントが正確に読み込めない場合があります。
- ・プロッターフォントで作図されている文字は、図形として読み込みます。
- ・線幅は近い数値で読み込みます。
- ・改ざん防止 PDF は読み込みできません。

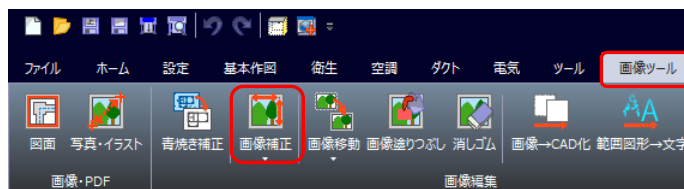
15-2. 画像補正

画像の大きさをスケールに合わせたり、不要な文字などを消したりします。

◆ 15-2-1

斜めの画像を補正（傾き補正）

1. リボンメニューの「画像ツール」タブから「画像補正」をクリックします。



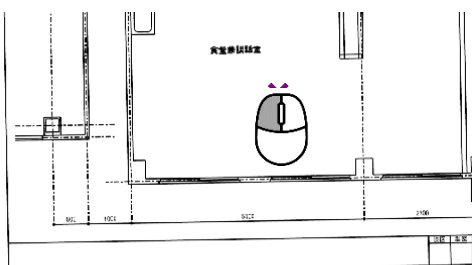
2. コマンドプロパティの「傾き補正」を「On」にします。
 ※コマンドプロパティの「距離補正」が「On」の場合は「Off」にします。



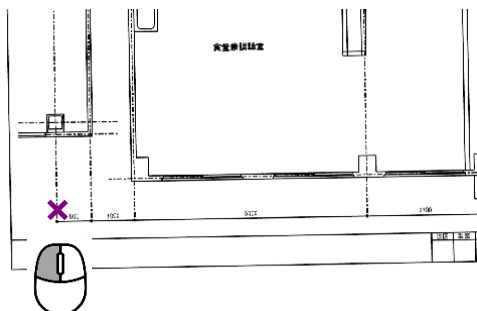
3. コマンドプロパティの「補正後角度」に角度を入力します。



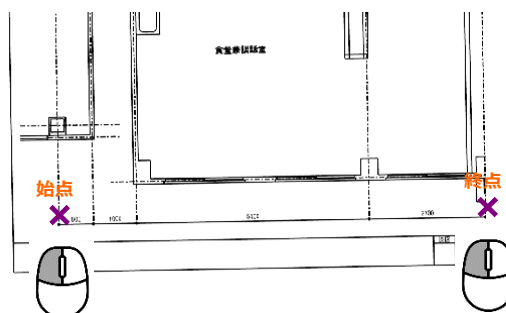
4. 補正する画像データをクリックします。



5. 回転する基準となる位置をクリックします。

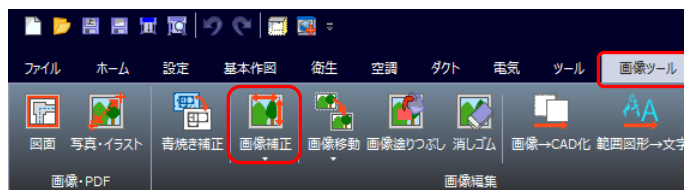


6. 基準となる線の始点（1点目）、終点（2点目）をクリックします。



◆ 15-2-2
 寸法が正しくない画像の補正（距離補正）

1. リボンメニューの「画像ツール」タブから「画像補正」をクリックします。



2. コマンドプロパティの「距離補正」を「On」にします。

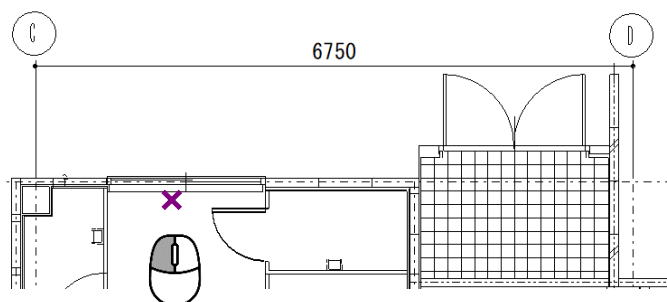
※コマンドプロパティの「角度補正」が「On」の場合は「Off」にします。



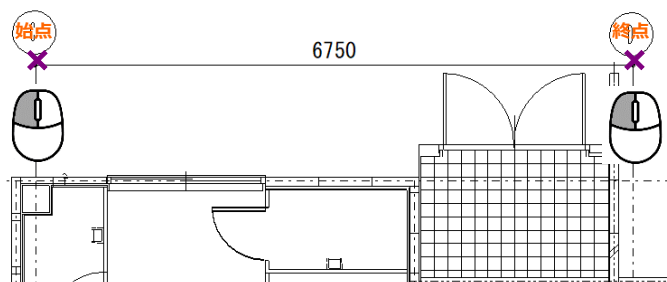
3. コマンドプロパティの「補正後距離」に図面内に表示されている寸法値を入力します。



4. 補正する画像データをクリックします。

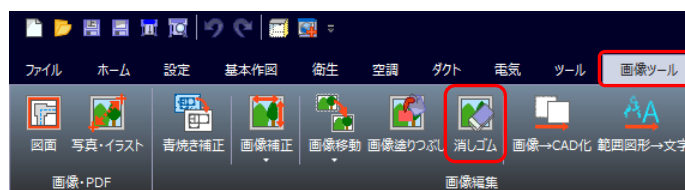


5. 寸法の始点（1 点目）、終点（2 点目）をクリックします。

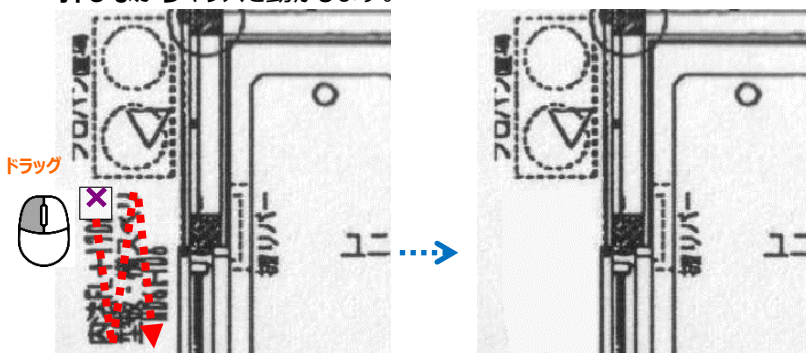


- ◆ 15-2-3
 不要な部分の消去（消しゴム、画像塗りつぶし）
 ※ここでは「消しゴム」を説明します。

1. リボンメニューの「画像ツール」タブから「消しゴム」をクリックします。

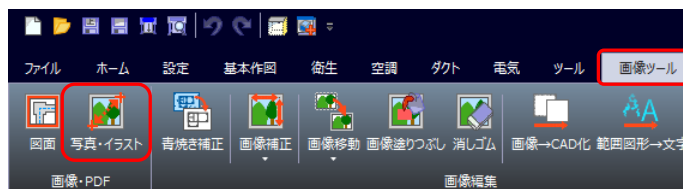


2. 消しゴムの□が表示されますので、消す場所の上でマウスの左ボタンを押しながらマウスを動かします。

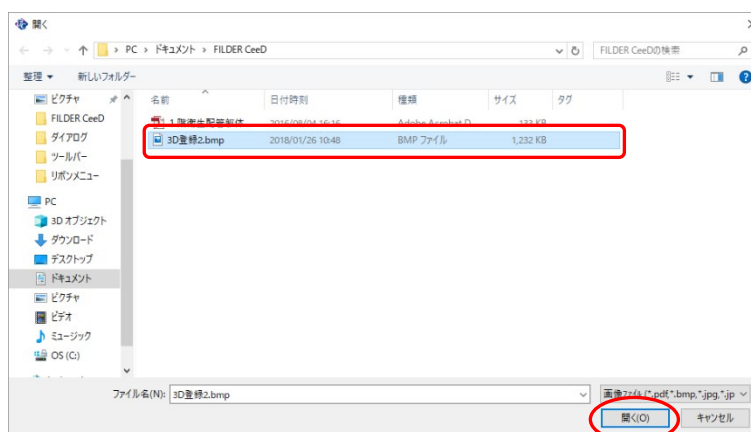


15-3. 画像の貼付け

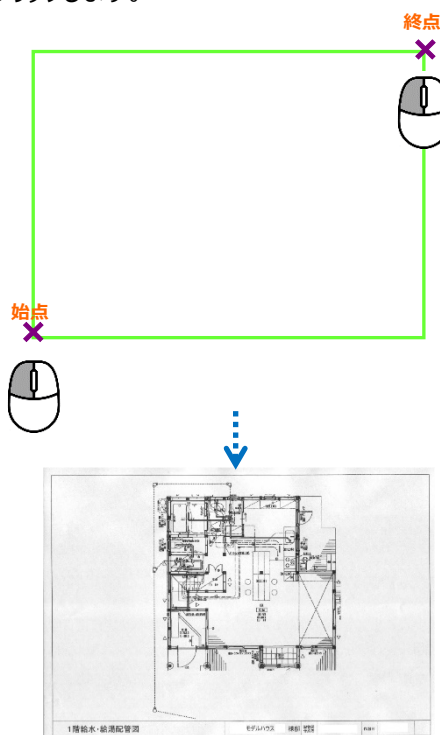
1. リボンメニューの「画像ツール」タブから【写真・イラスト】をクリックします。



2. 「開く」ダイアログが表示されますので、貼付けるファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



3. 始点（貼付ける位置の左下）、終点（貼付ける位置の右上）をクリックします。

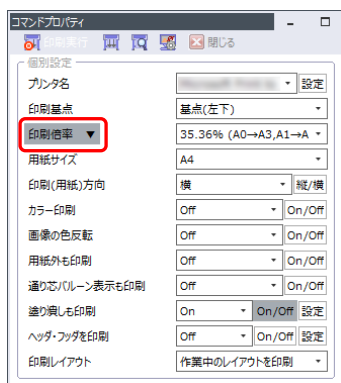


16. 印刷

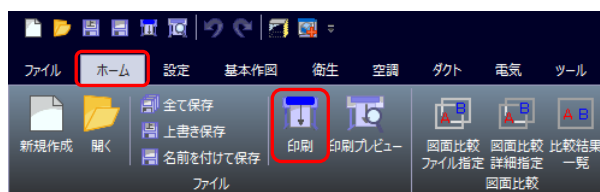
16-1. 印刷をする

◎ワンポイント

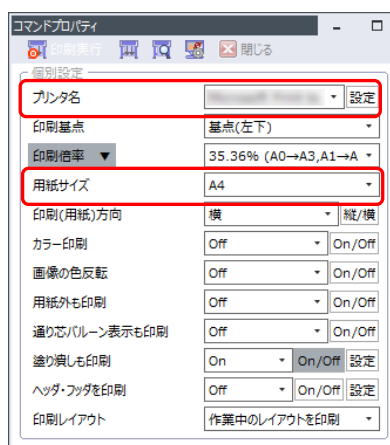
コマンドプロパティの「印刷倍率▼」をクリックすると、「印刷スケール▼」や「領域指示▼」など印刷方法を切替えることができます。
 「領域指示▼」をクリックすると、「印刷倍率▼」に戻ります。



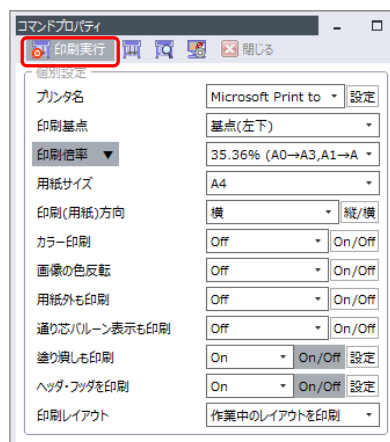
1. リボンメニューの「ホーム」タブから【印刷】をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。



2. コマンドプロパティの「プリンタ名」・「用紙サイズ」を選択します。

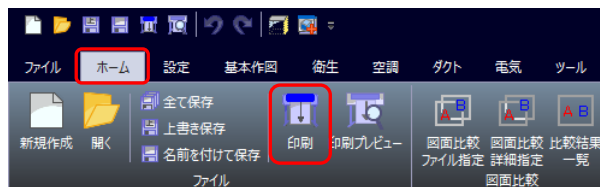


3. コマンドプロパティの「印刷実行」をクリックします。

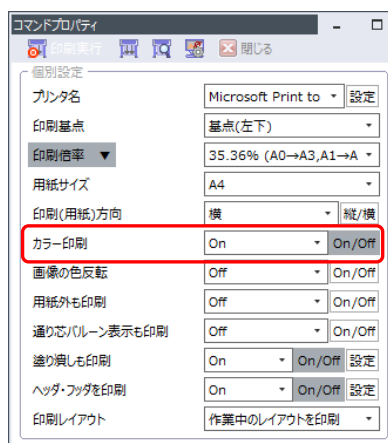


16-2. カラー印刷をする

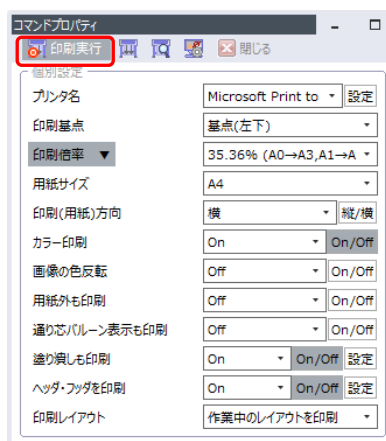
1. リボンメニューの「ホーム」タブから【印刷】をクリックします。
 リボンメニューの「ファイル」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。



2. コマンドプロパティの「カラー印刷」を「On」にします。



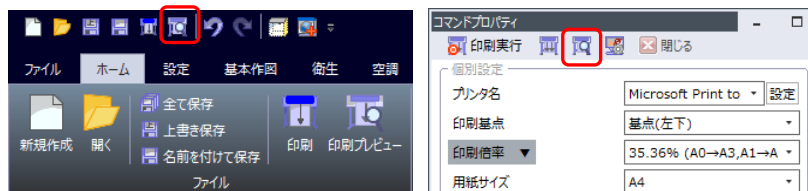
3. コマンドプロパティの「印刷実行」をクリックします。





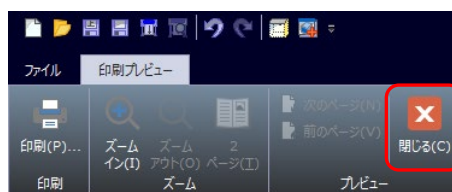
●印刷プレビュー

印刷プレビューは、クイックアクセスツールバーもしくは、[印刷] コマンドを実行した際に表示されるコマンドプロパティの上部にある [印刷プレビュー] コマンドを実行します。



印刷プレビューを閉じる場合、リボンメニューの [閉じる] コマンドで閉じます。

※FILDER CeeD 画面左上の「×」ボタンで閉じると、FILDER CeeD が終了します。

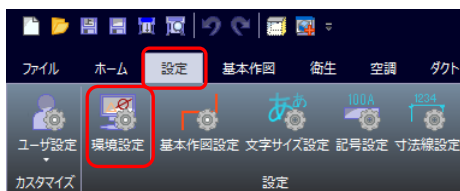


16-3. 線幅を設定

印刷するときの線の幅を決める方法は、「色ごとに線幅を決める方法」と「ペン番号ごとに線幅を決める方法」の2つがあります。

◆ 16-3-1 ペン番号ごとに線幅を設定

1. リボンメニューの「設定」タブから【環境設定】をクリックします。



2. 「システム設定」ダイアログが表示されますので、「印刷色・線幅」タブをクリックし、「ペン番号ごとに線幅を設定」を選択します。



◎ワンポイント

印刷の線幅設定は、それぞれの図面ごとで保存しています。

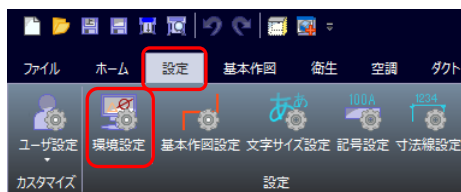
設定した内容を、新規の図面にも反映させるには、「デフォルト登録」ボタンをクリックします。

3. ペン番号ごとの線幅を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



◆ 16-3-2 色ごとに線幅を設定

1. リボンメニューの「設定」タブから「環境設定」をクリックします。



2. 「システム設定」ダイアログが表示されますので、「印刷色・線幅」タブをクリックし、「色ごとに線幅を設定」を選択します。



3. 色ごとの線幅を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



●「画面色」「印刷色」の複数一括変更設定

既存の色をコピーし、「画面色」「印刷色」の色を複数一括変更できます。

1. リボンメニューの「設定」タブから【環境設定】を選択します。
2. 「印刷色・線幅」タブの「画面色」もしくは「印刷色」のコピーしたい色の上で右クリックし、「色コピー」を選択します。

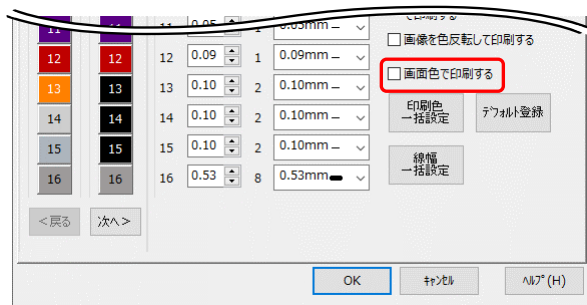


3. 変更したい色番号をクリックしていくと、「色コピー」した色に変更されます。
4. 変更を終了する場合は、「OK」ボタンをクリックします。
5. もう一度「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。



●「印刷色」「線幅」の複数一括変更設定

1. リボンメニューの「設定」タブから「環境設定」を選択し、「印刷色・線幅」タブを選択します。
2. 「印刷色」を変更する場合は、「画面色で印刷する」のチェックを外します。

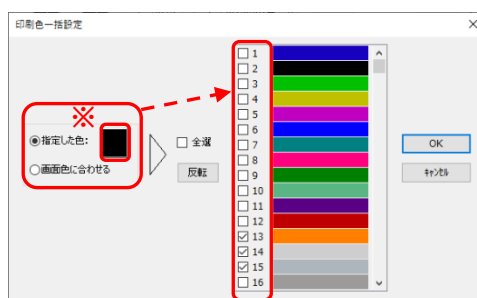


3. 「印刷色」を変更する場合は「印刷色一括設定」ボタン、「線幅」を変更する場合は「線幅一括設定」ボタンをクリックします。



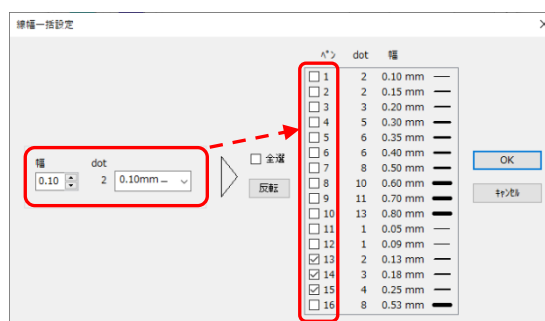
4. 左側で色または線幅を指定し、**変更する色またはペン番号**にチェックを入れます。

※「指定した色」をクリックすると、「色の指定」ダイアログが表示されますので、任意の色に変更することができます。

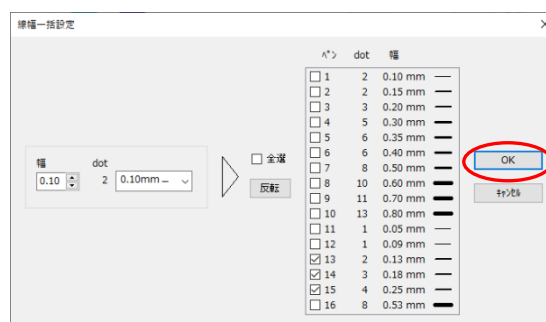


◎ワンポイント

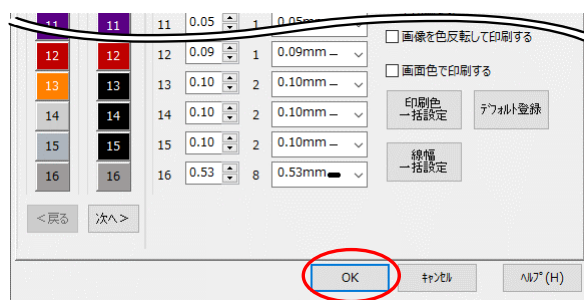
「画面色に合わせる」を選択すると、従来の「画面色→印刷色」ボタンと同じ設定となります。



5. 「OK」ボタンをクリックします。



6. 「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。



17. キーボードを使用した簡単なキー操作

Esc	キャンセル	コマンドや図形の選択を解除
Enter	確定	操作中の確定
Ctrl+Tab	ファイルの切替え	ファイルを複数開いているときに画面の切替え
Shift+ クリック	選択の除外	選択された状態を解除
Backspace	戻り・戻る	1 つ前に戻る
Delete	消去	選択された図形を削除
.. (ドット 2 個)	, (カンマ)	数値入力欄でドットを 2 個続けて打つとカンマに変換

CAD 画面の操作		
Home	全体表示	図形全体の表示（用紙意外に作図されている図形も表示）
End	基準スケール表示	用紙の表示（用紙範囲を表示）
Page Up	画面表示拡大	画面表示の拡大
Page Down	画面表示縮小	画面表示の縮小
→	右スクロール	画面を右へスクロール
←	左スクロール	画面を左へスクロール
↑	上スクロール	画面を上へスクロール
↓	下スクロール	画面を下へスクロール
Ctrl+C	コピー	ダイアログ内の文字をコピー
Ctrl+V	貼り付け	ダイアログ内の文字を貼り付け
Ctrl+X	切り取り	ダイアログ内の文字を切り取り
Ctrl+N	新規作成	新規図面ファイルを作成
Ctrl+O	開く	ファイルを開くダイアログを表示
Ctrl+A	名前を付けて保存	作成した図面ファイルを、名前を付けて保存
Ctrl+S	上書き保存	作成した図面ファイルを、上書き保存

18. ポータルサイトのご案内

ポータルサイト内に「ユーザーズガイド」、「マスター集」、「導入マニュアル」その他マニュアル類などが掲載されています。

1. FILDER CeeD を起動します。

2. リボンメニューの「ホーム」タブから【ポータル】をクリックします。



3. ポータルサイトが開きます。

このポータルサイト内で各種マニュアルのほか、「ダイキン空調機 STEM データ」の最新版や、CAD シンボルデータなどをダウンロードすることができます。



FILDER CeeD ポータルサイト

最新バージョンダウンロード	操作FAQ	操作に関するお問い合わせ
プロテクタドライバ	導入マニュアル・操作ガイド	緊急サポートツール
CADデータ	用途マスター/配線一覧	ライセンスシェアリング

19. よくある質問（FAQサイト）

FILDER CeeD で、実際にお客様からのお問合せが多い操作方法について、FAQ サイトに掲載しています。

また、FILDER CeeD インストール時に PC 内に各種マニュアルやよくある質問集が保存されていますので、合わせてご活用ください。（保存先：画面左下の Windows マークをクリックし、左側のアプリ一覧から「FILDER CeeD」をクリック）

FILDER CeeDFAQ サイト

<https://faq-cad.comtec.daikin.co.jp/>

1. FILDER CeeD から開く場合、リボンメニューの「ホーム」タブの「よくある質問」をクリックします。



2. FAQ サイトが開きますので、「キーワード検索」で検索していただくことができます。
 また、質問の多い FAQ や注目の FAQ など、トップページに表示され、すぐに閲覧できるようになっています。



3. FAQ では解決しなかった場合は、FAQ サイト内の「お問い合わせ」からお問い合わせいただくことで、質問に対しての回答をさせていただきます。

営業時間内のお問い合わせでしたら当日、営業時間外でしたら翌営業日にご回答いたします。

（営業時間：平日 9 時～12 時、13 時～17 時、休業：土日祝・お盆・年末年始）

※お問い合わせ状況により、回答が遅れる場合がございます。あらかじめご了承ください。